

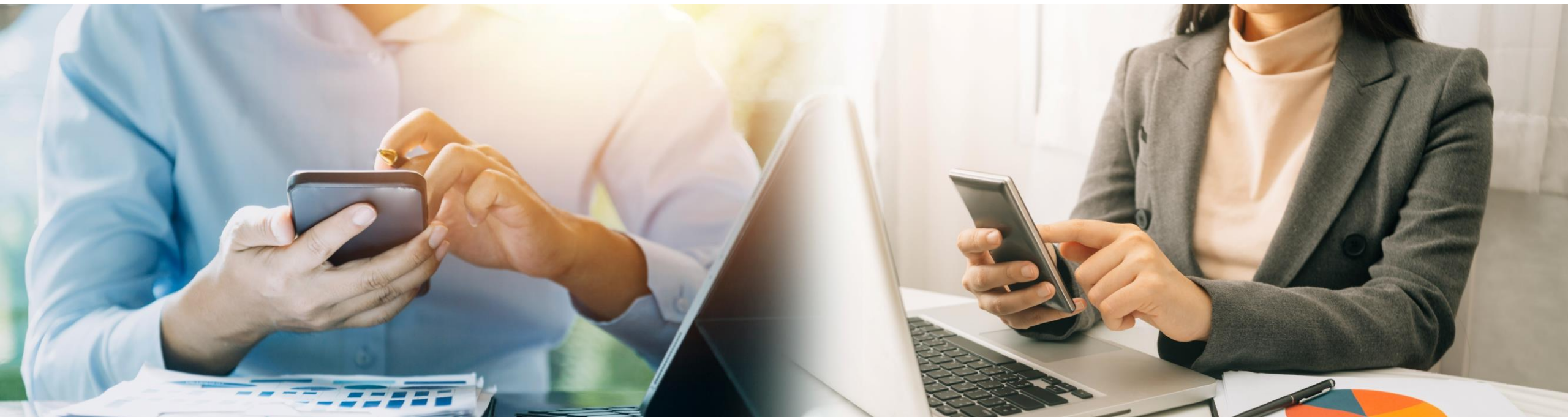


スマートフォンのセキュリティ に対する意識調査

「スマートフォンのセキュリティに対する意識調査」と題し、日本全国のスマートフォン利用ユーザーに対してセキュリティに関する意識調査が実施されました。スマートフォンを利用している全国のユーザーに、アプリをダウンロードする際の安全性の意識や、アプリを利用する際の個人情報の取扱いについての意識など、セキュリティとプライバシーに関する幅広い内容のアンケートとなっています。

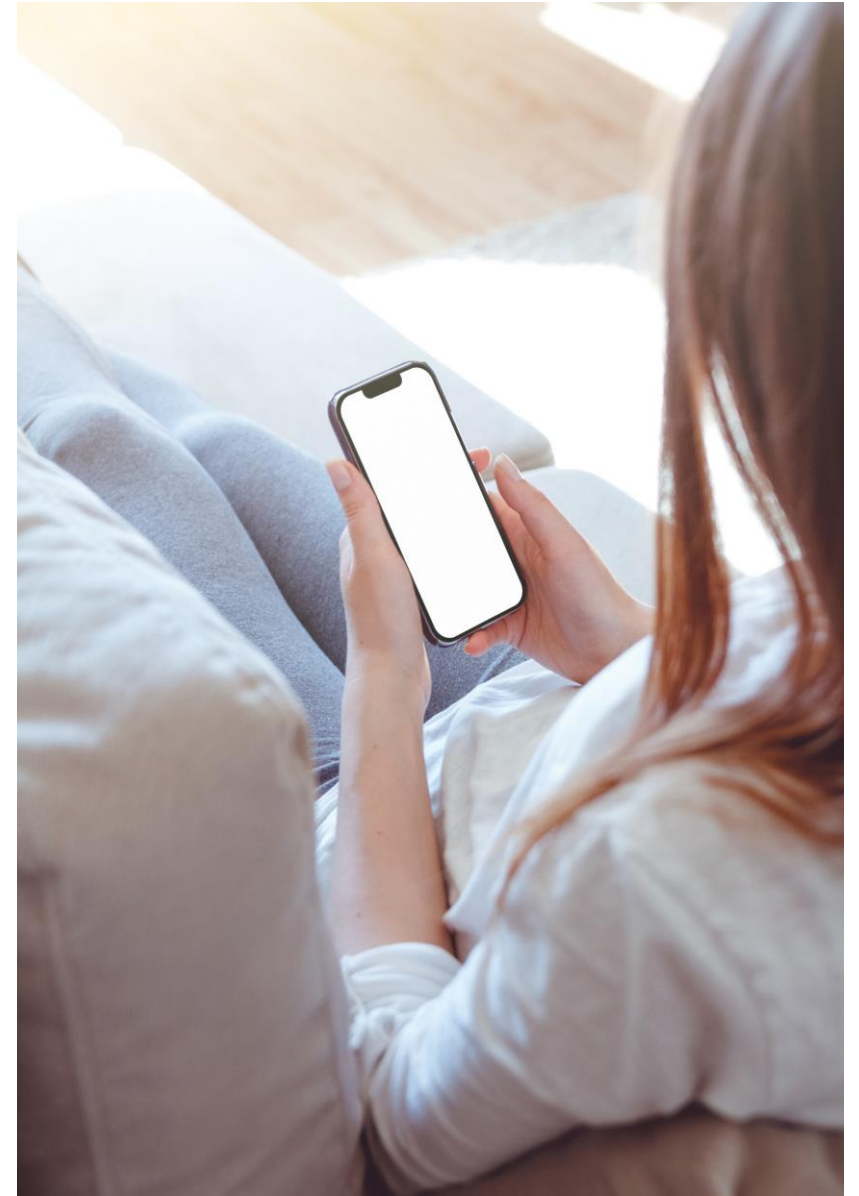
あわせて、スマートフォンセキュリティを考えるうえで注目されている、内閣官房デジタル市場競争本部が2022年4月26日に公表した「モバイル・エコシステムに関する競争評価 中間報告」について、スマートフォンユーザーの反応も調査しました。中間報告書のなかで提起されていた、サイドローディングに対する意識や、政府のモニタリング・介入に対する意識などを調査しています。

スマートフォンを利用するユーザーが年々増加する中、セキュリティについてどのように考え、対応している人が多いのか。スマートフォンを利用しているユーザーや、今後スマートフォンやスマートフォンアプリの開発・販売等に関わる方にぜひご覧いただければ幸いです。



- 調査方法：インターネットによるWeb調査
- 調査対象者：全国の15-69才のスマートフォンユーザー（プライベート利用者） *中学生は除く
- 標本構成：日本の人口比に準拠 *総務省統計局 各年1日現在人口推計（2022年7月概算値）
- 調査期間：2022年8月3日（水）～8月5日（金）
- 調査機関：株式会社メディア開発綜研
- 集計結果の見方
 - ・「SA:単一回答」、「MA：複数回答」の略
 - ・ハッチングは全体スコアを5Points以上上回るセル

* 調査結果から、本調査内容を転載・ご利用いただく場合は、
弊社サービスのクレジット「株式会社ラック」の表記をお願いします。



性別×年齢

全体	男性							女性							
	計	15-19才	20代	30代	40代	50代	60代	計	15-19才	20代	30代	40代	50代	60代	
100.0	49.7	3.5	7.7	8.5	10.6	10.6	8.9	50.3	3.2	7.4	8.5	10.8	10.7	9.7	(%)
5119	2545	179	392	435	544	541	454	2574	164	381	433	554	548	494	(人)

職業

全体	公務員	経営者・役員	会社員（事務系）	会社員（技術系）	会社員（その他）	自営業	自由業	専業主夫・主婦	パート・アルバイト	学生	無職	その他	
100.0	3.2	1.3	19.3	11.6	12.6	3.8	2.2	12.4	15.1	7.7	10.0	0.8	(%)
5119	166	68	986	593	645	193	111	637	771	396	511	42	(人)

居住地

全体	北海道地方	東北地方	関東地方	中部地方	関西地方	中国地方	四国地方	九州地方	
100.0	4.5	5.4	40.7	15.3	19.8	4.7	2.4	7.3	(%)
5119	230	274	2082	782	1013	242	124	372	(人)

未婚

全体	未婚	既婚	
100.0	43.1	56.9	(%)
5119	2208	2911	(人)

子どもの人数（既婚者）

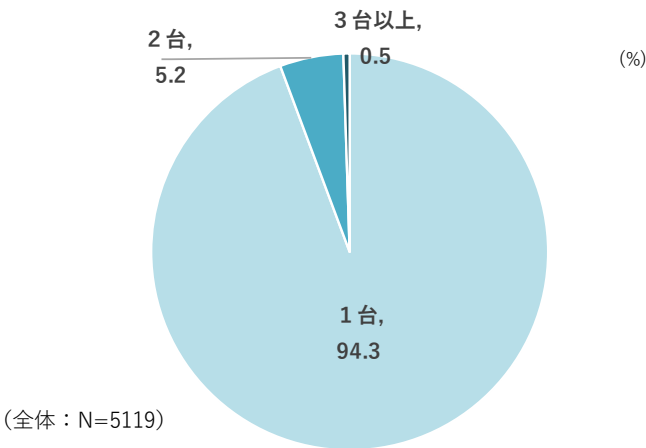
既婚者計	1人	2人	3人	4人以上	いない	
100.0	25.7	39.5	10.3	1.4	23.1	(%)
2911	748	1151	299	41	672	(人)

子どもの属性（子どもあり）と、属性別スマートフォン所有率

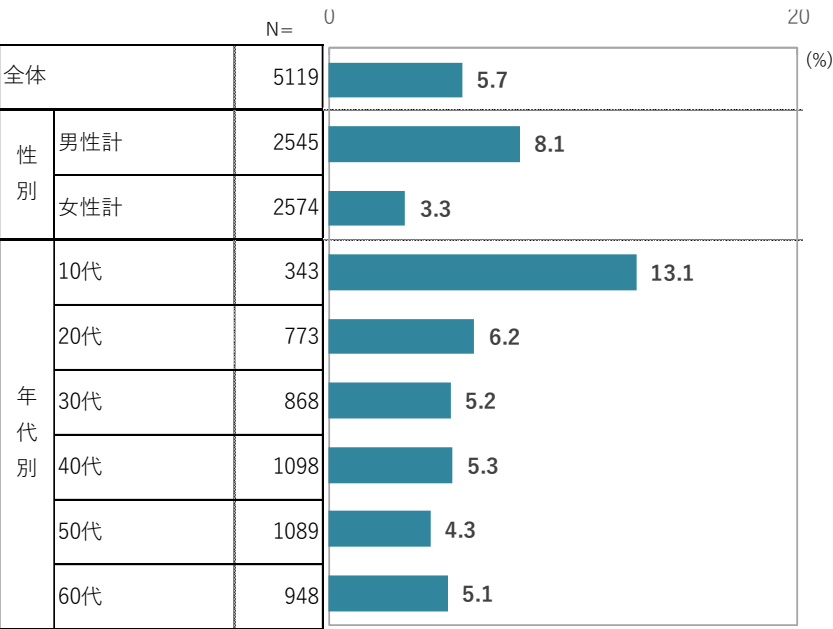
子どもあり計	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	その他	
100.0	18.0	18.6	11.3	12.3	14.2	51.3	1.1	(%)
2239	402	416	254	276	317	1149	24	(人)
スマホ所有率	4.7	27.9	73.2	92.8	98.7	96.3	62.5	(%)

*子どものスマートフォン所有率の母数は、あてはまる属性の人数

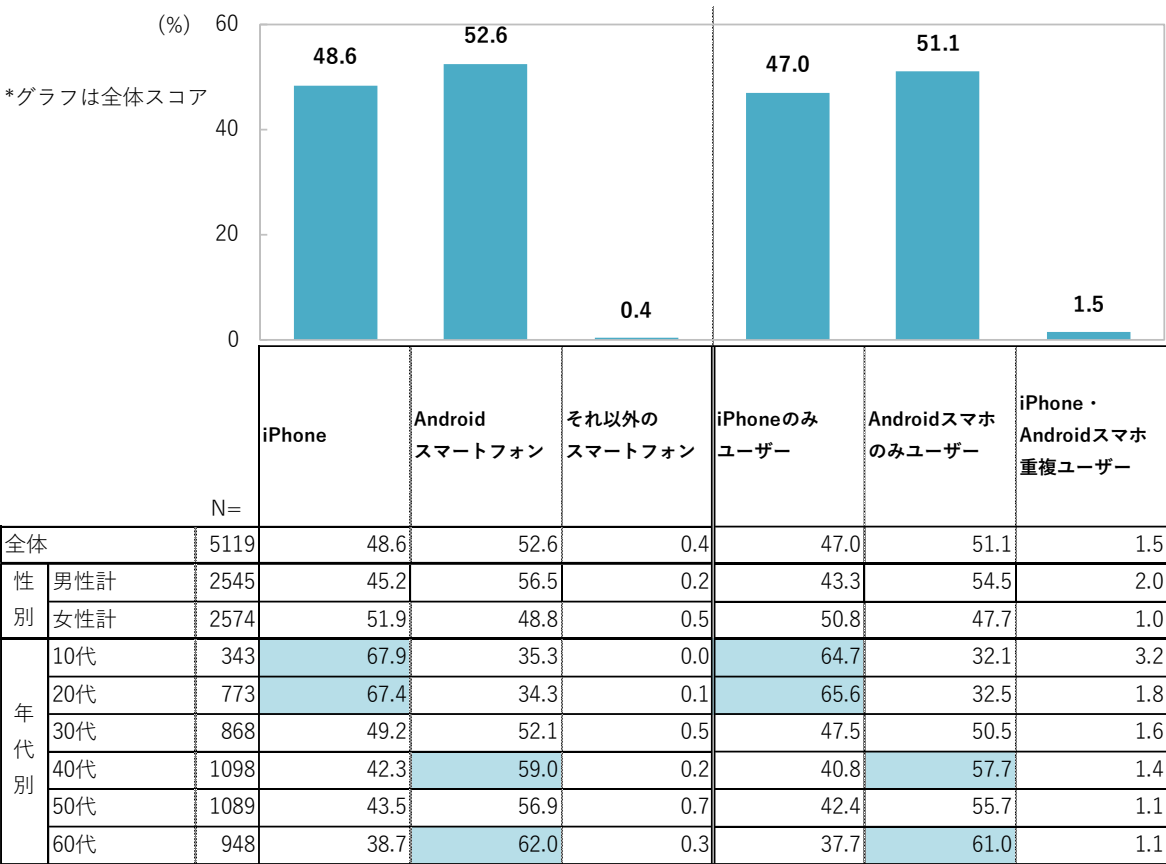
■プライベート利用のスマートフォン保有台数（全体）



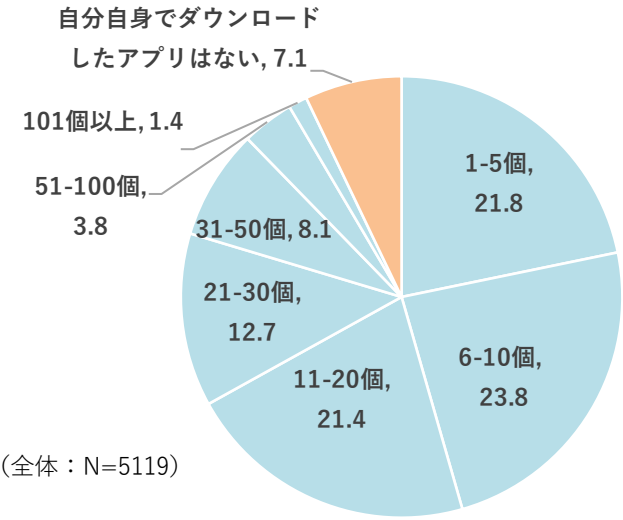
▼属性別：複数台数保有率



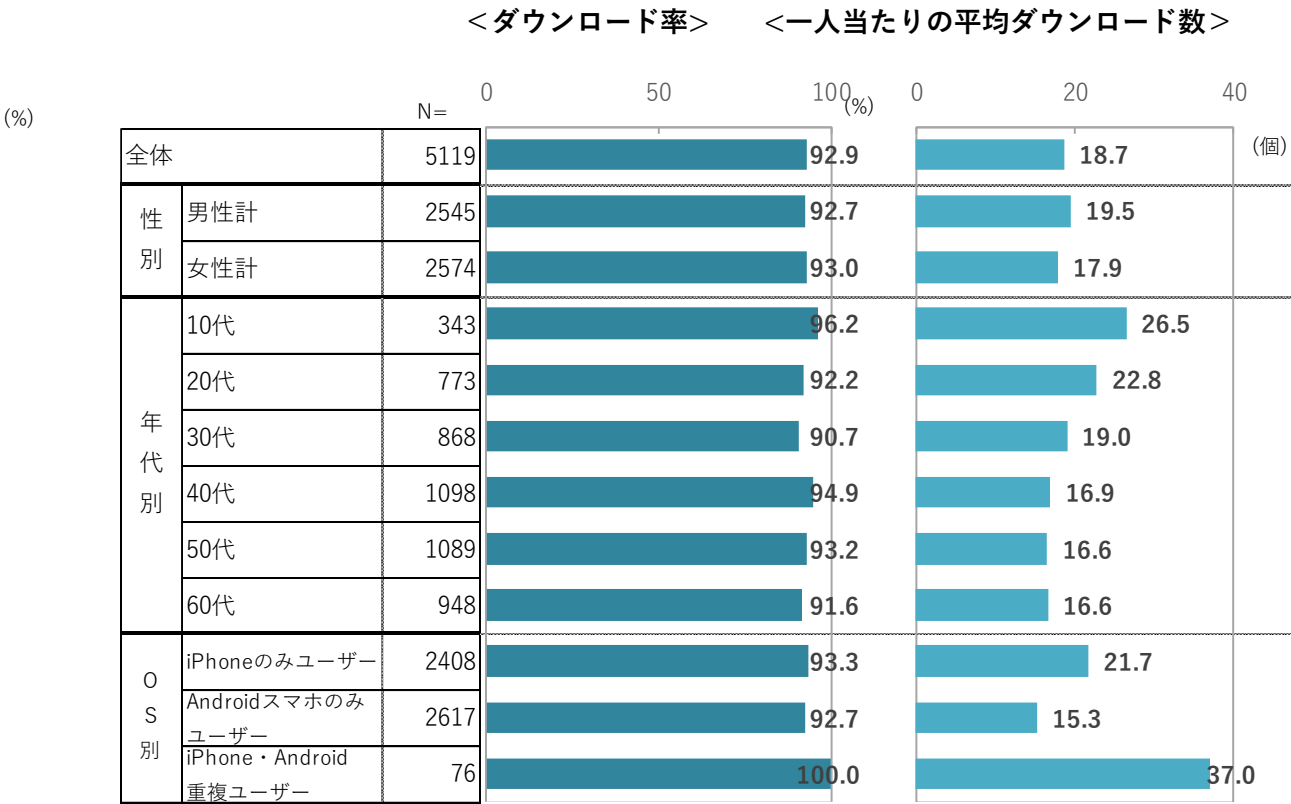
■利用しているスマートフォン機種（全体）



■ダウンロードアプリ数分布（全体）



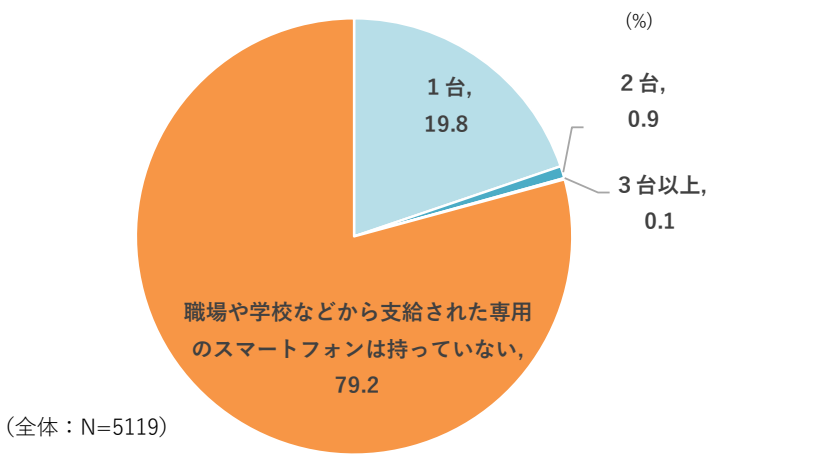
▶ 属性別：ダウンロード率 / 一人当たりの平均ダウンロード数



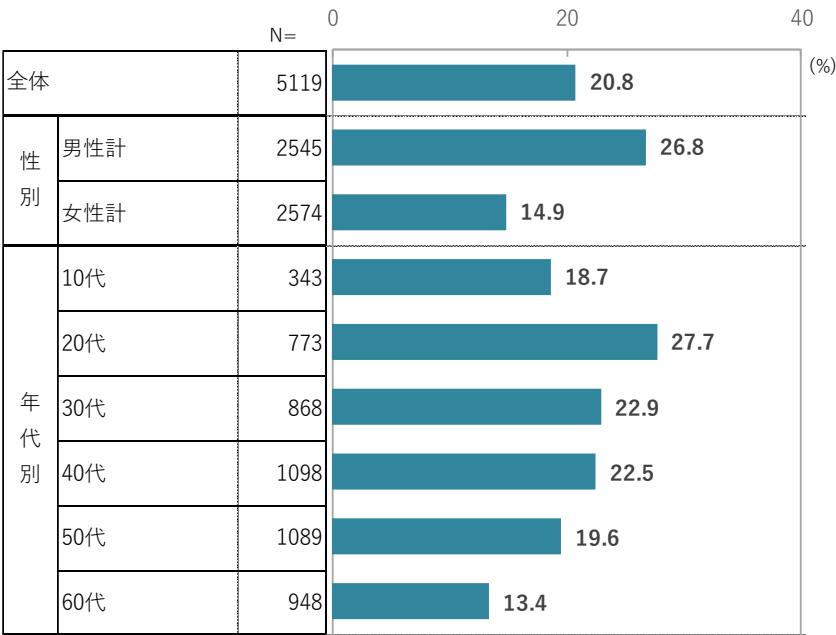
※母数が少ないため参考値（次頁以降同様）

*平均ダウンロード数は、各コードの中位点より算出

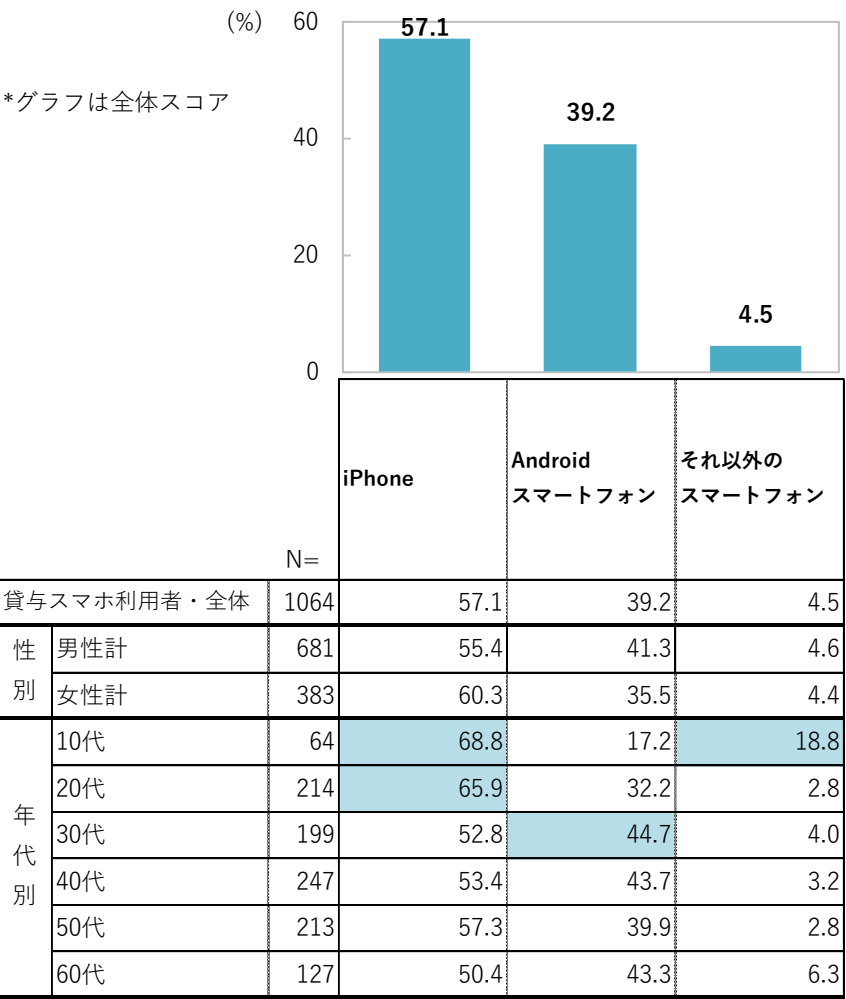
■利用のスマートフォン保有台数（全体）



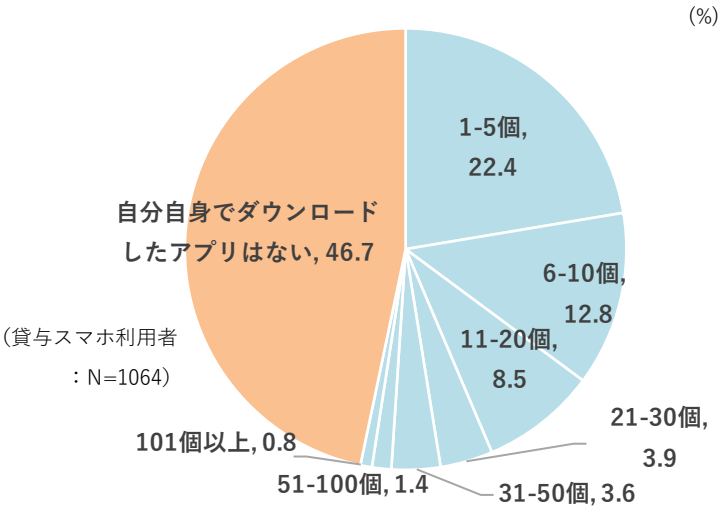
▼ 属性別：貸与スマートフォン保有率



■利用しているスマートフォン機種（貸与スマートフォン利用者）



■ダウンロードアプリ数分布（貸与スマートフォン利用者）

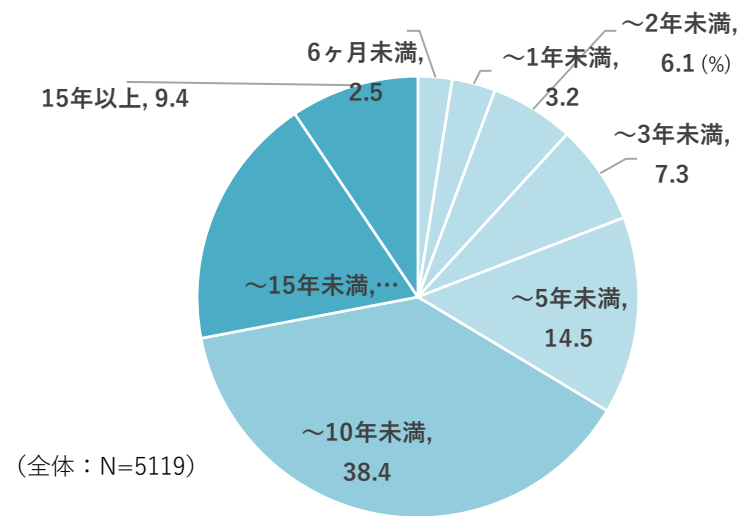


▶ 属性別：ダウンロード率 / 一人当たりの平均ダウンロード数

		N=	0	50	100 (%)	0	20	40	(個)
貸与スマホ利用者・全体		1064	53.3			14.7			
性別	男性計	681	53.9			12.8			
	女性計	383	52.2			18.3			
年代別	10代	64	50.0			21.4			
	20代	214	55.6			19.1			
	30代	199	56.3			14.2			
	40代	247	58.7			14.4			
	50代	213	49.8			9.7			
	60代	127	41.7			12.9			

*平均ダウンロード数は、各コードの中位点より算出

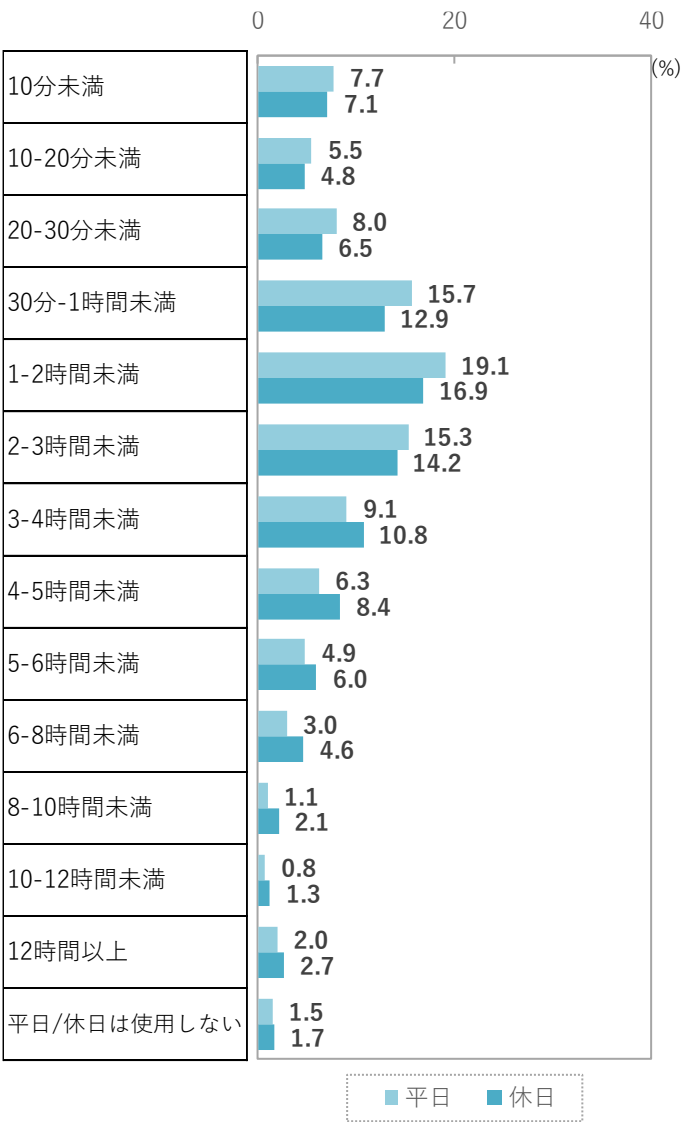
■スマートフォン利用歴（全体）



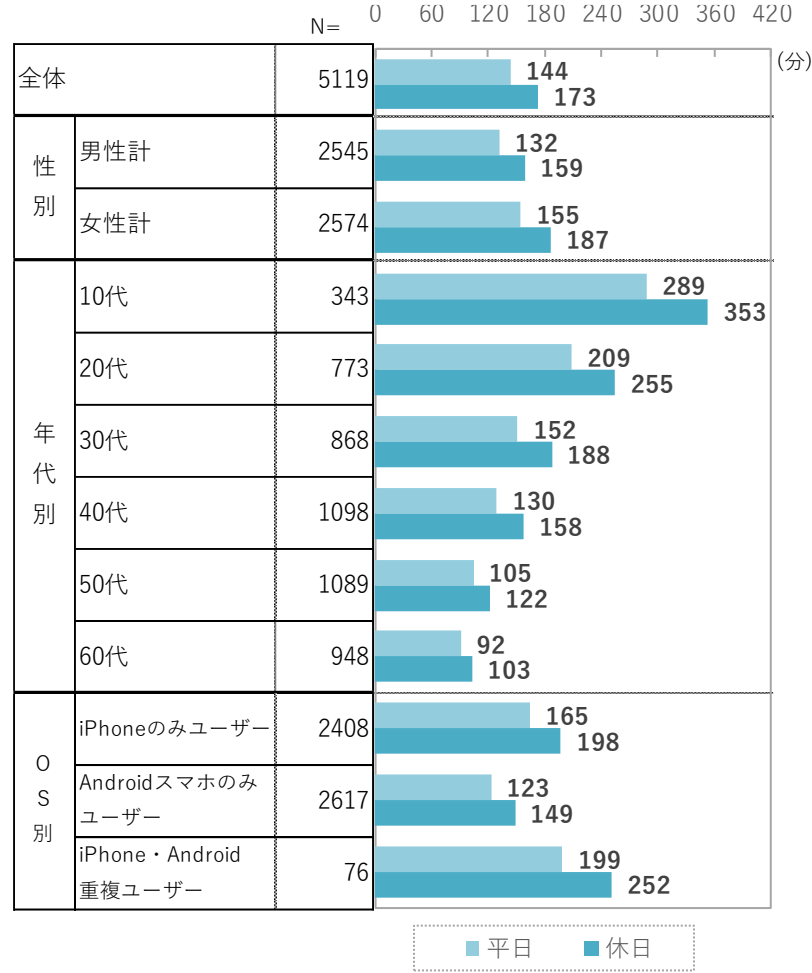
▶ 属性別：スマートフォン利用歴

		N=	5年未満	10年未満	10年以上	(%)
性 別	全体	5119	33.6	38.4	28.0	
	男性計	2545	34.5	38.9	26.7	
性 別	女性計	2574	32.8	37.9	29.3	
年 代 別	10代	343	77.6	20.4	2.0	
	20代	773	27.2	50.7	22.1	
	30代	868	21.7	40.4	37.9	
	40代	1098	27.3	37.8	34.9	
	50代	1089	33.3	37.1	29.6	
	60代	948	41.6	35.1	23.3	
O S 別	iPhoneのみユーザー	2408	28.5	39.9	31.6	
	Androidスマホのみユーザー	2617	38.2	37.3	24.6	
	iPhone・Android重複ユーザー	76	28.9	39.5	31.6	

■スマートフォン利用利用時間分布（全体）



▶ 属性別：一人当たりの平均スマートフォン利用時間



*平均利用時間は、各コードの中位点より算出

01

スマートフォンのセキュリティに対する意識

ちょっとした買い物に行くときも、旅先で気に入った写真をとりたいときも、スマホは私たちの生活になくてはならない存在となっています。このホワイトペーパーを読んでいる皆さんもそうでしょうし、中には複数台のスマホを日常的に使われている方も多いかと思います。それもそのはず、2022年におけるスマホの普及率は世帯ベースで88.6%と言われています。

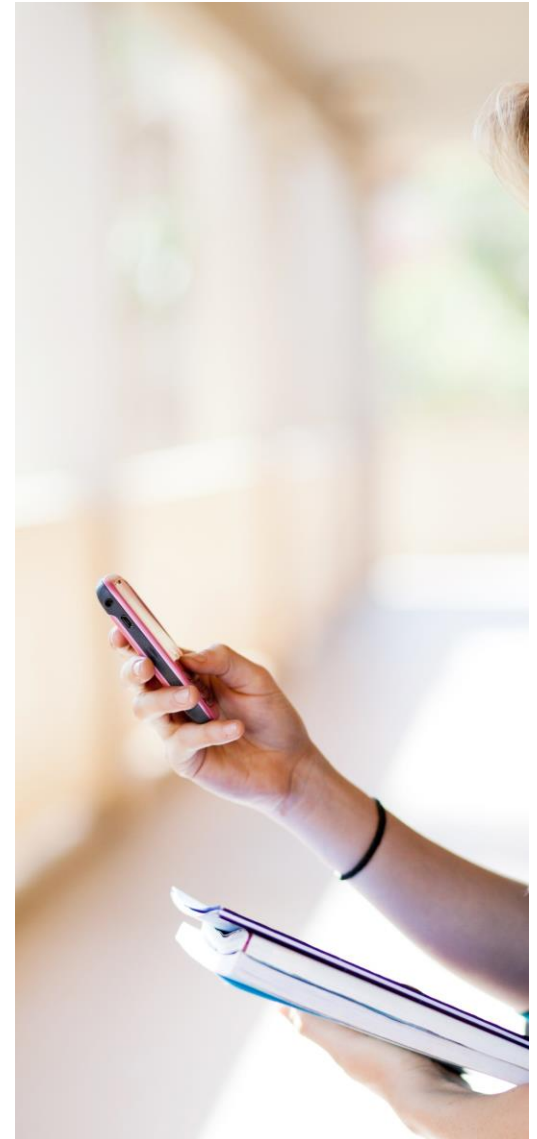
しかし、その普及にともなって、新たな問題も生まれました。

セキュリティとプライバシーです。

スマホをターゲットにした詐欺が横行し、個人情報や信用情報が攻撃者から狙われ、情報漏洩やプライバシー侵害、なりすましによる金銭的被害のニュースが多く聞かれるようになりました。

そこで、国内スマホユーザー約5,000人を対象にスマホのセキュリティとプライバシーに関する調査を実施しました。全14項目にわたるアンケート結果から、スマホユーザーのセキュリティに対する意識を見ていきましょう。

ユーザーは性別・年代別・有配偶別・OS別の属性でグループ分けしています。

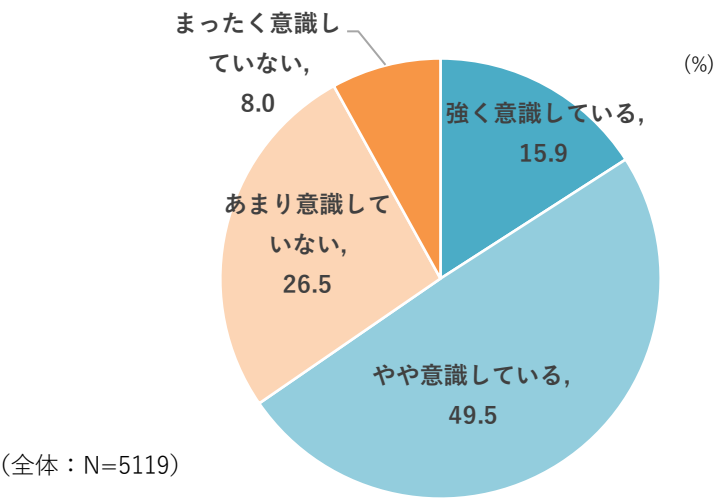


Q1. スマートフォンのプライバシー設定に対する関与度

はじめにアプリを起動したときに、位置情報や端末内データへのアクセス許可をユーザーに求めるダイアログを見たことがあるかと思います。YES回答をしないとアプリそのものが使えないことが多く、さらにダイアログが複数回表示されるような場合、あまりよく確認せず許可してしまうことも多いのではないのでしょうか？しかし、ここでの許可設定は、アプリがバージョンアップされても引き継がれるため、慎重に内容を確認することが重要です。結果は、「強く+やや意識している」と回答した人は65.4%でした。男性より女性の方が意識が高く、年代別では10代の意識が全体平均より5ポイント以上高いことが特徴的です。SNSのアカウント乗っ取りなど、被害に遭われる方の多くが女性ということもあり、性別による意識の差が出ていると言えるかもしれません。

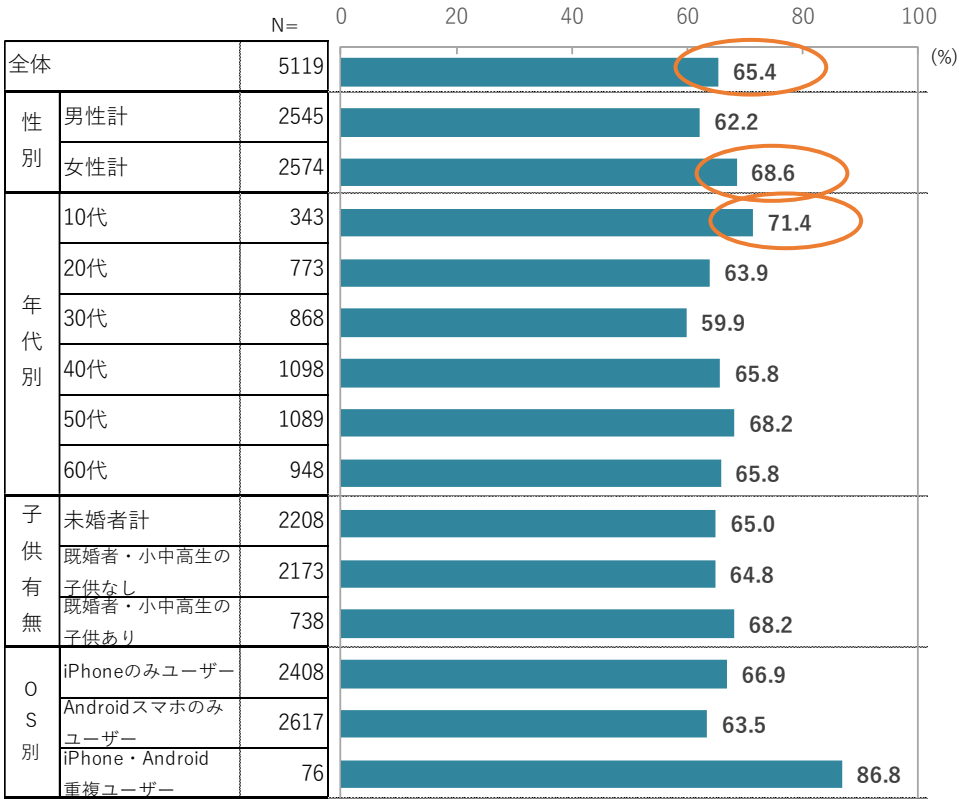
Q1. あなたは、ふだんスマートフォンを使用するにあたり、スマートフォンのプライバシー設定（アプリによる情報取得の許可・不許可の通知など）を意識していますか。（SA）

■ スマートフォンのプライバシー設定に対する関与度（全体）



※「SA:単一回答」、「MA:複数回答」の略となります。

▶ 属性別：「強く+やや意識している」のスコア

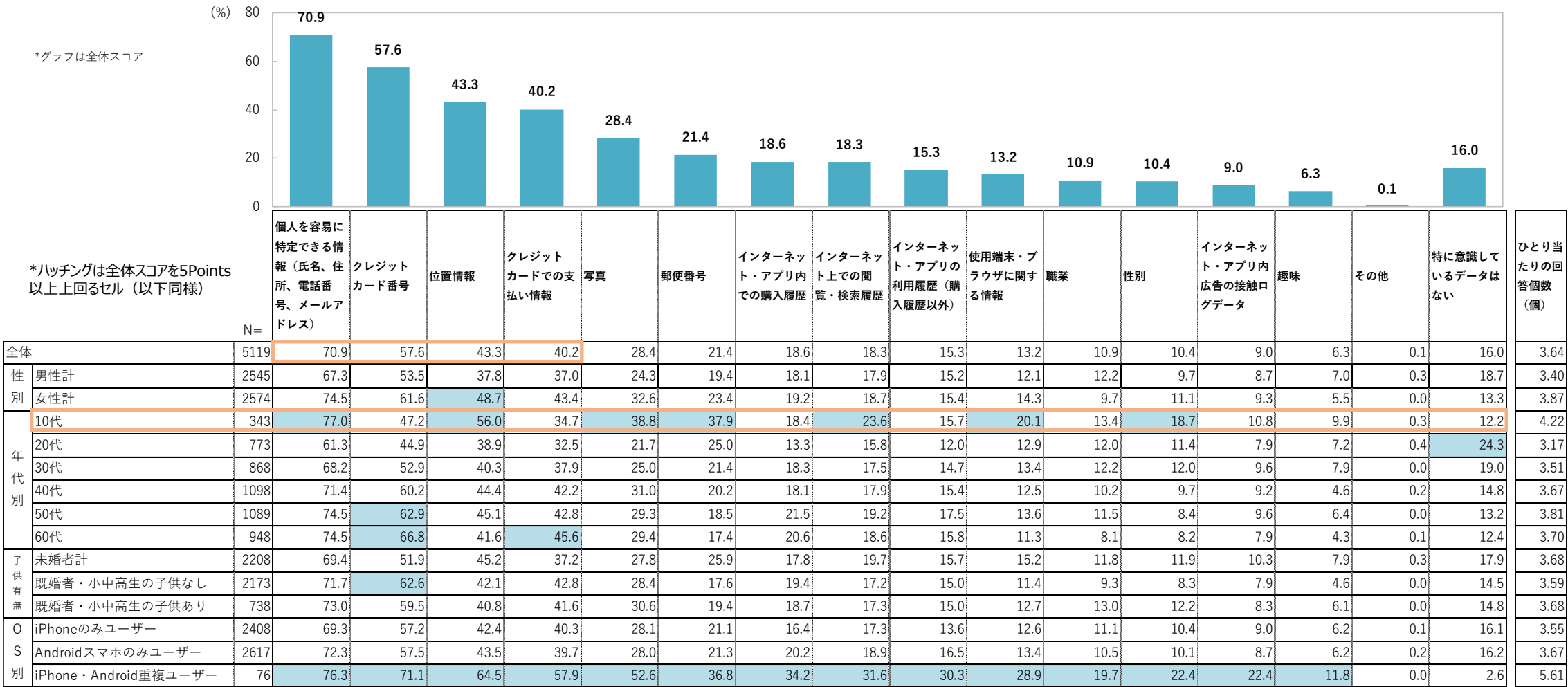


Q2. スマートフォン使用時に意識している個人データ種別



ユーザーがスマートフォン使用時に意識している個人データは、70.9%が「個人を容易に特定できる情報（氏名、住所、電話番号、メールアドレス）」で最も高くなっています。次いで「クレジットカード番号」（57.6%）、「位置情報」（43.3%）、「クレジットカードでの支払い情報」（40.2%）も4割以上が意識しているデータとして掲げています。年代別でいうと、10代のプライバシーに関する意識が高く、その他やクレジットカード関連を除く12項目中7項目で全体平均より5ポイント以上高い数値を示しています。情報漏洩による炎上を身近に見てきた世代だからか、特に「位置情報」「写真」「郵便番号」の扱いには気を付けていることが伺えます。

Q2. ふだんスマートフォンを使用するにあたり、プライバシーに関する情報について、あなたが意識している個人のデータは次のうちどれですか。（MA）

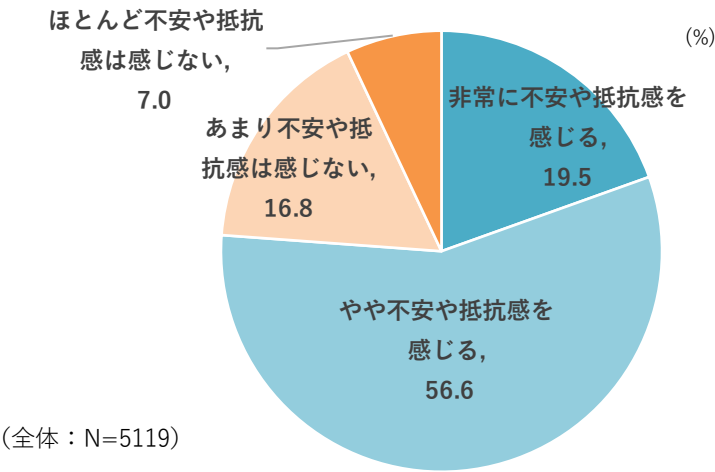


Q3. 個人データ取得・提供に対する不安・抵抗感

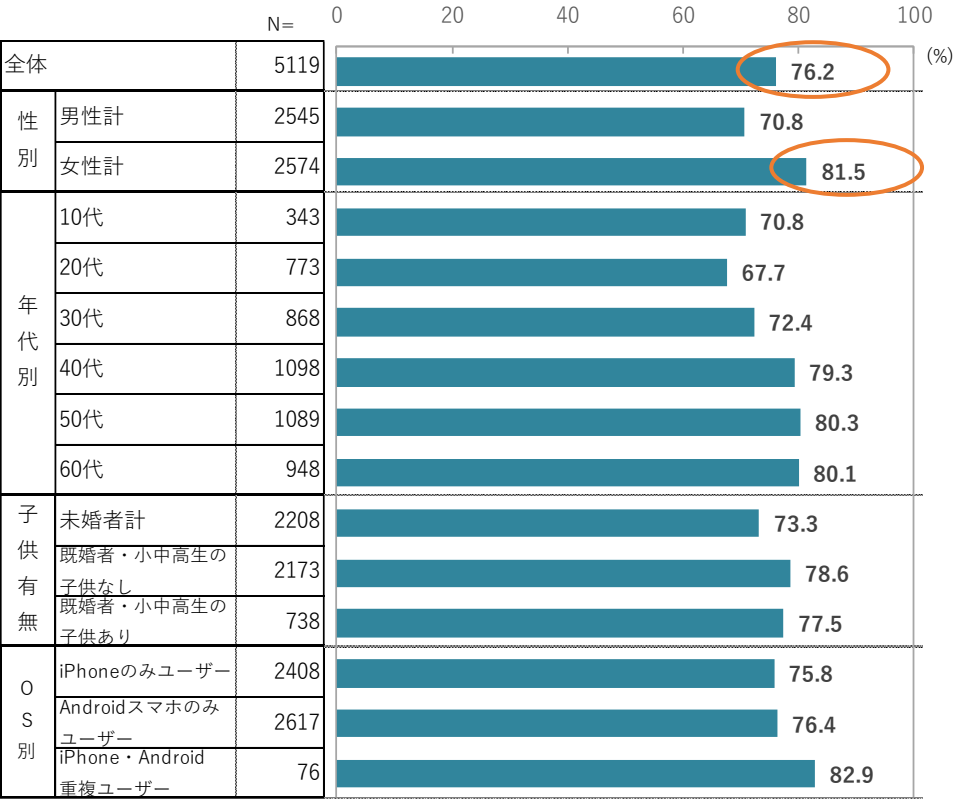
アプリからの情報漏洩がニュースになることが多いですが、そのような背景があってもかアプリプロバイダによる個人データの取得等について「非常に+やや不安や抵抗を感じる」と回答した人は、圧倒的多数の76.2%に達しました。また、男性よりも女性の方が不安や抵抗を感じる数値が高く、性別で差が顕著にみられる結果となっています。年代別でも違いがみられ、10～30代の抵抗感が低く（特に20代）、40代以上は抵抗感が高くなっています。次項では若い世代は個人データの管理に自信をもっていることが表れていますが、不安や抵抗感が低いのもその表れと言えるかもしれません。

Q3. ふだんスマートフォンを使用するにあたり、アプリプロバイダ（アプリの提供元）による個人データの取得・アプリプロバイダ（アプリの提供元）への個人データの提供について、あなたはどのようにお感じになりますか。（SA）

■個人データ取得・提供に対する不安・抵抗感（全体）



▶ 属性別：「非常に+やや不安や抵抗を感じる」のスコアc

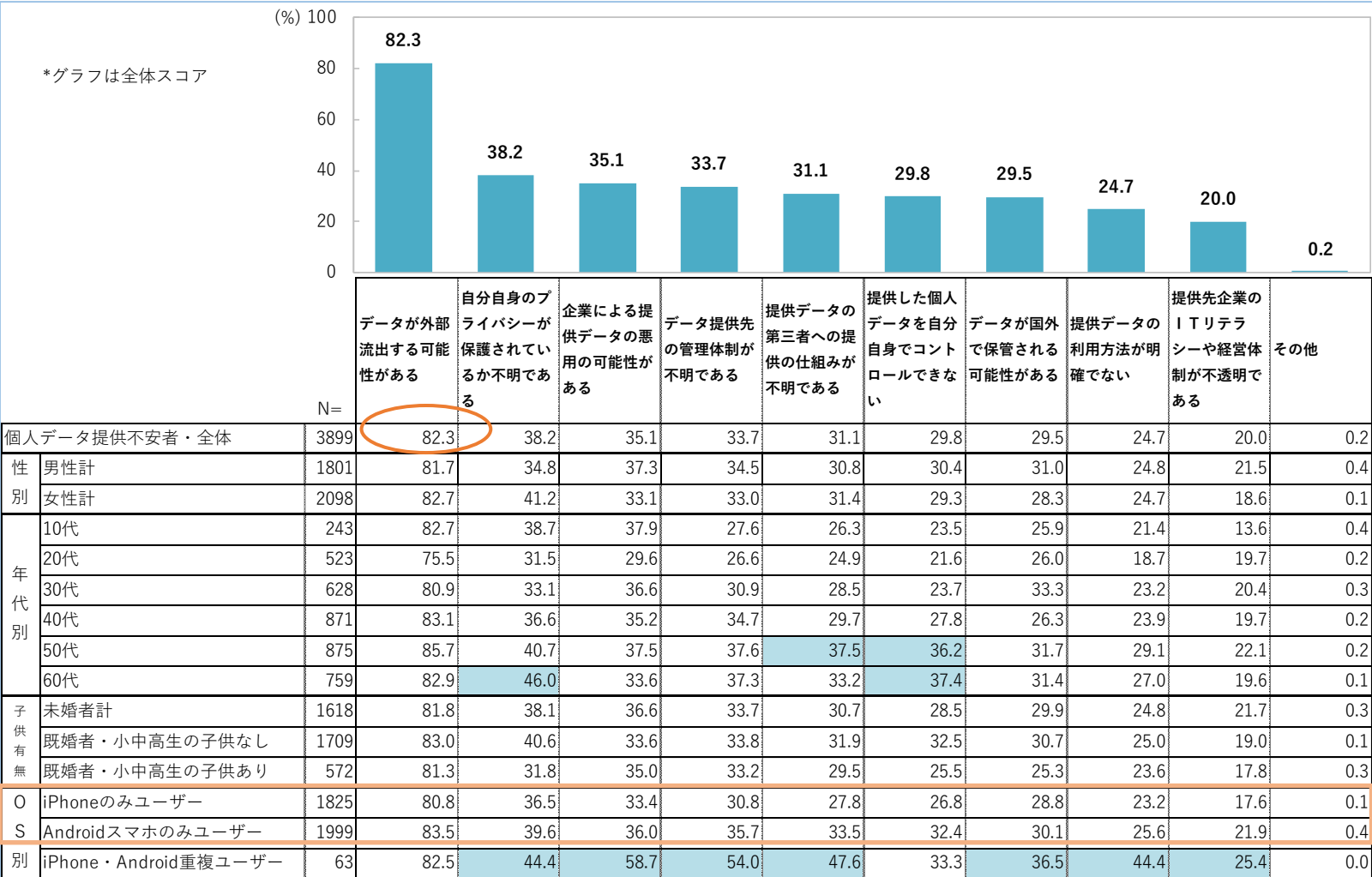


Q3-1. 個人データ取得・提供に不安・抵抗を感じる理由

アプリプロバイダによる個人データの取得に不安や抵抗を感じる理由は、「データが外部流出する可能性がある」が82.3%と圧倒的に高い結果となりました。漏洩した本人しか知り得ない情報をもとにフィッシング詐欺のターゲットにされた場合、見抜くのは困難になるはずですので、不安や抵抗を感じるのは当然と思われます。また、OS別の比較では、Androidユーザーの方がiPhoneユーザーよりも全ての項目において不安や抵抗を感じていることが分かり、個人データの取り扱いに関しては、Androidユーザーの方が意識していると言えるかもしれません。

sq1. あなたは、どのような理由から個人データの取得・提供に不安や抵抗を感じますか。（MA）

■属性別：個人データ取得・提供に不安・抵抗を感じる理由

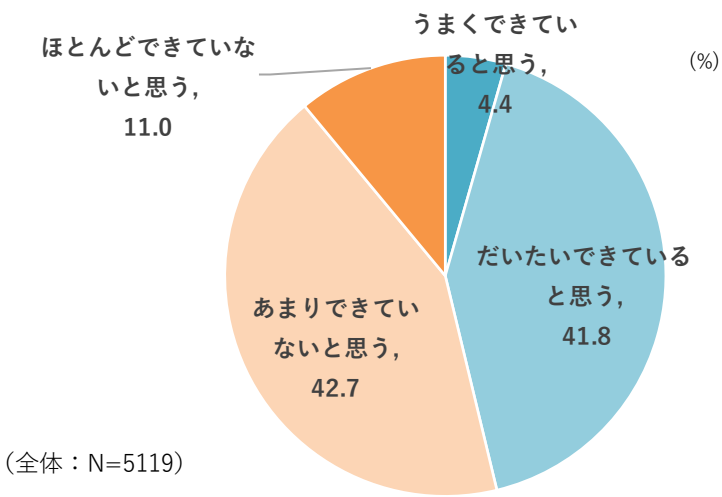


Q4. プライバシー設定の自己管理意識

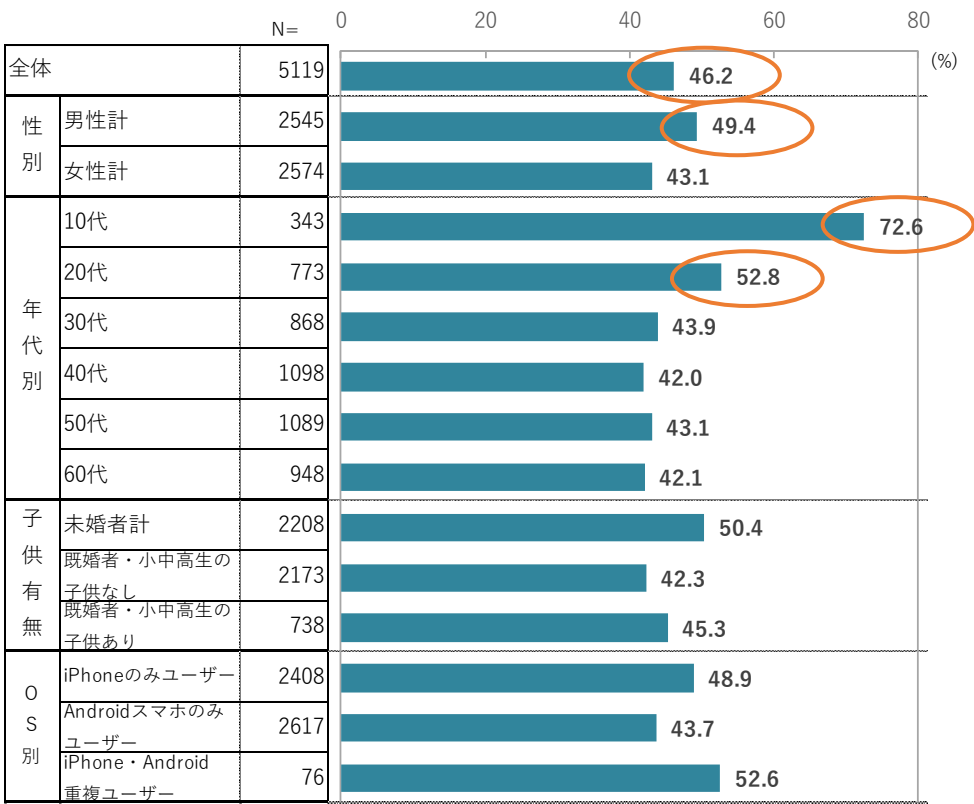
自分自身でプライバシー管理・コントロールを「うまくできていると思う」「だいたいできていると思う」と回答した人は46.2%で半数に満たない結果になりました。年齢別によって大きな差が現れており、管理・コントロールできていると回答したのは、10代で72.6%、20代も52.8%と半数を越えており、特に10代のスマートフォンのプライバシー管理・コントロールに対する自信が浮き彫りになる結果になっています。情報リテラシーの教育を受ける機会が多かった年代では、プライバシー情報の扱いにも自信があるのかもしれません。性別で見ると、男性の方が女性より5ポイント以上高いことが特徴的です。

Q4. あなたは、使用するスマートフォンのプライバシー設定を、どの程度自分自身で管理・コントロールできていると思いますか。（SA）

■ プライバシー設定の自己管理意識（全体）



▶ 属性別：「うまく+だいたいできていると思う」のスコア



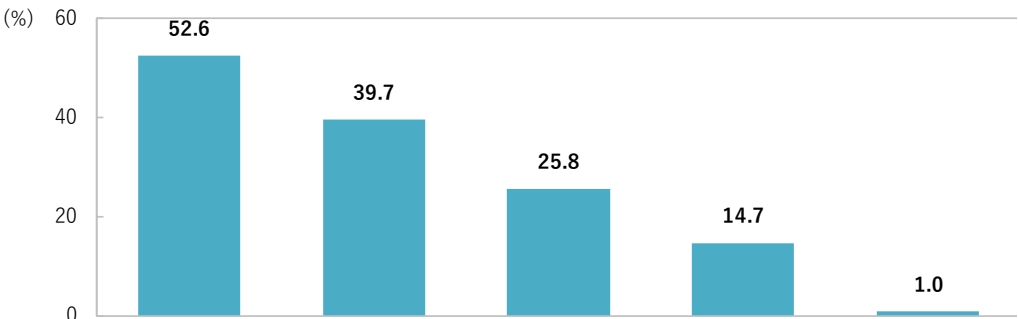
Q4-1. プライバシー設定の管理がうまくいっている理由

管理・コントロールができていいる根拠について、「プライバシーに関するスマートフォン上の設定を自分で確認し設定しているから」が52.6%で最も高い結果となりました。スマートフォン内の位置情報や写真へのアクセス権限はOSの設定からアプリごとに行えるようになっていますが、半数以上のユーザーがそのような設定を十分に確認してアプリを利用していることがわかります。

sq1. あなたが、使用するスマートフォンのプライバシー設定を管理・コントロールできていると思うのは、どのような理由からですか。(MA)

*グラフは全体スコア

■属性別：プライバシー設定の管理がうまくいっている理由



		N=	プライバシーに関するスマートフォン上の設定を自分で確認し設定しているから	プライバシーに関するスマートフォン上の機能を活用しているから	アプリ使用時の情報入力における共有情報を制限しているから	プライバシー保護に関連するアプリや専用のソフトウェアをダウンロード・使用しているから	その他
プライバシー設定管理評価者・全体		2367	52.6	39.7	25.8	14.7	1.0
性別	男性計	1258	54.1	41.9	24.9	14.2	0.6
	女性計	1109	50.8	37.2	26.8	15.3	1.4
年代別	10代	249	57.4	37.8	17.3	12.9	0.4
	20代	408	53.4	36.5	23.3	16.4	0.7
	30代	381	54.1	33.3	26.0	15.0	0.5
	40代	461	54.0	39.9	26.7	15.2	0.7
	50代	469	51.2	44.8	26.9	11.7	1.5
	60代	399	47.1	43.9	31.1	17.0	1.8
子供有無	未婚者計	1113	56.2	37.1	23.0	14.6	0.6
	既婚者・小中高生の子供なし	920	48.3	41.5	29.1	13.6	1.4
	既婚者・小中高生の子供あり	334	52.1	43.1	25.7	18.6	0.9
OS別	iPhoneのみユーザー	1177	51.7	39.5	24.6	12.2	0.8
	Androidスマホのみユーザー	1144	52.8	39.6	26.2	17.1	1.1
	iPhone・Android重複ユーザー	40	75.0	47.5	45.0	22.5	0.0

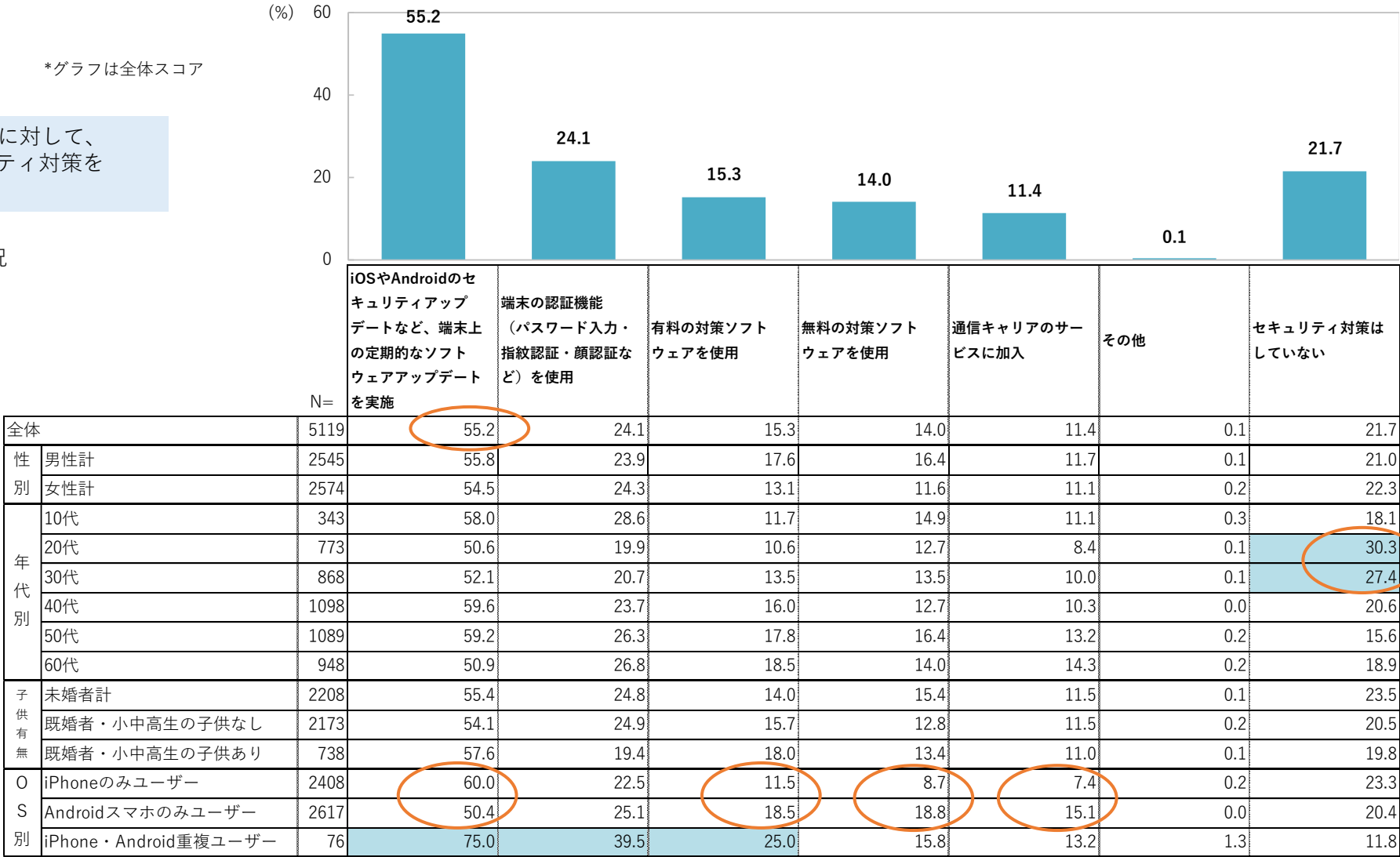
Q5. セキュリティ対策実施状況

最も回答数が多かったのは「iOSやAndroidのセキュリティアップデートなど、端末上の定期的なソフトウェアアップデートを実施」であり55.2%となりました。一方、「セキュリティ対策はしていない」という回答は年代別で見ると20代30代に多く、それぞれ30.3%、27.4%もいることがわかります。OSのアップデートはセキュリティ機能だけではなくパフォーマンスにも影響しますので是非適用することをお勧めします。OS別にみると、iPhoneユーザーのほうがアップデートの適用に積極的のようですが、一方で、Androidスマホユーザーは、有料、無料の対策ソフトや通信キャリアのサービスに加入するケースが多いようです。

*グラフは全体スコア

Q5. あなたは、現在スマートフォンに対して、マルウェア対策などのセキュリティ対策を施していますか。（MA）

■属性別：セキュリティ対策実施状況



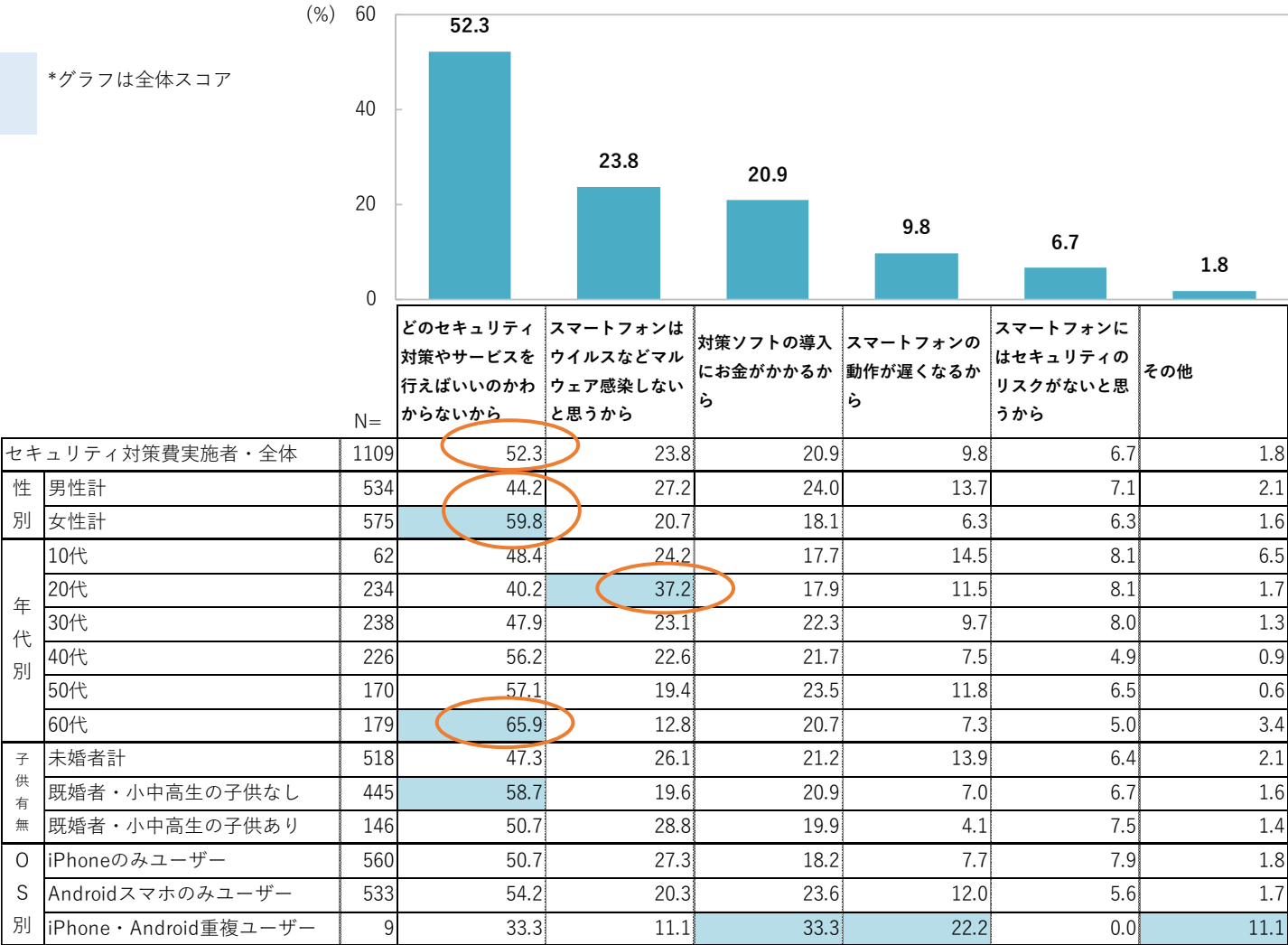
Q5-1. セキュリティ対策実施状況

セキュリティ対策をしていない理由は、「どのセキュリティ対策やサービスを行えばいいのかわからないから」が52.3%と最も高くなりました。この項目は性別で顕著に差が現れており、女性が男性に比べて15ポイント近く高くなっています。また年代別で60代が全体平均より13ポイント以上高くなっています。前項でも触れましたが、OSのアップデートはセキュリティだけではなくパフォーマンスにも影響しますので、積極的に適用することを推奨します。20代は「スマートフォンはウイルスなどマルウェア感染しないと思うから」が全体平均より10ポイント高い結果となっていますが、PCと比較すると感染リスクは低いものの、攻撃者目線で言うなら普及率の高いスマートフォンをターゲットにすることは容易に想像ができ、また実際攻撃も確認されていることから、今一度見直しを意識してほしいと思います。

sq1. スマートフォンにセキュリティ対策をしていないのは、どのような理由からですか。（MA）

*グラフは全体スコア

■属性別：セキュリティ対策をしていない理由

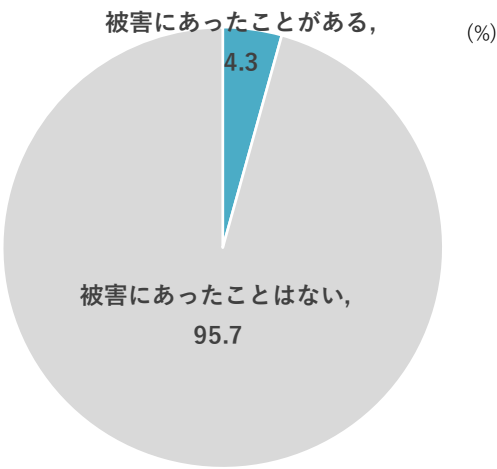


Q6. セキュリティ被害の経験有無

セキュリティ上の被害にあったと回答した人は、4.3%となっています。母数が少ないため属性による僅かな違いも意味はないかと思います。しかし、マルウェアを広義にとらえ、フィッシングメールの類も含めるなら、多くのユーザーが経験しているのではないのでしょうか？おそらく、メールを受信したものの、文中にあるリンクをクリックしておらず、実害は発生していないという意味での回答だったと推察します。また、気づいていないだけで、アプリ起動中に意図せぬ通信が発生している可能性も考えると、被害にあったことはない、と断定するのは極めて難しくなるはずです。今まで大丈夫だったからこれからも大丈夫という意識にならないよう気を付けてほしいと思います。

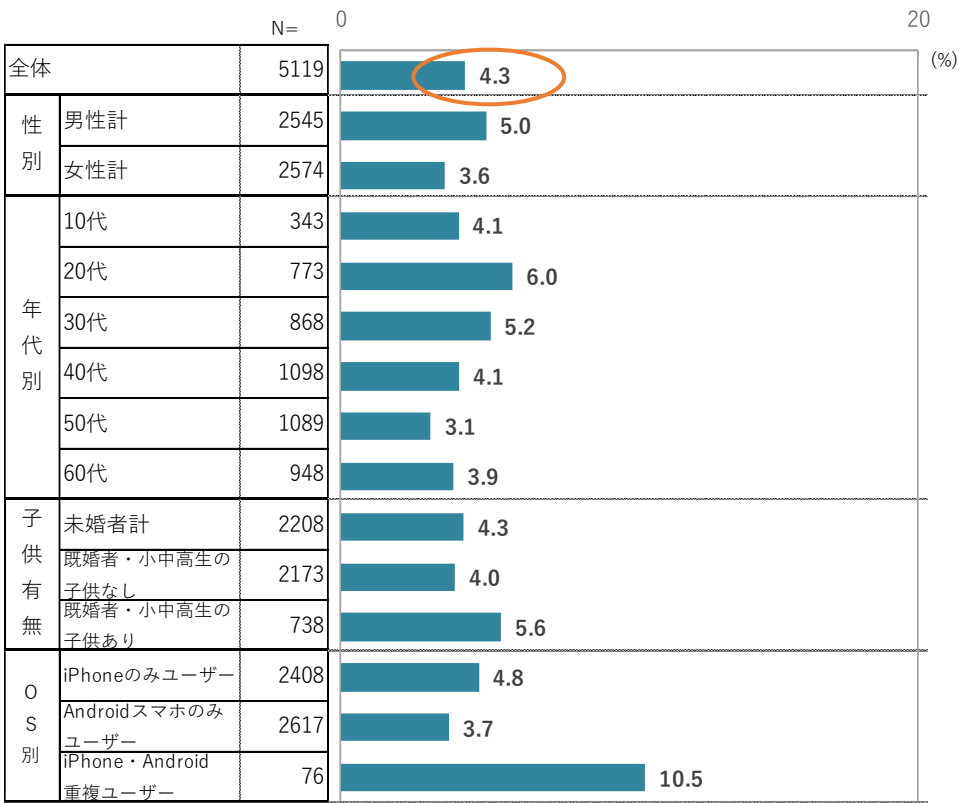
Q6. あなたは、これまでにスマートフォンのセキュリティ上の被害（悪意のあるマルウェア感染など）にあったことがありますか？（SA）

■セキュリティ被害の経験有無（全体）



(全体：N=5119)

▶ 属性別：セキュリティ被害経験率



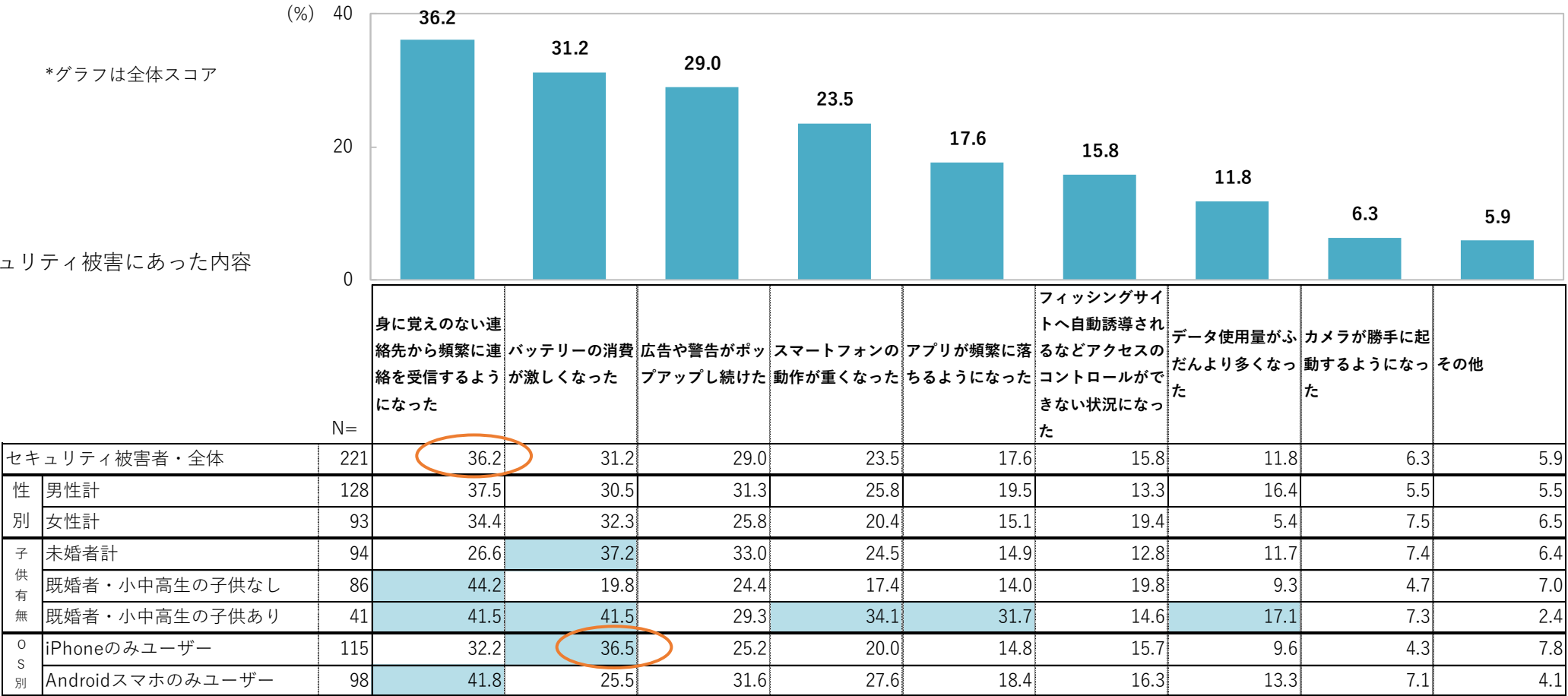
Q6-1. セキュリティ被害にあった内容

被害の症状ベスト4は、「身に覚えのない連絡先から頻繁に連絡を受信するようになった」（36.2%）、「バッテリーの消費が激しくなった」（31.2%）、「広告や警告がポップアップし続けた」（29.0%）、「スマートフォンの動作が重くなった」（23.5%）となっています。母数が少ないため参考までになりますが、「身に覚えのない連絡先から頻繁に連絡を受信するようになった」は、多くのユーザーが経験しているものと思います。最近では、身に覚えのある連絡先を装ってフィッシングを目的としたメールを送信してくる攻撃（標的型攻撃）も確認されています。また、iPhoneでは「バッテリーの消費が激しくなった」が36.5%と最も多くなっています。バッテリー消費を目的としたマルウェアというのは聞いたことはありませんが、悪意あるプロセスが起動することにより、結果的にバッテリー消費が大きくなるケースは考えられます。また、OSの不具合によってバッテリー消費が大きくなることもありますので、定期的なOSアップデートの対策は重要といえます。

sq1. 実際に、どのような被害にあいましたか。（MA）

*グラフは全体スコア

■ 属性別：セキュリティ被害にあった内容



Q6-2. セキュリティ被害にあった機種

被害に遭った機種は、「iPhone」が50.2%、「Androidスマートフォン」45.7%、「覚えていない」7.2%となっています。母数が少ないため参考程度になりますが、回答者の所有機種の比率を考慮すると、Androidユーザーの方が被害にあったと回答した率が高くなっています。

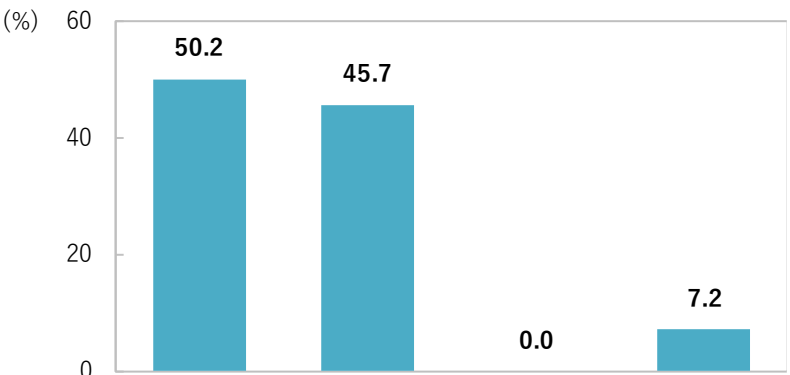
・被害にあった機種
iPhone:Android= 50.2:45.7=1.09:1

・回答者の所有機種
iPhone:Android=115:98=1.17:1

sq2. 実際に被害にあった際の機種をお知らせください。(MA)

*グラフは全体スコア

■属性別：セキュリティ被害にあった機種



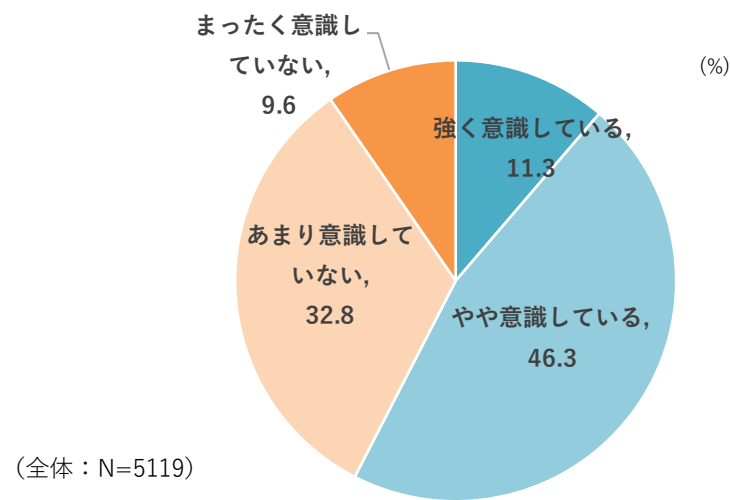
		N=	iPhone	Android スマートフォン	その他	覚えていない
セキュリティ被害者・全体		221	50.2	45.7	0.0	7.2
性別	男性計	128	47.7	53.1	0.0	3.1
	女性計	93	53.8	35.5	0.0	12.9
子供有無	未婚者計	94	51.1	44.7	0.0	7.4
	既婚者・小中高生の子供なし	86	45.3	46.5	0.0	10.5
	既婚者・小中高生の子供あり	41	58.5	46.3	0.0	0.0
OS別	iPhoneのみユーザー	115	88.7	9.6	0.0	5.2
	Androidスマホのみユーザー	98	4.1	86.7	0.0	10.2

Q7. 広告トラッキング設定に対する関与度

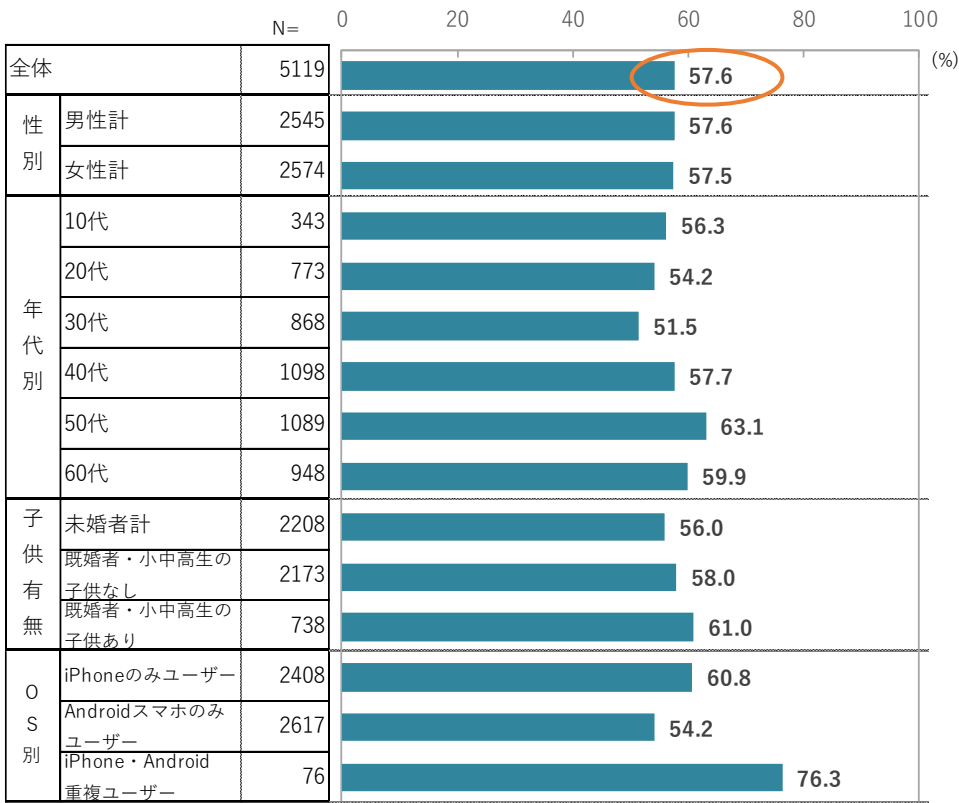
アプリを起動した際に、アプリによるトラッキングを許可するかどうかのダイアログを見たことがある方は多いかと思います。iPhoneでもAndroidでも、トラッキングを行う場合はユーザー許可のもとで行うよう広告事業者には求められています。広告・トラッキング設定を「強く+やや意識している」と回答した人は、57.6%と過半数を超える結果になっています。PCに比べ遥かに小さいスマートフォンの画面を占有する広告は、快適なブラウジングの弊害になりますし、トラッキングされているというのもあまり気持ちのいいものではありません。全属性で半数を超えている結果からも、多くのユーザーが広告・トラッキング設定に対する意識は高いようです。

Q7. あなたはふだん、スマートフォンを利用する際に、スマートフォンの広告・トラッキング設定（自分自身のWebサイト閲覧やアプリの行動履歴をもとに配信されるターゲティング広告に関する設定・通知など）を意識していますか？（SA）

■ 広告トラッキング設定に対する関与度（全体）



▶ 属性別：「強く意識している」「やや意識している」のスコア

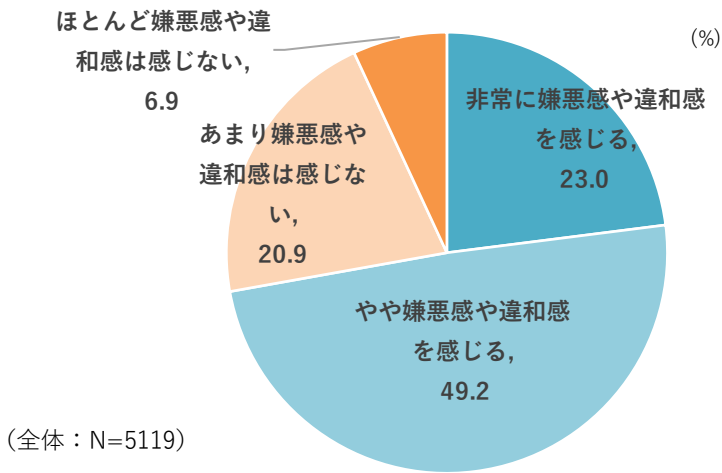


Q8. ターゲティング広告に対する嫌悪感・違和感

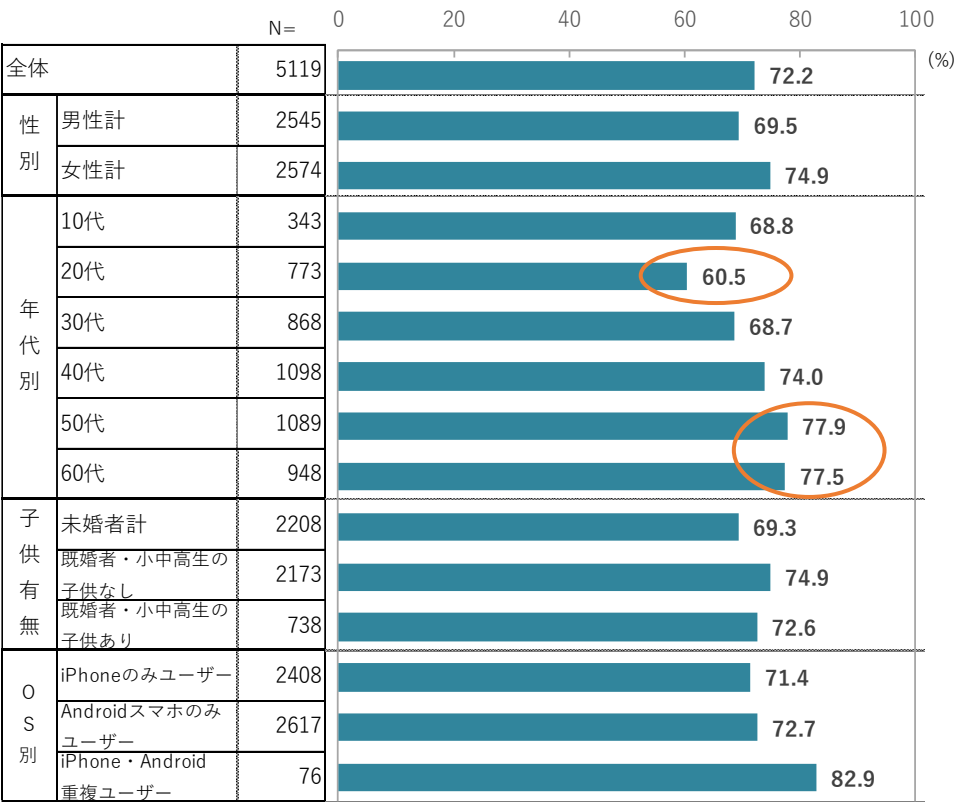
Webサイトのブラウジング中や動画サイトの閲覧中に表示される広告ですが、内容はそれまでのブラウジング履歴や閲覧履歴をはじめとしたユーザーの行動履歴をもとに表示される仕組みになっています。広告主からするとユーザーが一度も自社サイトにアクセスしなくても狙い撃ちができる利便性があるものの、反面ユーザーからすると圧倒的多数が広告表示に嫌悪感をもっていることがわかります。年代別でみると、50代60代が全体平均より5ポイント以上高い値となっている一方で、20代は約4割が嫌悪感・違和感を感じていないという結果となりました。それが当たり前であったZ世代との対比が表れているのかもしれませんが。

Q8. スマートフォンでのWebサイト閲覧やアプリの使用中出现するターゲティング広告の表示について、あなたはどのようにお感じになりますか。
(SA)

■ ターゲティング広告に対する嫌悪感・違和感（全体）



▶ 属性別：「非常に+やや嫌悪感・違和感を感じる」のスコア

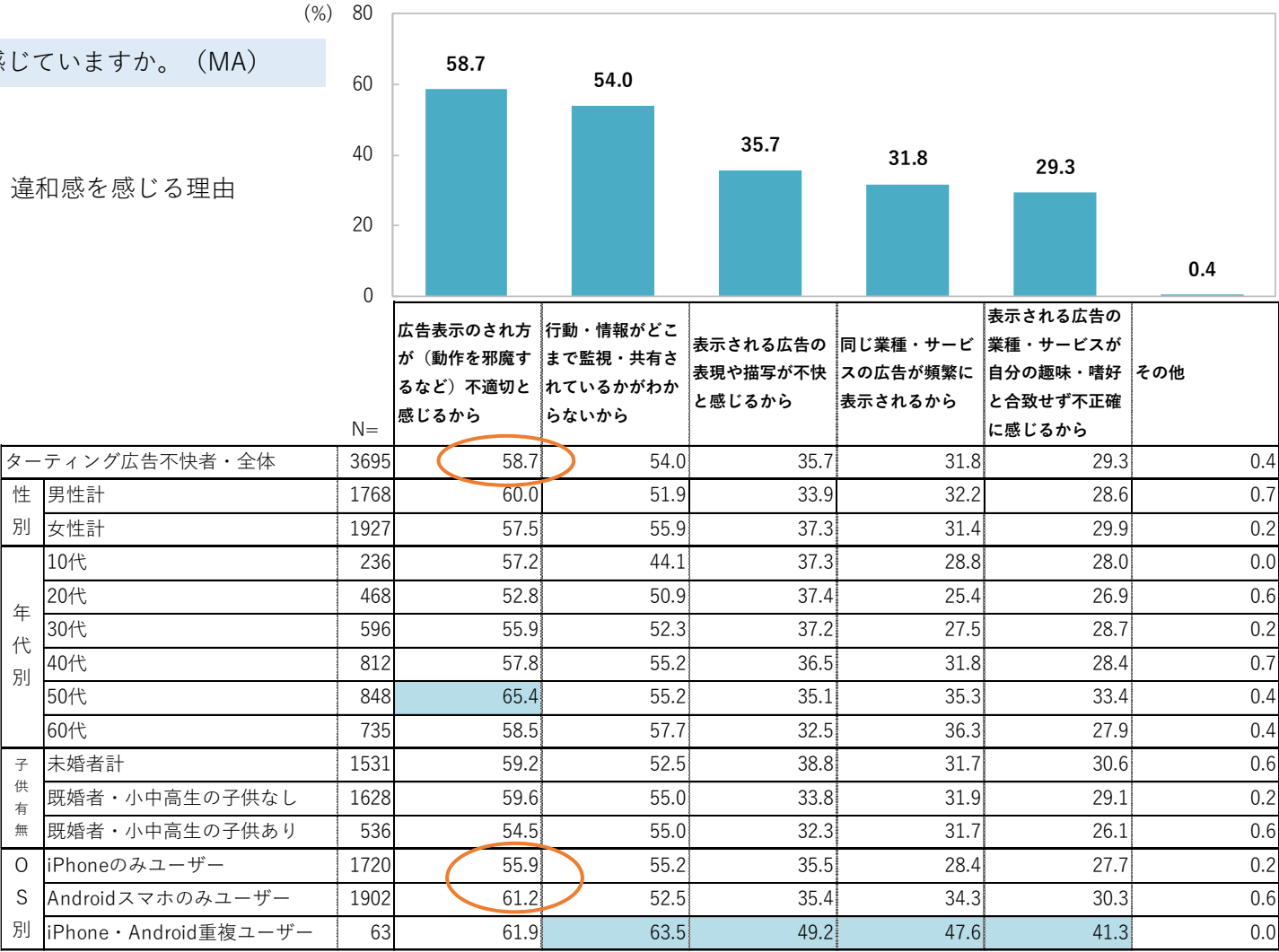


Q8-1. ターゲティング広告に嫌悪感・違和感を感じる理由

画面の一部を占有する広告や動画閲覧中に一定時間スキップ不可で見せられる広告は、たとえそれがユーザーの行動履歴に基づいたものであってもストレスに感じることは多いかと思います。実際、嫌悪感・違和感を感じる理由は、「広告表示のされ方が（動作を邪魔するなど）不適切とを感じるから」（58.7%）となっています。この回答はOS別でみると、Androidユーザーの方がiPhoneユーザーより5ポイント以上高い結果となっています。iPhoneには、ATT（App Tracking Transparency）と呼ばれる、トラッキングの透明性を目的としたフレームワークが備わっていることや、広告表示位置や表示方法についてはデベロッパ側で設定できるものの、ガイドライン上でUXを損なわない、簡単に閉じられるような操作性などを条件として運用していることなどが、ユーザーの不快感の軽減につながっているのかもしれません。

sq1. どのような点に嫌悪感・違和感を感じていますか。（MA）

■属性別：ターゲティング広告に嫌悪感・違和感を感じる理由



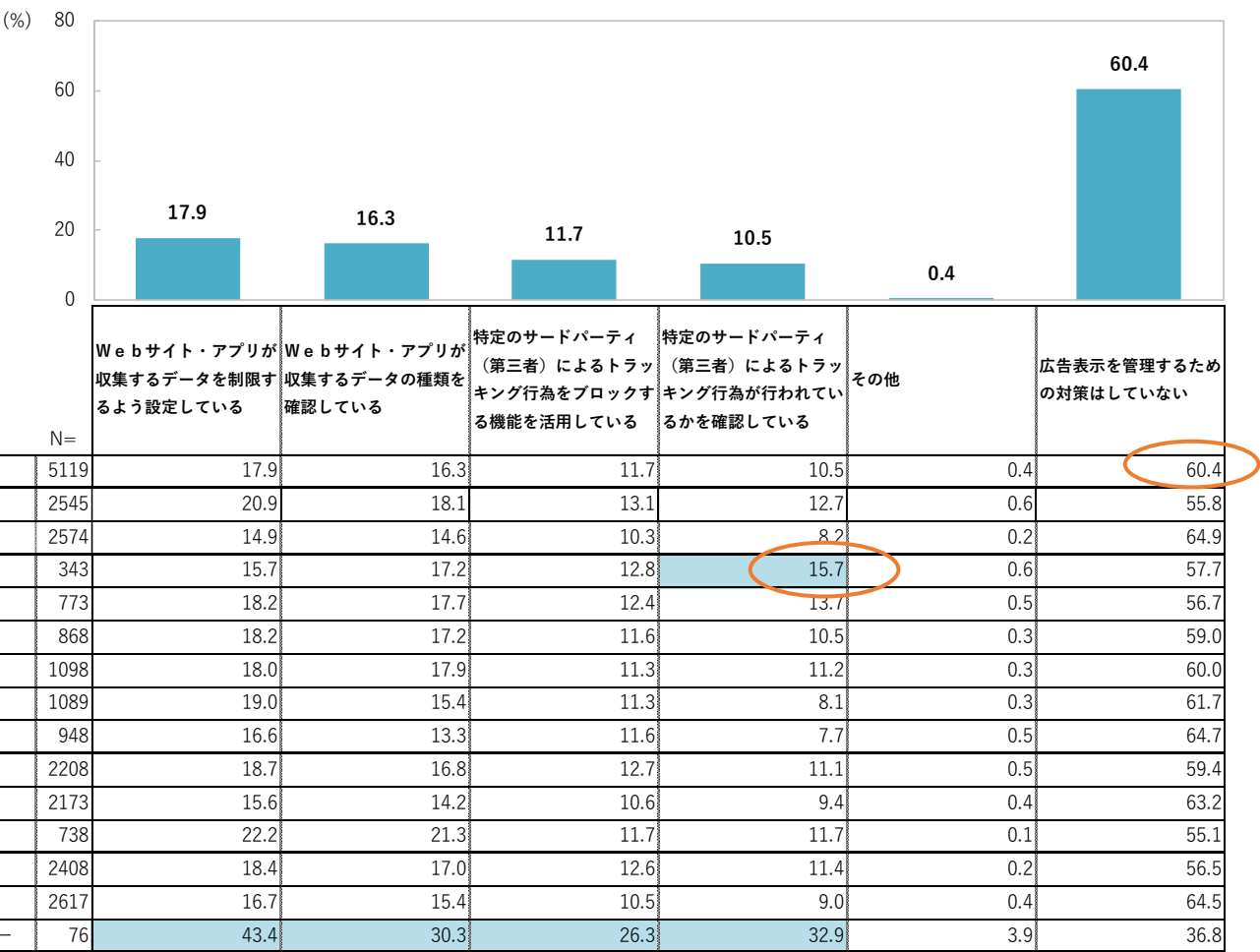
Q9. 広告表示を管理するためのアクション

ブラウザの拡張機能で、ある程度広告をブロックすることも可能ですが、広告ブロックを使用していると閲覧できないページや、あるいは有料会員にならない限りブロックが機能しないサイトも多くあります。このような事情を踏まえ、一般的なユーザーがどのような対策をしているのか見てみましょう。広告表示を管理するためのアクションとしては、60.4%が「広告表示を管理するための対策はしていない」と回答しています。設定、確認している中では、「Webサイト・アプリが収集するデータを制限するよう設定している」が17.9%、次いで「Webサイト・アプリが収集するデータの種類を確認している」が16.3%となっています。10代では「特定のサードパーティ（第三者）によるトラッキング行為が行われているかを確認している」が全体平均より5ポイント以上高い値を示しています。

Q9. あなたは、スマートフォンの広告表示を管理するために何を行っていますか。（MA）

*グラフは全体スコア

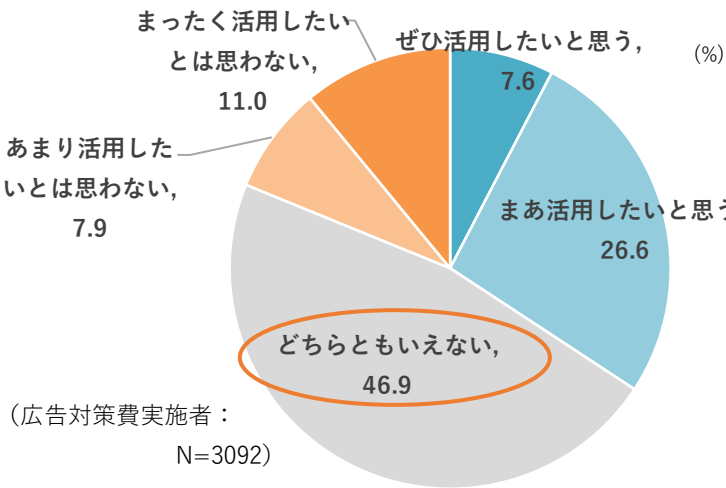
■属性別：広告表示を管理するためのアクション



「活用したい」「もしくは「まあ活用したい」が3割以上いる一方で、「どちらともいえない」が46.9%と約半数となりました。
考えられる理由としては、トラッキングを無効にした場合の効果や結果についてイメージがつきにくいと感じているユーザーが多いことが考えられます。

sq1. Webサイト・アプリが収集するデータの種類の確認や、特定のサードパーティ（第三者）によるトラッキング行為を管理する機能を、今後活用したいと思いますか。（SA）

■ トラッキング管理機能の活用意向（広告対策非実施者）



▶ 属性別：Top2Box / Bottom2Boxのスコア

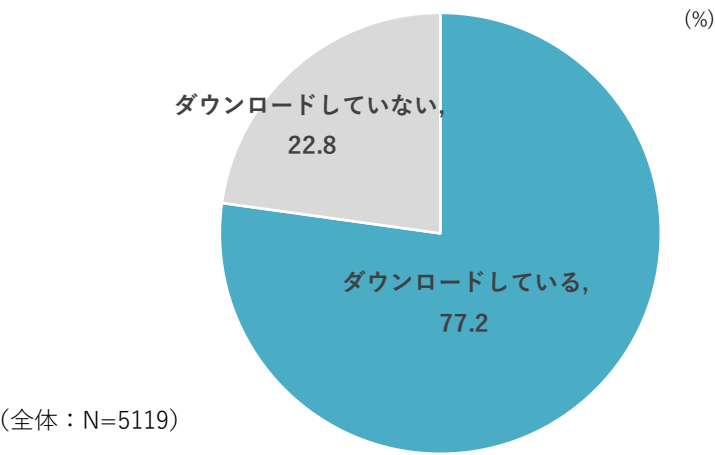
		N=	活用意向あり	活用意向なし	(%)
広告対策非実施者・全体		3092	34.2	18.8	
性別	男性計	1421	30.6	23.7	
	女性計	1671	37.3	14.7	
年代別	10代	198	39.4	19.2	
	20代	438	27.6	25.3	
	30代	512	27.5	26.0	
	40代	659	35.2	18.2	
	50代	672	38.1	15.5	
	60代	613	37.7	12.4	
子供有無	未婚者計	1312	32.3	20.4	
	既婚者・小中高生の 子供なし	1373	35.0	16.1	
	既婚者・小中高生の 子供あり	407	37.8	22.9	
OS別	iPhoneのみユーザー	1361	35.6	19.3	
	Androidスマホのみ ユーザー	1688	33.1	18.4	
	iPhone・Android 重複ユーザー	28	42.9	10.7	

Q10. アプリのダウンロード利用有無

アプリのダウンロード利用率は77.2%となっています。多くのユーザーが公式ストアからアプリをダウンロードしていることが分かりますが、年齢別で見ると50代、60代の高齢層が20代、30代よりも積極的であるという意外な結果となっています。

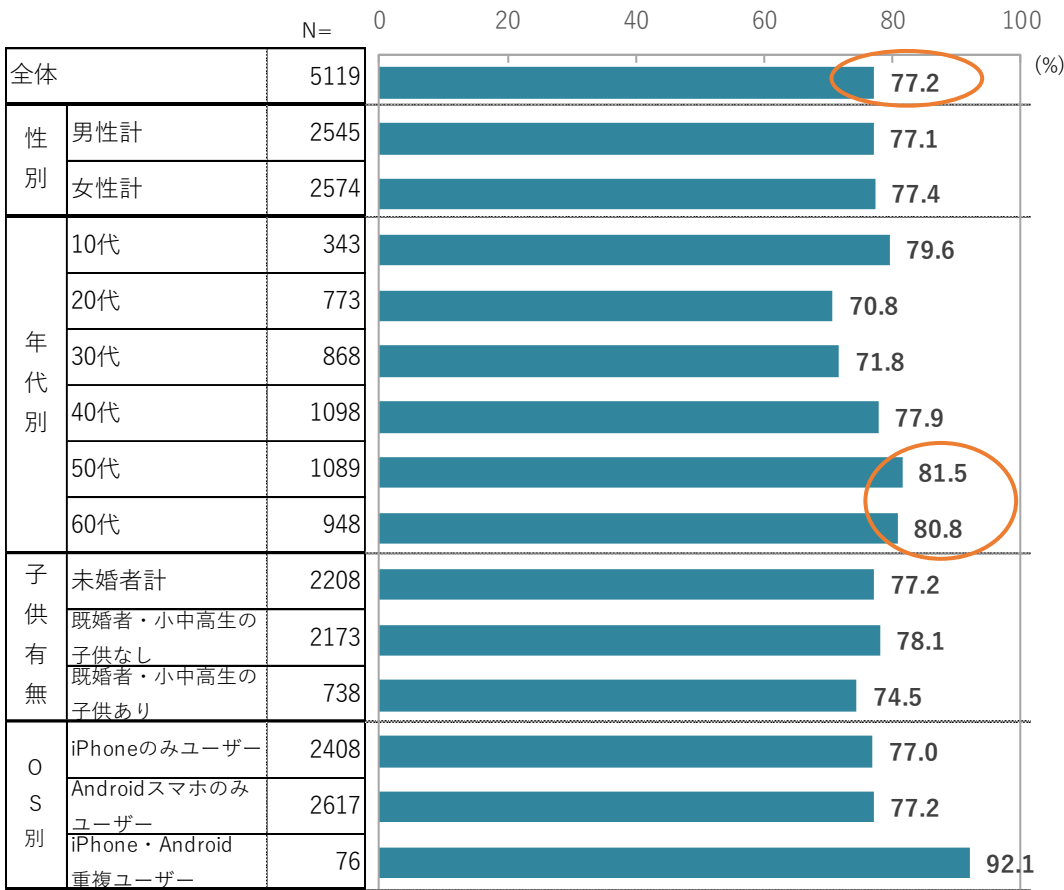
Q10. ふだんあなたはスマートフォンのアプリを、公式のアプリストア（App StoreやGoogle Playストア）、もしくはWebサイトからダウンロードして使用していますか。（SA）

■ アプリのダウンロード利用有無（全体）



(全体：N=5119)

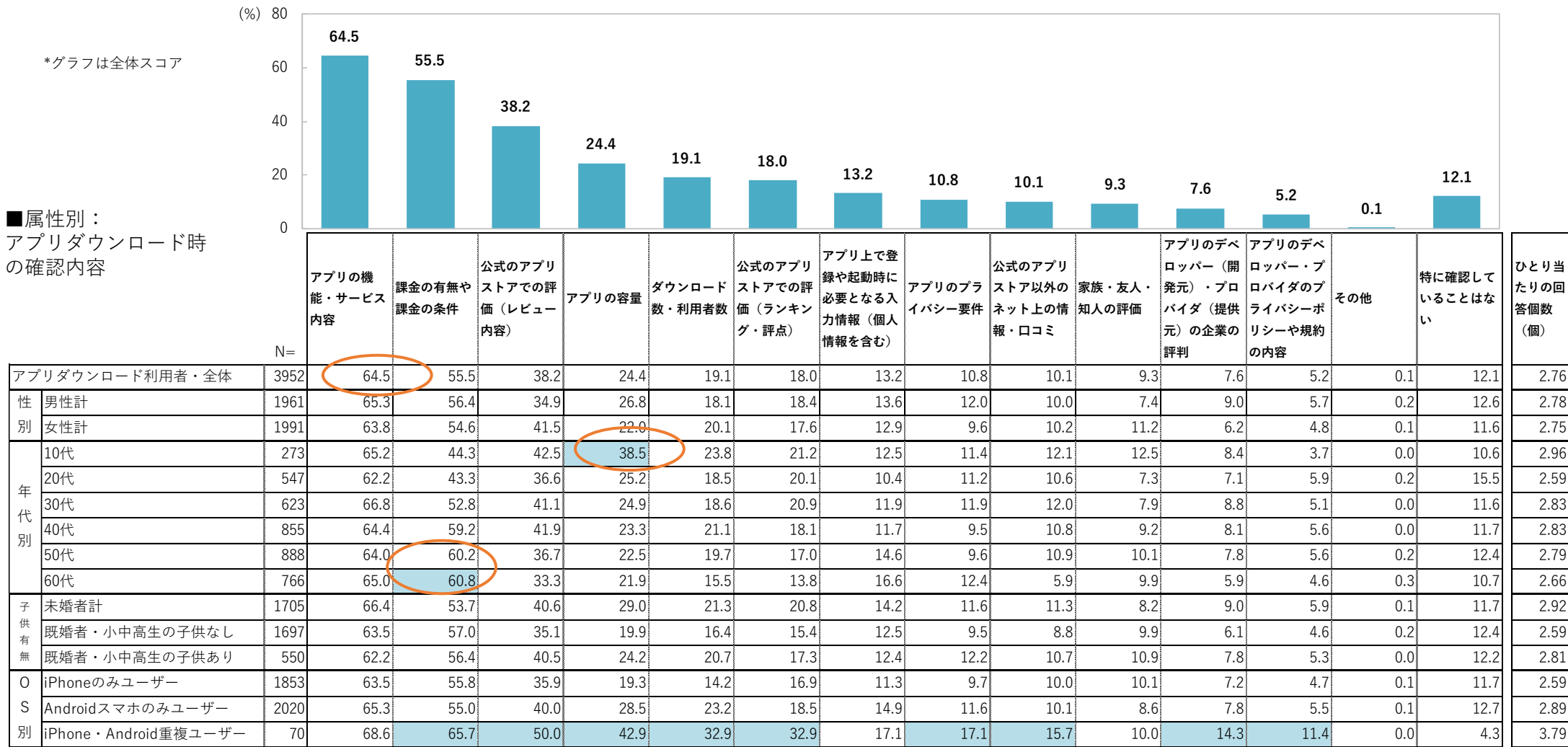
▶ 属性別：アプリダウンロード利用率



Q10-1. アプリダウンロード時の確認内容

アプリのダウンロード時に確認している内容は、「アプリの機能・サービス内容」（64.5％）がどの属性においても最多となりました。年代別の特徴としては、50代、60代で「課金の有無や課金条件」のポイントが60％を越えている一方、20代、30代は全体平均を10ポイント以上下回っています。10代は「アプリの容量」を気にしているようで、全体平均よりも14ポイント以上高い値を示しています。Z世代が最も利用するアプリはゲームといわれていますが、いずれも容量が大きいいためアプリのサイズも気になるところなのかもしれません。また、アプリのプライバシー要件やデベロッパーの企業評判・規約などについて確認を行っているユーザーは少数派であることがわかります。

sq1. スマートフォンアプリのダウンロードに際して、どのようなことを実際に確認していますか。（MA）

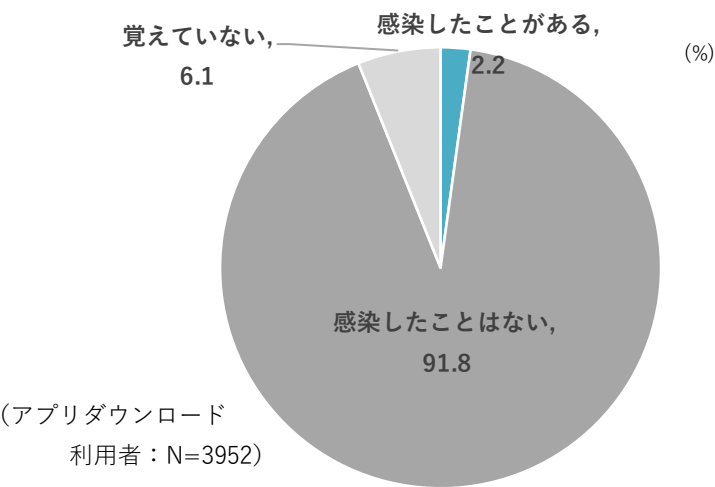


Q10-2. アプリダウンロード時・更新時のマルウェア感染経験有無

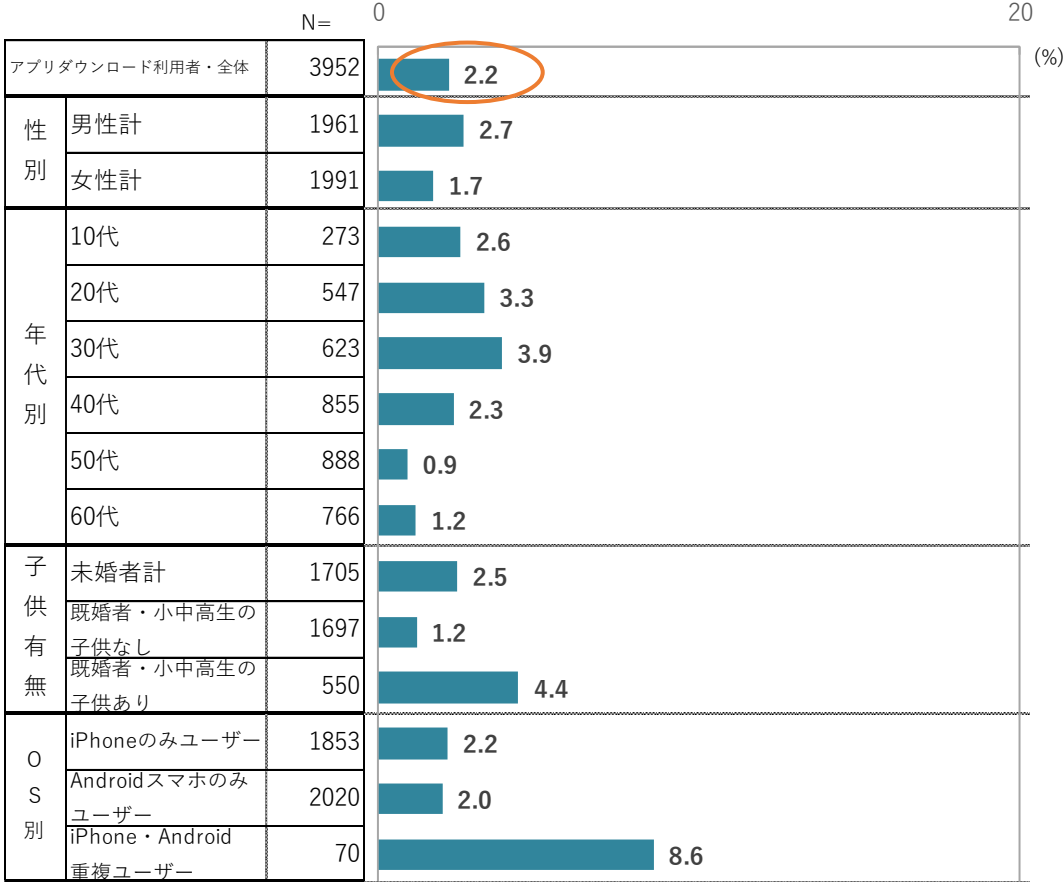
アプリのダウンロード時や更新時あるいは使用中に、ウイルスなどに感染した経験があると回答した人は2.2%でした。公式ストアにあるアプリはファーストパーティによる審査を通過したのになりますので、感染するリスクは極めて低いと言えます。ただし、ストアにあるアプリであっても、それ単体では全く無害であるアプリを装って、別途攻撃コードをダウンロードするアプリ、または有害サイトへ誘導するアプリ、ゼロデイ攻撃に対する脆弱性を含んだアプリも確認されていますので、OSはもちろんアプリのアップデートも通知があれば適用することを推奨します。

sq2. あなたはこれまでに、スマートフォンアプリのダウンロード時や更新時やアプリの使用中に、ウイルスなどの悪意のあるマルウェアに感染したことがありますか。（SA）

■ アプリDL時のマルウェア感染経験有無（アプリDL利用者）



▶ 属性別：DL時のマルウェア感染経験率

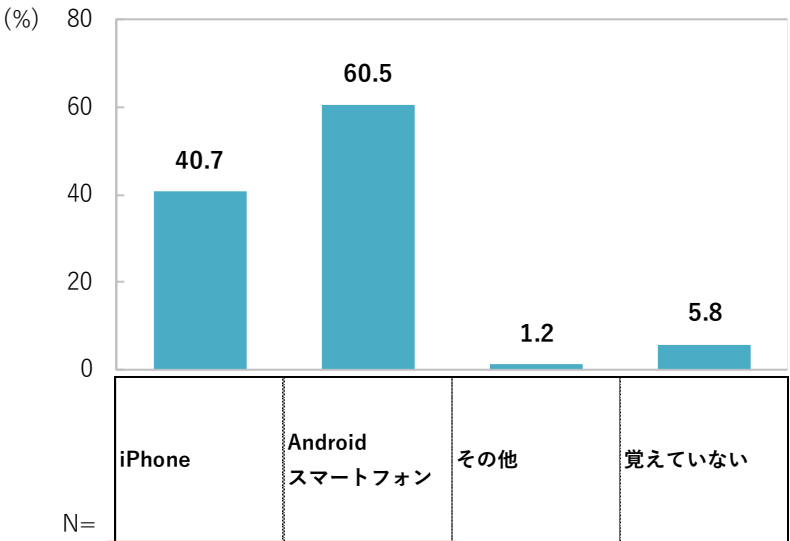


母数が小さいため参考程度になりますが、感染した機種は「iPhone」が40.7%、「Androidスマートフォン」が60.5%となっています。回答者の所有機種の比率は40:40です。

sq3. 実際に被害にあった際の機種をお知らせください。(MA)

■属性別：マルウェア感染した機種

*グラフは全体スコア



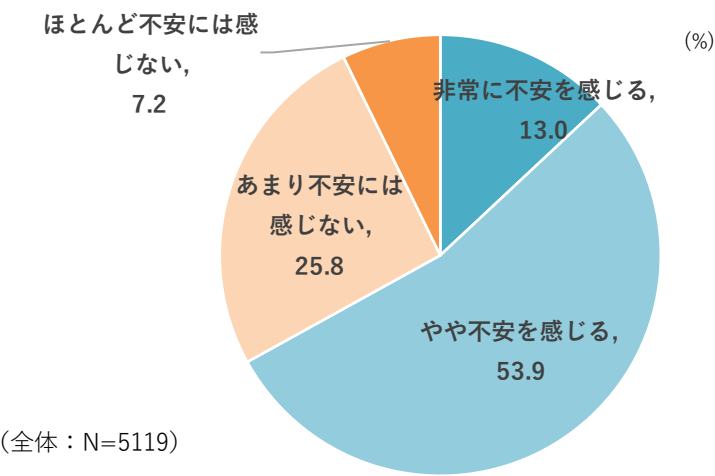
アプリDL時マルウェア感染者・全体		86	40.7	60.5	1.2	5.8
性別	男性計	52	48.1	61.5	1.9	0.0
	女性計	34	29.4	58.8	0.0	14.7
子供有無	未婚者計	42	47.6	50.0	2.4	7.1
	既婚者・小中高生の子供なし	20	15.0	80.0	0.0	10.0
	既婚者・小中高生の子供あり	24	50.0	62.5	0.0	0.0
OS別	iPhoneのみユーザー	40	75.0	22.5	2.5	5.0
	Androidスマホのみユーザー	40	2.5	92.5	0.0	7.5

Q11. アプリダウンロードにおけるセキュリティ上の不安感

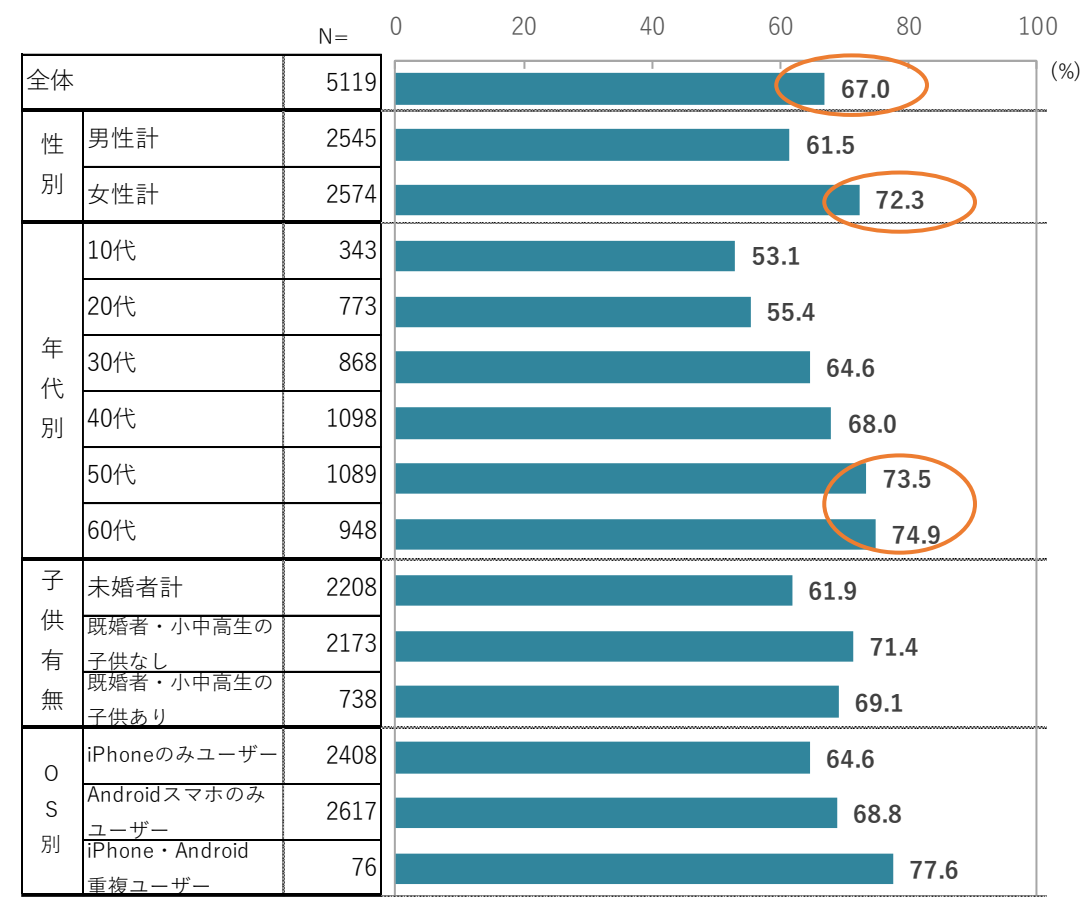
アプリダウンロード時にセキュリティやプライバシー上の不安を「非常に+やや不安を感じる」と回答した人は、約67%となりました。特に50代、60代で全体平均より5ポイント以上高くなっています。それに対して10代、20代の若い世代は全体平均より10ポイント下回っています。いわゆるZ世代の間では、スマートフォンアプリのダウンロードへの抵抗感は比較的低めであると言えます。

Q11. スマートフォンアプリのダウンロードに際し、セキュリティやプライバシー上の不安を感じますか。 (SA)

■ アプリDLにおけるセキュリティ上の不安感 (全体)



▶ 属性別：「非常に+やや不安を感じる」のスコア



Q11-1. アプリDLにおけるセキュリティ上の対策内容

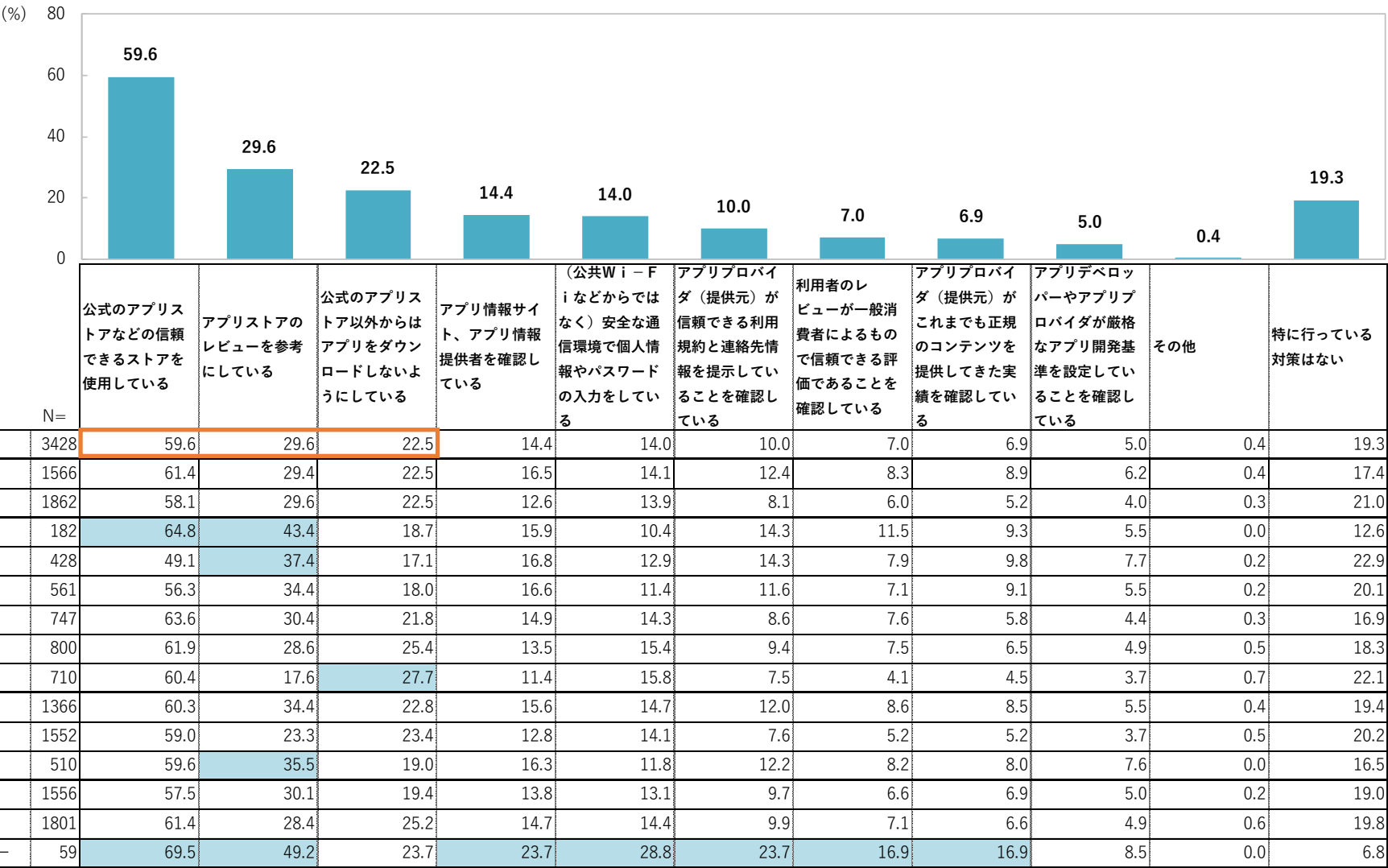


アプリをダウンロードする際のセキュリティ上の対策は、「公式のアプリストアなどの信頼できるストアを使用している」が59.6%と、2番目の対策内容の2倍以上のポイントとなっています。次いで「アプリストアのレビューを参考にしている」が29.6%、「公式のアプリストア以外からはアプリをダウンロードをしないようにしている」が22.5%となっており、3つの回答がそれぞれ20%以上となった点から公式ストアの信頼度の高さが表れていると言えます。アプリプロバイダ(提供元)の情報など、ストア以外から発信される情報をもとにした対策は、総じて低い値を示しており、ユーザーとアプリプロバイダ間の第三者的立場としての公式ストアへの信頼度の高さがうかがい知れます。

sq1. アプリのダウンロードに際して、自分自身でセキュリティ上の対策を行っていますか。(MA)

*グラフは全体スコア

■属性別：アプリDLにおけるセキュリティ上の対策内容

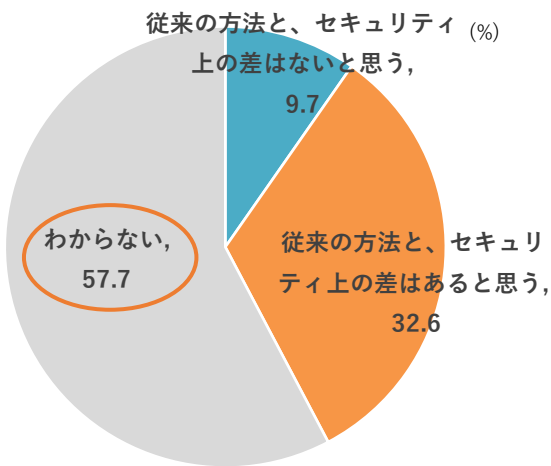


Q12. 従来の方法とサイドローディングのセキュリティ上の差異感

前項において公式ストアに対するユーザーからの信頼度の高さが表れる結果となりましたが、昨今、公式ストア以外からのアプリのインストール、いわゆるサイドローディングの是非についての議論が活発になってきています。もしこのような状態になったとき、従来に比べセキュリティ上の差があるかという質問に対し、57.7%のユーザーが「わからない」と回答しています。全属性において同様です。サードパーティによるストアがあったとしても、そこでどのような審査がなされるのか不明であるため、当然の結果と言えるかもしれません。セキュリティ上の差はないという回答は9.7%に留まっており、どのような差になるかわからないものの、従来との違いは出るであろうことを多くのユーザーが感じるようです。次項では「差はない」もしくは「差はある」という回答のそれぞれの理由をFA(Free Answer)形式でまとめています。

Q12. 今後スマートフォンのアプリ全般において、公式のアプリストアだけでなく、アプリプロバイダからの直接を含む複数のダウンロード手段が存在する状態となった場合、従来の方法と比較して、セキュリティ上の差があると思いますか。（SA）

■従来の方法とサイドローディングのセキュリティ上の差異感（全体）



(全体：N=5119)

▶ 属性別：セキュリティ上の差異感

N=			差はないと思う	差はあると思う	(%)
全体			5119	9.7	32.6
性別	男性計	2545	12.2	39.4	
	女性計	2574	7.3	25.8	
年代別	10代	343	14.9	33.5	
	20代	773	12.9	31.2	
	30代	868	10.8	29.8	
	40代	1098	9.2	35.2	
	50代	1089	7.1	33.2	
	60代	948	7.8	32.0	
子供有無	未婚者計	2208	10.8	32.5	
	既婚者・小中高生の 子供なし	2173	8.1	32.1	
	既婚者・小中高生の 子供あり	738	11.4	34.1	
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	10.0	33.4	
	Androidスマホのみ ユーザー	2617	9.2	31.3	
	iPhone・Android 重複ユーザー	76	18.4	51.3	

Q12-1. 従来の方法とサイドローディングのセキュリティ上の差異感を感じる理由

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「1. 従来の方法と、セキュリティ上の差はないと思う」の理由

■主な意見

セキュリティ面	・ 非公式でもセキュリティのしっかりしたものはあると思うし、逆に公式でもあやしいアプリはあるから。(女性30代/Androidユーザー) ・ 公式のアプリストアにも個人で作ったアプリが売られていたりするので、販売場所でセキュリティの差があるようには思わない(女性30代/Androidユーザー) ・ 必要最低限のアプリを公式のアプリストアからのみダウンロードしているので問題はないと思っています。アプリプロバイダもよく調べればセキュリティ上の差はないように思えます。(女性60代/iPhoneユーザー) ・ iPhoneなのでセキュリティがあると思っている(女性60代/iPhoneユーザー) ・ 公式アプリストアでもアプリプロバイダからも完全に100%セキュリティが安全という事は無く、どちらも99%位安全で大差は無いと思ったから。(男性20代/Androidユーザー) ・ 携帯に付帯しているセキュリティが高度だから。(男性20代/iPhoneユーザー) ・ どんなセキュリティにも完璧はないから(男性30代/iPhoneユーザー) ・ 企業公式のアプリであってもセキュリティホールがあればハッカーは簡単にウイルスを組み込めるとしているので。(男性30代/Androidユーザー) ・ アップルはセキュリティがしっかりしてる(男性40代/iPhoneユーザー) ・ セキュリティが向上すると感じます(男性40代/Androidユーザー) ・ 公式のアプリストアでも、アプリプロバイダでも、セキュリティレベルは同等だと思う。(男性50代/Androidユーザー) ・ ダウンロードすることに関してセキュリティ上の差は無いと思うから(男性60代/iPhoneユーザー) ・ アプリストアであれアプリプロバイダであれ、それなりにセキュリティ管理は一定の水準だろうと思うから。(男性60代/Androidユーザー)
公式ストア	・ 公式ストアにも要注意のアプリがあるので大差ない(女性50代/Androidユーザー) ・ 公式アプリストアの審査は形骸化していると思うから(男性20代/Androidユーザー) ・ 公式のアプリストアが本当に安全なアプリだけとは限らないから(男性20代/Androidユーザー)
プロバイダ	・ プロバイダもしっかりしていると思うので(女性40代/iPhoneユーザー) ・ 害意のあるアプリも同様に技術が上がるから。(男性30代/Androidユーザー) ・ アプリプロバイダも死活問題になるので必死に対策していると思う。(男性50代/Androidユーザー)
ダウンロード	・ アプリのダウンロードに不安は感じないから(女性30代/Androidユーザー) ・ 色々調べてから、ダウンロードするので。(女性40代/Androidユーザー) ・ 結局インストールするのであまり関係ないように思う(男性40代/Androidユーザー) ・ アプリ自身はどこからダウンロードしても情報取得は同じだから。(男性60代/重複ユーザー)
その他	・ 特に変わっていない。特別変わったと感じるとしたら例に上げたとしたら、パスワードの利用が必要になったりした時だと思う。(女性20代/Androidユーザー) ・ 安全であるプライバシーマークを取得していれば大差ないと考えたから(女性20代/Androidユーザー) ・ どこが安全かの基準が定まっていない気がするから(女性30代/Androidユーザー) ・ 被害にあったことがないから。(男性20代/iPhoneユーザー)

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「2. 従来の方法と、セキュリティ上の差はあると思う」の理由

■主な意見

公式ストアのセキュリティ	- 公式のアプリストア以外で、有害なサイトやセキュリティ上問題のあるアプリをうっかりインストールしてしまいそうだから(女性20代/iPhoneユーザー) - 公式のアプリストアのセキュリティチェックが入らないと不安だから。(女性30代/iPhoneユーザー) - 公式のアプリストアのセキュリティが完璧であるとは思わないが、それでも公式以外だとセキュリティの面では非常に不安があるので(女性40代/iPhoneユーザー) - ある程度のセキュリティ基準をクリアしたものでなければ公式のアプリストアに置けないと思うから。(女性40代/iPhoneユーザー) - 公式アプリストアは厳格な基準をもとにアプリを提供していると思うので、アプリプロバイダがどれだけセキュリティをきちんとしているか、いまいち不安。(女性50代/iPhoneユーザー) - 公式でないところはセキュリティ管理がザルな印象があるから。(男性20代/Androidユーザー) - セキュリティ精度が公式ストアと違うように感じる(男性50代/Androidユーザー)
プロバイダ	- 信頼できるアプリプロバイダか判断するのが難しい(女性50代/Androidユーザー) - 情報漏えいなどが起きた際に誰が一切の責任を負うのかという点。何の賠償責任にも問えない問題が出て来そうなので。(女性50代/Androidユーザー) - アプリプロバイダの規模や内容によってはセキュリティが低いものが混在すると思う(男性20代/Androidユーザー) - 無数のプロバイダが存在しているので、必ず悪意を持ったコンテンツが含まれていると思う。(男性30代/iPhoneユーザー) - アプリプロバイダが安全なサイトを運営しているか不明に感じるかもしれない。公式のストアでないとサポートを受けられなかったり、アップデートに支障がありそうな気がする(男性40代/iPhoneユーザー) - アプリプロバイダの信頼度をはかるのが難しく、悪質なサイトに引っかかる可能性がかなり高くなると予測されるから(男性50代/Androidユーザー) - アプリプロバイダに対する信用、信頼度は、公式のアプリストアに対し未だ信頼できるレベルに達してはいないと思うから(男性60代/Androidユーザー)

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「2. 従来の方法と、セキュリティ上の差はあると思う」の理由

■主な意見

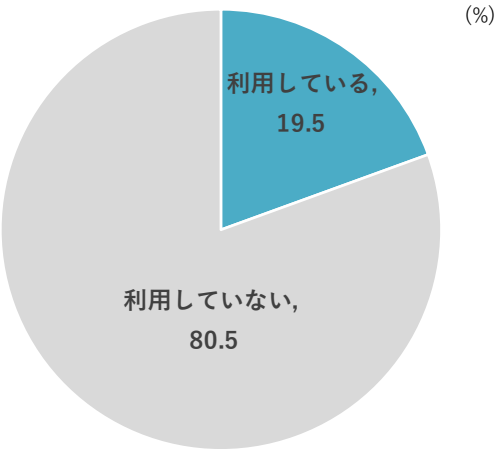
アプリ	• 不要なアプリまで一緒にダウンロードしてしまう恐れがあるから。(女性40代/iPhoneユーザー) • 特定のアプリ提供者のアプリが第三者を介して評価されていないから。(男性20代/Androidユーザー) • 悪意のあるアプリが出回りやすくなる気がする(男性30代/iPhoneユーザー) • アプリのチェック基準が違うと思うから(男性50代/iPhoneユーザー) • アプリストアに認証されているという安心感があると思ってるから(女性30代/iPhoneユーザー) • アプリストアを通すことによって一定の安全性が担保されることになるが、直接アプリ提供会社からダウンロードすることになるとその安全性を誰が担保するのかという問題が発生するから(男性40代/Androidユーザー) • アプリストア等第三者による検閲を行わない状態で公開されるアプリが存在することになるため。(男性50代/iPhoneユーザー) • 色々なダウンロード方法が増えると、ウイルスが入るこむ抜け道も増えると思うから(女性20代/iPhoneユーザー) • ダウンロード手段が多ければ多いほど管理も手薄になるし、また悪質な業者も増えると思うので。(女性50代/重複ユーザー) • DL過程でウイルスを含んだものが仕込まれている恐れ(男性40代/Androidユーザー)
その他	• いざとなればグーグルなりアップル・ストアへ申立ができる抑止力がはたらいっているものの、直接ダウンロードとなると一定数情報を抜くような企業があってもおかしくない。マルウェアの感染リスクが大きくなりそう。(女性40代/Androidユーザー) • 安全なのか危険なのか判別がつきにくいです。(女性40代/Androidユーザー) • 第三者のチェックが入らないので不安(女性50代/Androidユーザー) • 安心できる提供元でないと個人情報流出する恐れが高いと思うから。(女性60代/iPhoneユーザー) • 個人情報を悪用する可能性があってもそれに気づかない(男性15-19才/iPhoneユーザー) • 細かいことはわからないが危ないという感覚がある。(男性40代/Androidユーザー) • リスクの想定範囲が広くなり、悪意のある事象の特定が難しくなるのでは？と感じたから(男性40代/iPhoneユーザー)

Q13. リーダーアプリの利用有無

リーダーアプリ（Kindle、Spotify、Netflixなど）の利用率は「利用していない」が80.5%となりました。「利用している」ユーザーを年代別に見ると逆相関になっており、若い年代ほど利用率が高いようです。OS別でも大きな違いがあり、iPhoneユーザーの利用率が高いようです。Androidユーザーはガジェット好きが多いので、リーダー端末としては別途タブレットを使用する機会が多いのかもしれません。

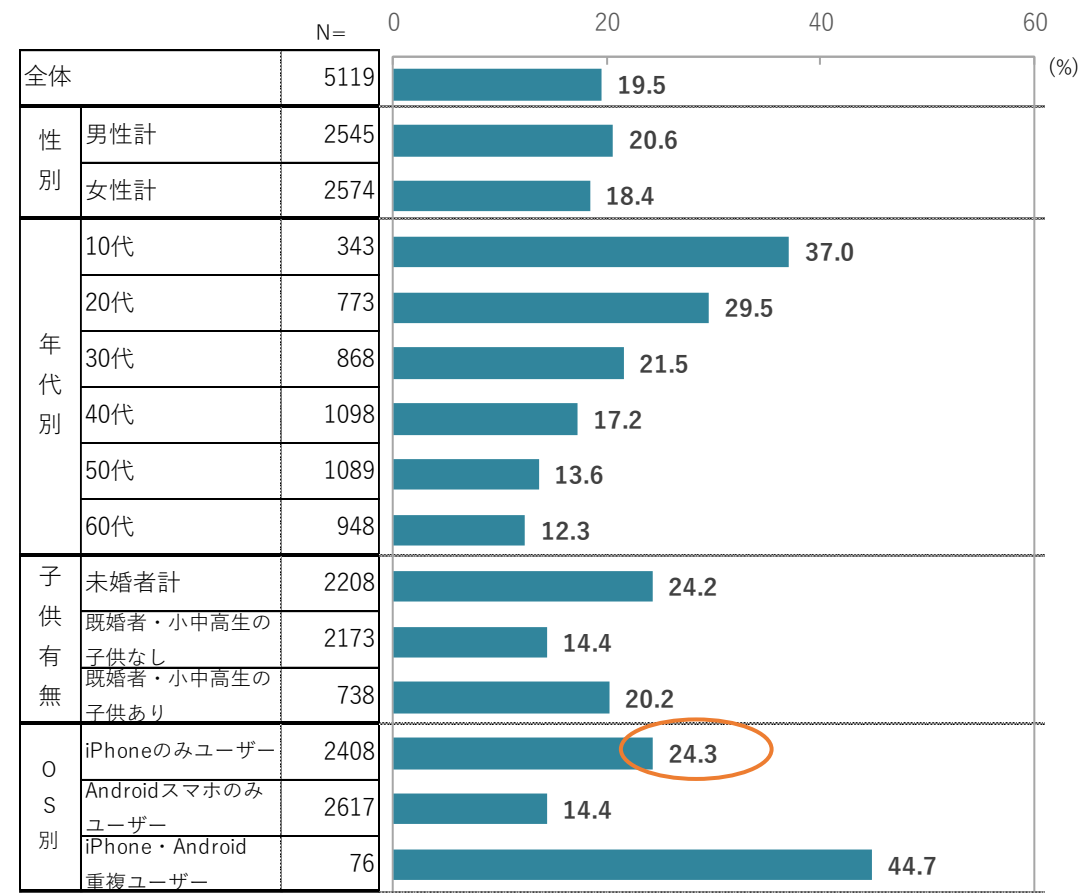
Q13. あなたは現在、デジタル版の雑誌/新聞/書籍/音楽/ビデオといったコンテンツを閲覧・視聴する、有料の「リーダーアプリ」（Kindle、Spotify、Netflixなど）を、スマートフォンにダウンロードして利用していますか。（SA）

■ リーダーアプリの利用有無（全体）



(全体：N=5119)

▶ 属性別：リーダーアプリ利用率

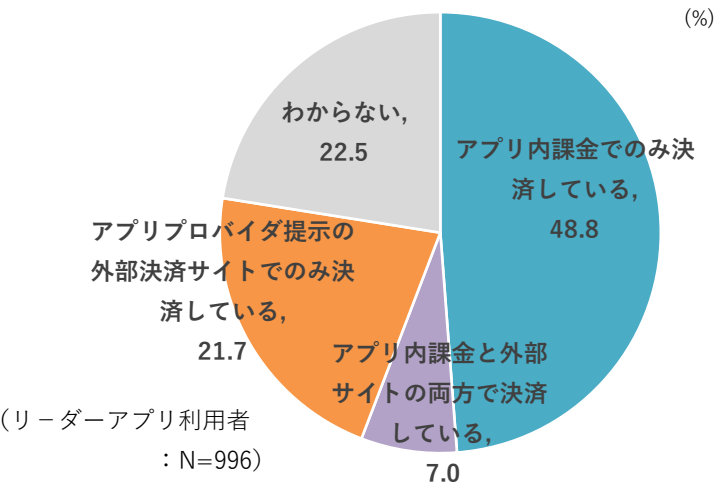


Q13-1. リーダーアプリの決済方法

決済方法は、「アプリ内課金でのみ決済している」が48.8%で約半数を占めており、公式ストアの決済システムによる支払いが一般的なようです。「アプリプロバイダ提示の外部決済サイトでのみ決済している」も21.7%と一定以上利用されています。アプリプロバイダからすると、公式ストアを介した決済はシステム手数料を上乗せした金額でコンテンツを提供せざるをえないため、機会損失のリスクがあります。そのため、ここでリーダーアプリの例として挙げられている Kindle、Spotify、Netflixでは、いずれも外部決済サイトを利用できる仕組みになっていますが、それでもアプリ内課金を利用するユーザーが多いようです。「わからない」という回答も22.5%ありますが、これはアプリ登録時に支払い設定をしたまま無意識に使っているケースや、もしくはファミリーメンバーとしてアカウントを使用しており場合など、自身で判断できないケースかと推測されます。

sq1. 利用している「リーダーアプリ」における、デジタルコンテンツの購読・購入などの際の決済方法をお知らせください。（SA）

■ リーダーアプリの決済方法（リーダーアプリ利用者）



▶ 属性別：リーダーアプリの決済方法

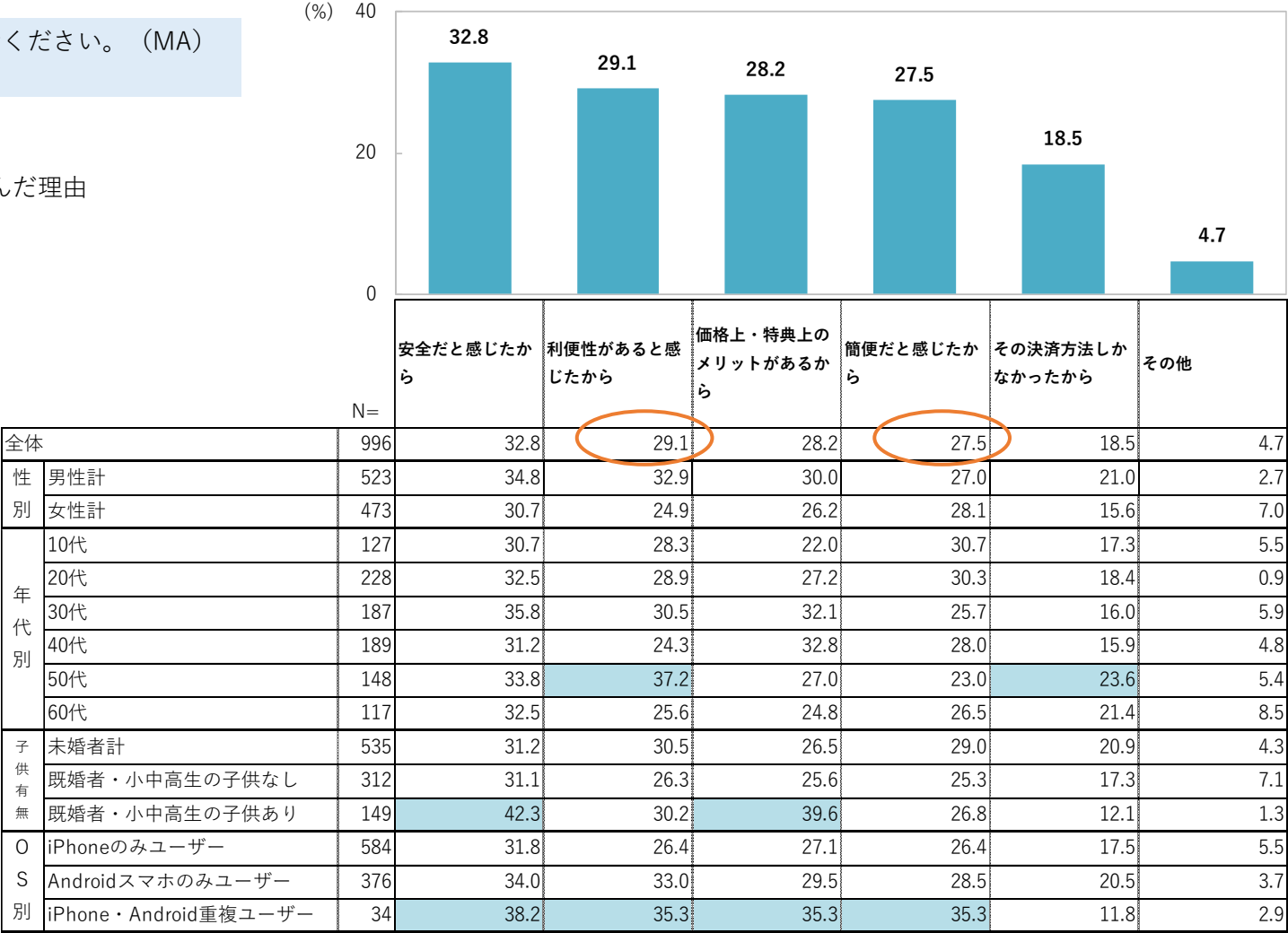
		N=	アプリ内のみ	両方	外部サイトのみ	わからない	(%)
リーダーアプリ利用者・全体		996	48.8	7.0	21.7	22.5	
性別	男性計	523	48.9	9.2	24.3	17.6	
	女性計	473	48.6	4.7	18.8	27.9	
年代別	10代	127	44.1	6.3	12.6	37.0	
	20代	228	50.4	7.0	18.9	23.7	
	30代	187	51.9	9.1	21.9	17.1	
	40代	189	53.4	4.2	24.9	17.5	
	50代	148	44.6	9.5	24.3	21.6	
	60代	117	43.6	6.0	28.2	22.2	
子供有無	未婚者計	535	48.6	9.0	17.9	24.5	
	既婚者・小中高生の子供なし	312	46.2	5.8	25.3	22.8	
	既婚者・小中高生の子供あり	149	55.0	2.7	27.5	14.8	
OS別	iPhoneのみユーザー	584	51.9	5.7	18.5	24.0	
	Androidスマホのみユーザー	376	44.4	9.0	25.5	21.0	
	iPhone・Android重複ユーザー	34	47.1	8.8	32.4	11.8	

Q13-2. リーダーアプリの決済方法を選んだ理由

決済方法を選んだ理由は、「安全だと感じたから」32.8%、「利便性があると感じたから」29.1%、「価格上・特典上のメリットがあるから」28.2%、「簡便だと感じたから」27.5%と回答がばらける結果になりました。ただ、「利便性があると感じたから」と「簡便だと感じたから」をユーザビリティとするなら、セキュリティや価格上のメリットよりも、ユーザビリティを重視するユーザーが多いと考えられます。前項では、外部決済サイトの価格上の優位性について述べましたが、それでもアプリ内課金を選ぶユーザーが多い結果となった理由に繋がるのではないのでしょうか。

sq2. その決済方法を選んだ理由をお知らせください。（MA）

■属性別：リーダーアプリの決済方法を選んだ理由



「アプリ内課金でのみ決済している」と回答した人は、「安全だと感じたから」「価格上・特典上のメリットがあるから」の項目で、全体平均より大きく上回っています。「わからない」と回答した人は、「その決済方法しかなかった」が全体平均より10ポイント以上高い結果となっています。そのことから、アプリ内課金、外部決済サイトというワードの意識が低く、キャリア課金やクレジット決済など、どこから引き落とされているかでしか意識していないと考えられます。

■属性別：リーダーアプリの決済方法とその決済方法を選んだ理由

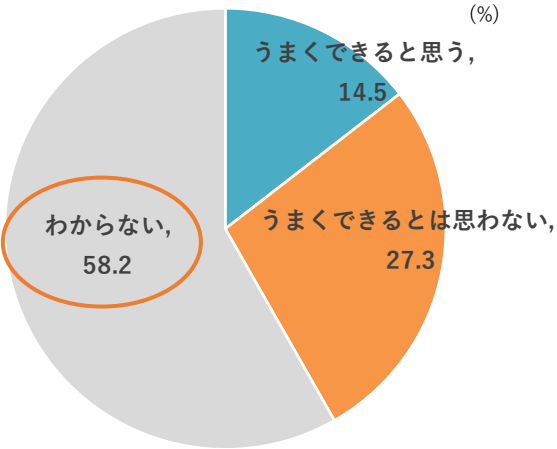
		該当数	価格上・特典上のメリットがあるから	安全だと感じたから	利便性があると感じたから	簡便だと感じたから	その決済方法しかなかった	その他 (%)
全 体		996	28.2	32.8	29.1	27.5	18.5	4.7
Q1	アプリ内課金でのみ決済している	486	36.2	42.2	32.7	30.2	13.8	1.4
13	アプリプロバイダ提示の外部決済サイトでのみ決済している	216	24.1	31.5	31.0	26.9	17.1	0.9
S	アプリ内課金と外部サイトの両方で決済している	70	35.7	28.6	45.7	31.4	18.6	0.0
Q	わからない	224	12.5	15.2	14.3	21.0	29.9	17.0

Q14. アプリ決済手段の複数化による利用体験の自己認識

アプリ決済手段の選択肢が増えた場合、「うまくできると思う」は14.5%、「うまくできるとは思わない」が27.3%となりました。一方、「わからない」という回答が58.2%と過半数になりました。選択肢が増えるといっても、それがどのような手段がわからない以上、当然の結果と思われます。「うまくできると思う」の回答は年代と逆相関になっており、年代が若いほど、選択肢が増えても自分にとって適切な決済方法を選択する自信があるように見えます。次項では「うまくできると思う」もしくは「うまくできるとは思わない」という回答のそれぞれの理由をFA(Free Answer)形式でまとめています。

Q14. 今後アプリ全般において、公式のアプリストア内のアプリ内課金だけでなく、アプリプロバイダ自身やアプリプロバイダが提示する外部決済サイトなど、複数の決済手段が存在する状態となった場合、あなたは自分自身で比較や確認を行い、よりよい手段の選択・購買体験ができると思えますか。 (SA)

■ アプリ決済手段の複数化による利用体験の自己認識 (全体)



(全体：N=5119)

▶ 属性別：利用体験の自己認識

			N=		うまくできる	うまくできない	(%)
					14.5	27.3	
性別	男性計	2545			19.1	26.1	
	女性計	2574			10.0	28.4	
年代別	10代	343			24.8	28.3	
	20代	773			18.4	26.8	
	30代	868			13.7	26.0	
	40代	1098			13.0	27.2	
	50代	1089			12.3	25.7	
	60代	948			12.7	30.2	
子供有無	未婚者計	2208			16.4	25.8	
	既婚者・小中高生の 子供なし	2173			12.7	28.3	
	既婚者・小中高生の 子供あり	738			14.0	28.3	
OS別	iPhoneのみユーザー	2408			15.9	27.6	
	Androidスマホのみ ユーザー	2617			13.1	27.0	
	iPhone・Android 重複ユーザー	76			23.7	22.4	

Q14-1. アプリ決済手段の複数化による利用体験の自己認識の理由

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「1. うまくできると思う」の理由

■主な意見

決済面	・ 事前に情報収集を行い、どの決済方法が最も自分に合うのかを確認するから(女性15-19才/Androidユーザー) ・ 決済方法がたくさんあった方が自分に合ったものを選んで良い(女性20代/Androidユーザー) ・ 「〇〇(アプリ名) 決済方法 比較」などで検索して、真っ当そうなブログや記事をインターネット上でいくつか閲覧して判断すれば、大丈夫だと思うから。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 利用した事がある決済手段か、国内サイトなど、調べて安全性が高そうな所を選ぶと思う(女性30代/iPhoneユーザー) ・ すでに店舗ごとに決済手段などを使い分けているから(男性15-19才/Androidユーザー) ・ 信用できるものしか使わないから、もしそのアプリ内に信用できる決済方法がなければ購入はしない(男性50代/Androidユーザー)
アプリ	・ 公式のアプリストア以外の場所からアプリをダウンロードする習慣がないから(女性20代/Androidユーザー) ・ ダウンロードする前にそのアプリについて調べるから(女性40代/Androidユーザー) ・ アプリストアの手数料が取られず、ありがたい(男性15-19才/iPhoneユーザー) ・ 様々なアプリを比較して自分のメリットが大きいものを選んでいいと思う(男性15-19才/iPhoneユーザー) ・ アプリと支払いサイト(支払い方法)が間違いなくリンクしているなら、一番効率の良いパターンを推奨してくれると感じ、それを活用することでうまくいくと思ったから(男性20代/Androidユーザー)
その他	・ そもそも課金をしていないから。(女性15-19才/Androidユーザー) ・ 多くの人が意見をSNS等に投稿しているため、情報収集してから自分で判断しているため(女性20代/Androidユーザー) ・ 常に厳選し・監視しているから(女性40代/iPhoneユーザー) ・ ネット通販と同じだと思うから(女性40代/Androidユーザー) ・ 今まで問題が起こったことがないから(女性60代/iPhoneユーザー) ・ ネットショッピングやリアルでの買い物でも同様に対応できているため。(男性20代/iPhoneユーザー) ・ 比較や確認を行うことなく利用することはないので、うまくやるしかないから。(男性20代/重複ユーザー) ・ ITリテラシーが高いから(男性30代/Androidユーザー) ・ パソコン時代から根本的には変わらないと思う(男性60代/Androidユーザー)

Q14-1. アプリ決済手段の複数化による利用体験の自己認識の理由



sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「2. うまくできるとは思わない」の理由

■主な意見

決済	・ アプリ内課金の方が購入履歴が分かりやすい(女性15-19才/iPhoneユーザー) ・ 何を何で払っているのか分からなくなりそうだから。(女性15-19才/iPhoneユーザー) ・ かなり複雑な仕組みになると感じるので、結局公式のアプリストアを使うと思うから。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 公式のものは課金の際、指紋認証など要求してくれるが、それ以外の場合知らない間に課金してしまうこともありそうだから。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 外部決済サイトの安全性は分からないので。(女性50代/Androidユーザー) ・ もともとアプリで課金のものは利用していないが、自分自身良し悪しが判断できるほどプロバイダ等の情報に詳しくないので。(女性50代/重複ユーザー) ・ 決済サイトがまとまらないと逆に防犯対策が甘くなり、狙われやすくなる(男性15-19才/Androidユーザー) ・ 偽のアプリで決済することで個人情報流出し、個人情報悪用される可能性が高いから。(男性20代/iPhoneユーザー) ・ 外部決済サイトに関して、余り詳しくないので上手く出来るとは思わない(男性60代/iPhoneユーザー)
知識	・ 自分自身の知識量が少なく判断能力にかけると不安になる(女性15-19才/iPhoneユーザー) ・ セキュリティの知識が無いので不安になる(女性30代/iPhoneユーザー) ・ あまりアプリやプロバイダに関して知識がない。またスマートフォンを使いこなしていないから(女性50代/iPhoneユーザー) ・ そのようなことについてのわかりやすい情報があるのかないのかわからないし、自分の知識もほとんどないから。(女性60代/Androidユーザー)
比較行為	・ しっかりした比較・検討にはとても労力がかかるので。(女性30代/Androidユーザー) ・ 比較確認するために、あちこちページを閲覧している内に、スマートフォンの誤動作になり強制終了や間違い注文につながりそうだから(女性50代/Androidユーザー) ・ 多分すべての手段に対する比較や確認、また管理ができないと思うから。基本的には一つの方法でまとめたと思っているので、うまくできないと思った。(男性20代/iPhoneユーザー) ・ 何回か使っているうちに慣れてしまい、自分でしっかりと比較や確認するのがおろそかになりそうだから。(男性30代/Androidユーザー) ・ いちいち比較確認していたら正直キリがなく面倒になって、つい周囲に合わせて簡単な手段を選んでしまいそう。(男性40代/Androidユーザー)
その他	・ 何を元に信頼できるか判断すればいいのかわからないから。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 指定されたら違和感を感じても従わざるを得ないから(女性20代/iPhoneユーザー) ・ いろいろなページを見て信頼できるかどうかを正しく判断できる自信がない。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 詐欺に遭うリスクが増大するから(女性30代/iPhoneユーザー) ・ どの情報源が適切で安全かがわからないから(女性30代/Androidユーザー) ・ 安全性を自分では判断できないから(女性40代/iPhoneユーザー) ・ 目に見えた被害が起きるまでは、気になりつつも行動まで起こさないと思うから。(女性40代/iPhoneユーザー) ・ 自分の能力が追い付けないような気がする。(女性60代/iPhoneユーザー) ・ 情報が多すぎて、理解できないことが増えそうだから(男性20代/Androidユーザー) ・ どれだけのリスクがあるか想像もつかないから。(男性40代/Androidユーザー) ・ 複雑になり、管理ができなくなるのでは？と感じるから(男性40代/iPhoneユーザー) ・ 基本ソフト以外にダウンロードインストールするのはできるだけ避けるようにしたいと思う。(男性60代/iPhoneユーザー)

02

「モバイル・エコシステムに関する
競争評価 中間報告」に対する意識

2022年4月26日、内閣官房デジタル市場競争本部から「モバイル・エコシステムに関する競争評価 中間報告」の公示と、それに対するパブリックコメントの公募がされました。

中間報告は全280ページに及んでおり、内容はファーストパーティによるモバイル・エコシステムへの影響力と懸念事項が中心となっています。

様々な方面から多くのパブリックコメントが寄せられたようですが、その多くは専門家からの声となっており、実際のエンドユーザーの声はなかなか届いていないように思えます。そこで以下では、報告書の中で述べられている項目のうち、スマートフォンユーザーに直接的に影響するであろう項目について、ユーザーからの回答をまとめてみました。

質問項目は大きく3つ「サイドローディングに対する意識」「課金・決済に対する意識」「政府のモニタリング・介入に対する意識」となっています。

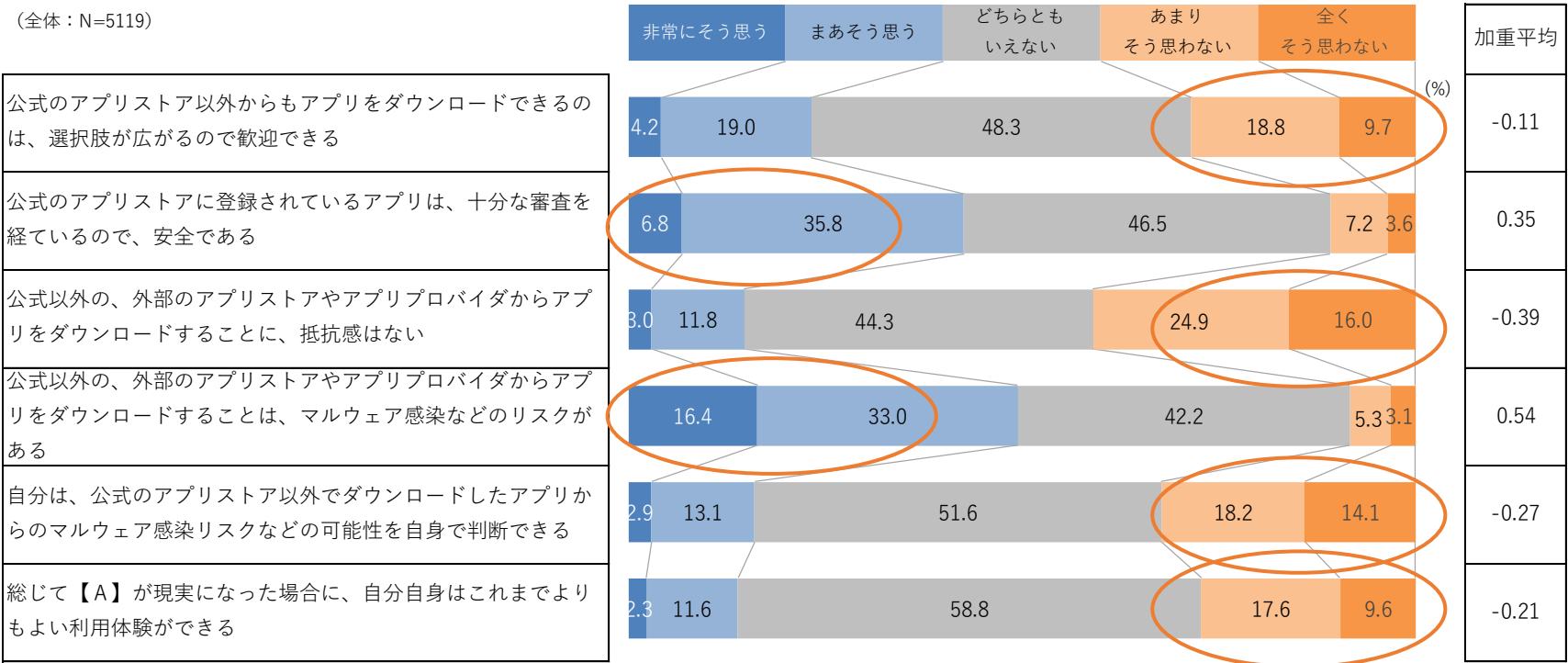


Q15. サイドローディングに対する意識 – 全体

公式のストアを介さずアプリをインストールすることをサイドローディングといいます。最近あまり見かけなくなりましたが、かつては開発者によって直接インターネット上にアップロードされたアプリをインストールすることもできました。セキュリティ上の懸念から最近ではこのような配布は見られなくなりましたが、あらためてスマートフォンユーザーの意識を見ていきましょう。サイドローディングを「歓迎できる」「抵抗感はない」「自身で判断できる」「よりよい利用体験ができる」という問いに対しては、「全くそうは思わない」「あまりそうは思わない」の回答が多く、公式アプリストアを介さないダウンロードに懸念や抵抗感を示すユーザーが相対的に多い結果となっています。一方、公式ストアは「安全である」、公式以外は「リスクがある」という点では、「非常にそう思う」「まあそう思う」の回答が多く、公式ストアへの安全に対する信頼や外部アプリストアからのダウンロードによるセキュリティ上のリスクを懸念する意見が多い結果となっています。次項ではそれぞれの項目を属性別に見ていきます。

【A】
この中では、スマートフォンのアプリをダウンロードするに当たり、公式のアプリストア（App StoreやGoogle Playストア）からだけではなく、公式のアプリストアを経由せずに、外部のアプリストアからのダウンロードや、Webサイト・アプリプロバイダからの直接のダウンロードを認めるべきかどうか、の議論が行われています。仮にこのような施策が実現された場合、皆様が目的のアプリをダウンロードするには、自分自身で複数のアプリストアあるいはアプリプロバイダから目的のアプリを選択し、ダウンロードを行うことができるようになるものと想定されます。他方で、公式以外の外部のアプリストアやアプリプロバイダからダウンロードを行うことで、十分な審査を経ていないアプリからのマルウェア感染などのリスクの可能性も指摘されています。そのため、アプリのダウンロードに対し、セキュリティ上のリスクを自分自身で判断し、管理・コントロールすることが求められます。

(全体：N=5119)



*加重平均は、TopBoxより「2」「1」「0」「-1」「-2」を適用し算出。以下同様。

Q15. サイドローディングに対する意識 – 属性別

「公式のアプリストア以外からもアプリをダウンロードできるのは、選択肢が広がるので歓迎できる」という項目についてです。年代別で見たときの違いが顕著ですが、10代、20代の若い層では肯定回答が顕著になっており、逆に50代、60代では否定回答が顕著になっています。また、「公式のアプリストアに登録されているアプリは、十分な審査を経ているので、安全である」という項目では、どの属性でも総じて肯定回答が多くなっています。公式ストアに対するユーザーの信頼度がわかる一方、若い世代ほどインストールの選択肢が増えることを歓迎していることがうかがえます。

公式のアプリストア以外からもアプリをダウンロードできるのは、選択肢が広がるので歓迎できる					公式のアプリストアに登録されているアプリは、十分な審査を経ているので、安全である				
		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均			Bottom2Box	加重平均
			(%)					(%)	
全体		5119	23.2	28.5	-0.11	42.7	10.9	0.35	
性別	男性計	2545	25.9	27.0	-0.06	42.4	11.3	0.35	
	女性計	2574	20.6	30.0	-0.16	43.0	10.4	0.35	
年代別	10代	343	35.3	23.3	0.13	53.9	9.9	0.59	
	20代	773	33.4	19.9	0.15	44.6	9.4	0.42	
	30代	868	25.7	22.6	0.02	40.7	10.6	0.33	
	40代	1098	21.6	27.5	-0.12	41.2	10.1	0.33	
	50代	1089	16.6	35.0	-0.28	40.9	12.2	0.29	
	60代	948	17.8	36.4	-0.31	42.7	11.9	0.32	
子供有無	未婚者計	2208	25.3	26.0	-0.03	42.4	10.2	0.37	
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	20.3	31.5	-0.20	42.8	11.2	0.34	
	既婚者・小中高生の子供あり	738	25.6	27.1	-0.06	43.0	11.8	0.33	
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	25.7	26.2	-0.04	46.0	8.9	0.43	
	Androidスマホのみユーザー	2617	20.8	30.4	-0.17	39.5	12.5	0.28	
	iPhone・Android重複ユーザー	76	31.6	32.9	-0.01	53.9	13.2	0.43	
スマホ歴	5年未満	1721	23.6	29.4	-0.11	41.5	12.3	0.33	
	5～10年未満	1965	23.6	27.9	-0.09	44.6	9.3	0.40	
	10年以上	1433	22.3	28.1	-0.13	41.5	11.2	0.32	

Q15. サイドローディングに対する意識 — 属性別

「公式以外の、外部のアプリストアやアプリプロバイダからアプリをダウンロードすることに、抵抗感はない」の項目では、全ての属性でそう思わないとする回答が多くなっています。また、「公式以外の、外部のアプリストアやアプリプロバイダからアプリをダウンロードすることは、マルウェア感染などのリスクがある」の項目では、全ての属性で約半数がそう思うと回答しています。公式による審査を経っていないアプリに対するセキュリティ上の懸念は多くのユーザーが持っていると言えるでしょう。

公式以外の、外部のアプリストアやアプリプロバイダからアプリをダウンロードすることに、抵抗感はない

公式以外の、外部のアプリストアやアプリプロバイダからアプリをダウンロードすることは、マルウェア感染などのリスクがある

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
			(%)	(%)		(%)	(%)	
全体		5119	14.7	40.9	-0.39	49.5	8.4	0.54
性別	男性計	2545	15.6	38.0	-0.33	48.3	9.1	0.53
	女性計	2574	13.9	43.9	-0.45	50.6	7.7	0.56
年代別	10代	343	23.0	39.7	-0.23	52.8	10.5	0.57
	20代	773	23.9	29.2	-0.09	44.2	8.4	0.47
	30代	868	17.6	33.6	-0.24	45.2	9.6	0.47
	40代	1098	13.2	39.9	-0.41	48.8	7.8	0.53
	50代	1089	9.2	46.9	-0.56	50.1	8.3	0.57
	60代	948	9.7	52.0	-0.62	56.4	7.2	0.65
子供有無	未婚者計	2208	17.1	37.8	-0.31	47.6	8.4	0.52
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	11.6	44.9	-0.50	51.5	7.6	0.58
	既婚者・小中高生の子供あり	738	16.9	38.6	-0.35	48.9	10.3	0.51
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	18.0	37.4	-0.31	48.3	8.1	0.54
	Androidスマホのみユーザー	2617	11.5	44.1	-0.47	50.4	8.3	0.55
	iPhone・Android重複ユーザー	76	21.1	43.4	-0.37	57.9	11.8	0.59
スマホ歴	5年未満	1721	14.6	41.8	-0.40	49.0	9.8	0.53
	5～10年未満	1965	15.8	41.0	-0.37	51.5	6.5	0.60
	10年以上	1433	13.3	39.9	-0.41	47.2	9.2	0.49

Q15. サイドローディングに対する意識 – 属性別

「自分は、公式のアプリストア以外でダウンロードしたアプリからのマルウェア感染リスクなどの可能性を自身で判断できる」の項目では、年代別による違いが顕著に出了。若い層では肯定回答が多くなっており、逆に50代、60代では否定回答が多くなっていますまた、「総じて【A】が現実になった場合に、自分自身はこれまでよりもよい利用体験ができる」の項目でも、10代のみがそう思うという回答が多くなっています。教育課程の中で情報リテラシーを学ぶ機会が多かったためか、若い世代は自身の判断でアプリを使用することに自信を持っていることが伺えます。次項ではそれぞれの回答についての理由をFA(Free Answer)形式でまとめています。

自分は、公式のアプリストア以外でダウンロードしたアプリからのマルウェア感染リスクなどの可能性を自身で判断できる

総じて【A】が現実になった場合に、自分自身はこれまでよりもよい利用体験ができる

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
全体		5119	16.1	32.3	-0.27
性別	男性計	2545	18.4	28.0	-0.17
	女性計	2574	13.8	36.6	-0.38
年代別	10代	343	28.6	24.8	0.01
	20代	773	24.1	22.4	-0.01
	30代	868	17.3	26.7	-0.15
	40代	1098	15.1	30.3	-0.27
	50代	1089	10.2	37.9	-0.44
	60代	948	11.8	44.1	-0.51
子供有無	未婚者計	2208	18.1	27.4	-0.16
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	12.9	37.7	-0.40
	既婚者・小中高生の子供あり	738	19.4	30.9	-0.23
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	18.9	29.5	-0.20
	Androidスマホのみユーザー	2617	13.2	34.8	-0.35
	iPhone・Android重複ユーザー	76	27.6	31.6	-0.11
スマホ歴	5年未満	1721	17.4	34.7	-0.29
	5～10年未満	1965	16.5	31.0	-0.25
	10年以上	1433	13.9	31.2	-0.28

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
全体		5119	13.9	27.2	-0.21
性別	男性計	2545	15.3	25.1	-0.16
	女性計	2574	12.6	29.3	-0.25
年代別	10代	343	26.8	25.1	0.02
	20代	773	21.9	21.1	-0.02
	30代	868	15.7	23.6	-0.12
	40代	1098	13.6	23.4	-0.16
	50代	1089	7.3	31.7	-0.35
	60代	948	9.2	35.7	-0.41
子供有無	未婚者計	2208	15.9	25.1	-0.14
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	11.0	30.9	-0.31
	既婚者・小中高生の子供あり	738	16.7	22.9	-0.11
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	17.2	24.9	-0.13
	Androidスマホのみユーザー	2617	10.7	29.2	-0.28
	iPhone・Android重複ユーザー	76	25.0	28.9	-0.08
スマホ歴	5年未満	1721	15.2	29.5	-0.22
	5～10年未満	1965	13.6	25.9	-0.19
	10年以上	1433	12.8	26.3	-0.21

Q15. サイドローディングに対する意識 – 総合評価の理由

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「1+2. 非常に＋まあそう思う」の理由

■ 主な意見

セキュリティ	- マルウェアの被害件数が増え、悪徳業者が公にさらされれば全体のセキュリティ意識が高まるから(男性15-19才/Androidユーザー) - セキュリティの知識さえ身につければ、安全且つ便利にアプリを利用できるから(男性30代/Androidユーザー) - セキュリティに対して自分で知識を高めることが必要になっていくと思うから(男性40代/iPhoneユーザー) - 選択する自由がふえるが、セキュリティが不安だ(男性40代/Androidユーザー) - セキュリティについては自分で背負うことに変わりないので、選択肢が広がるぶんだけの変化はありそうです。でも少し臆病になるかもしれません。(男性60代/Androidユーザー)
公式アプリストア	- Appleの審査は通らないようなアプリを楽しめるようになりそう(女性30代/iPhoneユーザー) - アプリストアに登録するための規定に沿ったアイコンや紹介文などの情報入力、管理などが面倒なので、一個人がストア以外で気軽にアプリを公開できるようになると、開発者側の自由度が高くなりそう(女性30代/iPhoneユーザー) - アプリの購入やサービス利用料の価格が下がりそうだから(女性60代/Androidユーザー) - アプリの安全性を自動でチェックしてくれるもの(男性50代/iPhoneユーザー) - 情報モラルのある人が使えば公式サイトよりも安くなったりするので企業のメリットを考えると公式だけでなく外部のサイトであってもいいと思う(男性15-19才/iPhoneユーザー) - 公式アプリストアを通さないことで、アプリのリリースが早まると思うため(男性30代/iPhoneユーザー) - 公式のアプリストアだけがプラットフォームなのは独占禁止法的などの問題により良い状態とは言えないと思う(男性30代/iPhoneユーザー) - 公式アプリに現れないようなアプリが登場しそうだから(男性40代/Androidユーザー) - アプリの審査にかかる時間や労力考えると直接ダウンロードするのも普通にありだと思ったから(男性20代/Androidユーザー) - 信頼できるサイト以外からのアプリのダウンロードは止めていたほうが無難である(男性60代/Androidユーザー)
リスク	- リスクを自分で管理できるようになったら良いなあと思います(女性40代/Androidユーザー) - リスクが軽減されて安全にダウンロード出来るならそれが一番いい。(男性30代/Androidユーザー) - 感染リスクがあるのは仕方がない、完璧な手段を用いるか、法規制を強くするしかない(男性60代/iPhoneユーザー)
その他	- 審査されているなら安心感がある。(女性40代/Androidユーザー) - 仮にマルウェアに感染した場合、対処方法を調べたり自分で勉強することになるから(女性40代/Androidユーザー) - 見極める知識があれば利用体験も増えて楽しいと思うが、そうでなければ、トラブルは怖い。(女性60代/Androidユーザー) - 安全性が確保できていなくても便利だから。(男性20代/iPhoneユーザー) - 基本的な注意をすれば大きなトラブルは回避できると考えている(男性60代/Androidユーザー)

Q15. サイドローディングに対する意識 – 総合評価の理由



sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「4+5. あまり + まったく そう思わない」の理由①

■ 主な意見

公式 アプリ ストア	・ 公式アプリストアのテストでかなり対策できていると思うため、そのテストを受けなくていい、パスしやすくなる状況になるのは不安。(女性15-19才/iPhoneユーザー) ・ 自分で判断するのは危険だと思うのでこれまで通り公式のアプリストアからダウンロードしたい。(女性20代/Androidユーザー) ・ 【A】が現実となれば、公式アプリストアを介さずにアプリを販売する業者が増え、そのような業者からアプリを購入するには自分で信憑性を調べなくてはならないので手間がかかる上に個々人のネットリテラシーがこれまで以上に試され、もし被害に遭っても自己責任になりそうだから。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 新しく違うサイトからダウンロードすることには抵抗感や不安を抱く恐れがあるので、今まで通りのやり方で行いたいと思うから。(女性30代/Androidユーザー) ・ 仮に自分の意志とは反して、仕事の関係者等が非公式のアプリの導入を指定してきて、公式ではないアプリをダウンロードしなければ自らの仕事に支障が出るような状況に陥った際には、アプリの使用のみならず、そのアプリがインストールされたスマホ自体を触る事すら危険と感じてしまうので。(女性50代/Androidユーザー) ・ 今までよりも選択肢が増えることは喜ばしいが、公式以外のアプリのプロバイダは、やはり完全に安全とは言い切れないし、この先どの様な状況になるか分からないので、不安しかない。(女性50代/iPhoneユーザー) ・ 外部のアプリストアやプロバイダからアプリをダウンロードするメリットがよくわからない。(女性50代/Androidユーザー) ・ 公式アプリストア以外のプロバイダが無数無限に存在してしまうと、何を信じていいのかわからない。危険が増すように思える。(女性60代/Androidユーザー) ・ 公式のアプリストアを介さないと危険度が高まるだけである。確かに自由度は高まるかもしれないが、それは微増であり、危険度と天秤をかけた際に、公式のアプリストアを使用した方が良いのは明白である。(男性15-19才/iPhoneユーザー) ・ ウイルス感染可能性が高まるし、自分は今の公式アプリからのダウンロードで事足りているので複雑化するだけだから。(男性15-19才/Androidユーザー) ・ 公式でない場所でアプリダウンロードするのは危険という既成観念があるから。(男性30代/Androidユーザー) ・ 現在の公式アプリストアで満足できる機能を有するアプリは手に入れられていると思うので。感染リスクをおかしてまで手を広げないと思います。(男性30代/Androidユーザー) ・ 公式アプリストアはセキュリティなどにおいて信頼感があるので、公式以外でDLするのは怖いし信頼感がおけないから。その方面に精通していないとより良い体験は出来ないと思うから。(男性30代/重複ユーザー) ・ セキュリティを考えると公式アプリ以外は使いたくない(男性40代/iPhoneユーザー) ・ 結局、公式以外からはダウンロードしないという結論に達してしまうから。非公式からインストールする場合、脅威の存在するアプリかそうでないかは、結局ウイルスチェックをするしかなく、そのためには対策ソフトをインストールすることとなる。動作が現状よりも重くなるので利用体験としては悪くなると思う。(男性40代/iPhoneユーザー) ・ 理由の前に、なぜ政府が、公式なアプリストア以外も活用するようにするのかその考え方が分からない。公式のアプリストアを十二分に充実させて選択肢を広げればよいのではないか。(男性60代/Androidユーザー) ・ 公式アプリストア経由のダウンロードが、外部サイト経由よりメリットが有るのかを比較検討するべきだと思います。但し、外部サイト経由のダウンロードによる感染リスクが増大すると思います。(男性60代/Androidユーザー) ・ アプリの公開が個人でも行いやすくなるのは良いが、粗製濫造や悪意のあるプログラムの流通が活発になり、総合的には良くない結果をもたらすから(男性20代/Androidユーザー) ・ 通常であれば、Google PlayまたはAppleストアから入手するものである印象が強い。これはアプリの裏入手になるのではないかと思い、最悪犯罪になりうるケースもあると思ったから(男性20代/Androidユーザー) ・ そこまで知識もないのでダウンロードしたいアプリが安全かどうかを自分で判断するのが難しい(男性40代/iPhoneユーザー) ・ やはり専門家による事前チェックがないアプリは不安が付きまとう(男性60代/iPhoneユーザー)
------------------	--

Q15. サイドローディングに対する意識 – 総合評価の理由

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「4+5. あまり + まったく そう思わない」の理由②

■主な意見

セキュリティ	- セキュリティについて、ほとんどわかっていない状況で、公式から離れたところは不安。(女性50代/Androidユーザー) - セキュリティ上の判断を自分の責任においてすることに自信がないから(女性50代/Androidユーザー) - こうした新たなサービスの過渡期に関しては十分なセキュリティの確保が難しいと感じている(男性30代/iPhoneユーザー) - アンドロイドだとGoogleの寡占が幾分とも緩和され市場の風通しがよくなるメリットは感じるが、正規ソフトと野良ソフトの境目が曖昧になり、セキュリティ上の問題がかなり増加するのではというデメリットの方が大きい気がしたから(男性50代/Androidユーザー)
リスク	- 結局は自分に責任があるのはわかるが、改めて「リスクを管理するように」と書かれると、怪しいのかな、と思ってしまう。(女性50代/Androidユーザー) - リスク込みの選択肢の広がりより安全性を重視します。(女性50代/Androidユーザー) - セキュリティ上のリスクを自分自身で判断出来ないから(女性60代/Androidユーザー) - マルウェアなどの感染リスク回避を個人の責任で行うことにはやや抵抗があるから。(女性60代/iPhoneユーザー) - マルウェア感染リスクがある限り気持ちよく利用できないと思うから。(男性20代/iPhoneユーザー) - リスクがベネフィットを上回ると感じるから。(男性30代/iPhoneユーザー) - GAFAの市場寡占状態を変えようとする施策であると思うが、大手企業ではないところからアプリを入手することはデメリットの方が多いと思う。ネットを詳しく知らない一般ユーザーが自身でネットの様々なインシデントに対処することはかなり厳しいと思うし、よりネット上での危険にさらされやすくなるリスクがあると思う。(男性30代/Androidユーザー)
その他	- 小学生でもスマートフォンを使っているご時世、子供に正しい判断ができるとおもえないからトラブルが増えると予測(女性15-19才/Androidユーザー) - マルウェアに感染してしまって痛い目を見る未来しか想像できない。(女性20代/Androidユーザー) - 自分ではそういった知識がないので、とりあえず今まで問題がなかった方法を使いたい。(女性50代/iPhoneユーザー) - 政府がこの問題についての専門機関の設置を検討するのであれば、政府主導のアプリストアを設置するのがいいと思う(男性15-19才/Androidユーザー) - 公式の目を介さずに配信されているので、安全性の保証がどこにもないと思った。(男性20代/iPhoneユーザー) - 第3者の存在なくして正当性、公平性、安全性は担保できない。(男性40代/Androidユーザー) - 無法地帯が生まれるであろうことを規制緩和とよぶのはいかながなものか？(男性50代/iPhoneユーザー) 【A】が現実になった場合、気づかずマルウェア等をばらまいてしまうため、コロナウイルスのように蔓延してしまうと思うから。(男性50代/Androidユーザー)

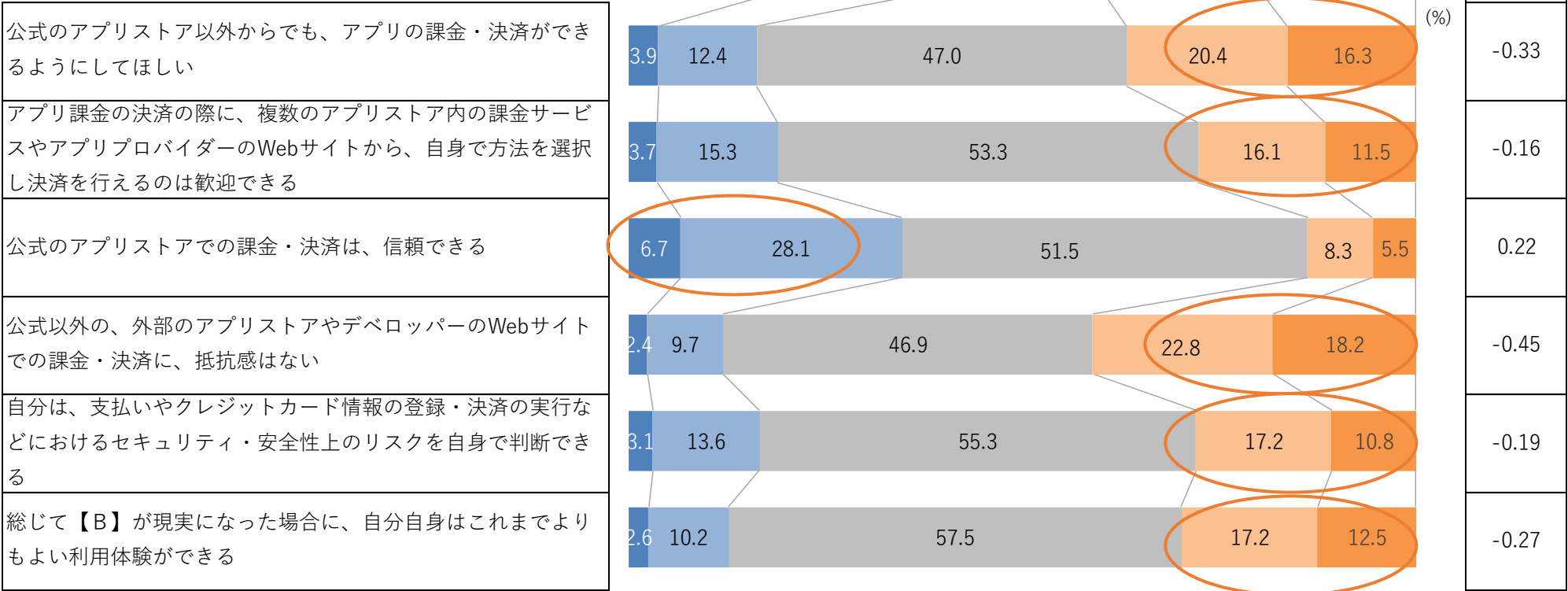
Q16. 課金・決済に対する意識 – 全体



中間報告の中では、アプリの課金・決済を公式ストアのみに限定した場合、開発者には会費や手数料の負担が発生すること、ユーザーからするとそれらが上乗せされたアプリの料金になってしまうことから、新たな決済方法の必要性が提起されています。ここではこのような代替の決済システムに対するユーザーの意識を見ていきます。まず代替の決済システムを肯定的に捉えるかの4つの問いについては全て「そう思わない」とする回答が多くなっており、唯一、現行の公式ストアは信頼できるかの問いのみ「そう思う」とする回答が多い結果となりました。次項ではそれぞれの項目を属性別に見ていきます。

【B】
この中では、アプリの決済・課金システムについて、現行の公式のアプリストア（App Store、Google Playストア）からだけではなく、外部のアプリストアやデベロッパのWebサイトなど、他の決済・課金システムを利用できるようにするべきかどうか、の議論も行われています。
仮にこのような施策が実現された場合、アプリ課金の決済の際に、複数のアプリストア内の課金サービスあるいはアプリプロバイダのWebサイトから、自分自身で方法を選択し決済を行うことが想定されます。他方で、支払いやクレジットカード情報の登録・決済の実行などにおけるセキュリティ・安全性上のリスクを自分自身で判断し、管理・コントロールすることが求められます。

(全体：N=5119)



Q16. 課金・決済に対する意識 – 属性別

「公式のアプリストア以外からでも、アプリの課金・決済ができるようにしてほしい」の項目では、年代別で特徴が出ており、唯一、20代がそう思うという回答が多くなっています。若い世代ほど望んでいるのであれば、10代でも肯定的な回答が多くなっても不思議ではないですが、そうはなっていません。続いて「アプリ課金の決済の際に、複数のアプリストア内の課金サービスやアプリプロバイダーのWebサイトから、自身で方法を選択し決済を行えるのは歓迎できる」の項目では、若い世代ほど肯定的な回答が多くなっています。そもそも10代においては複数の決済手段を持っていないため、新たな課金・決済方法を積極的に望むわけではないが、あったとしても適切に利用できるという自信の表れかもしれません。また、いずれの項目でも、50代、60代においては、望んでいないという回答が多くなっています。

公式のアプリストア以外からでも、アプリの課金・決済ができるようにしてほしい

アプリ課金の決済の際に、複数のアプリストア内の課金サービスやアプリプロバイダーのWebサイトから、自身で方法を選択し決済を行えるのは歓迎できる

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
					(%)			(%)
全体		5119	16.3	36.7	-0.33	19.0	27.7	-0.16
性別	男性計	2545	18.3	32.1	-0.23	21.3	24.8	-0.10
	女性計	2574	14.3	41.1	-0.42	16.7	30.6	-0.23
年代別	10代	343	24.5	32.1	-0.13	32.9	19.8	0.13
	20代	773	29.0	24.3	0.03	30.0	18.8	0.11
	30代	868	20.4	29.1	-0.14	23.0	20.3	0.00
	40代	1098	13.9	35.2	-0.34	17.4	26.2	-0.17
	50代	1089	9.5	43.5	-0.54	11.1	34.3	-0.36
	60代	948	9.9	49.1	-0.61	12.3	38.7	-0.42
子供有無	未婚者計	2208	20.0	31.3	-0.19	23.2	22.2	-0.03
	既婚者・小中高生の 子供なし	2173	12.1	42.3	-0.48	14.9	32.9	-0.30
	既婚者・小中高生の 子供あり	738	17.6	36.0	-0.30	18.8	28.7	-0.19
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	18.6	33.0	-0.24	22.2	24.6	-0.07
	Androidスマホのみ ユーザー	2617	14.1	40.3	-0.42	15.9	30.7	-0.25
	iPhone・Android 重複ユーザー	76	26.3	30.3	-0.03	27.6	22.4	0.05
スマホ 歴	5年未満	1721	17.5	37.9	-0.34	20.4	28.9	-0.16
	5～10年未満	1965	16.3	37.3	-0.33	19.0	27.5	-0.16
	10年以上	1433	14.9	34.3	-0.32	17.4	26.4	-0.18

Q16. 課金・決済に対する意識 – 属性別

「公式のアプリストアでの課金・決済は、信頼できる」の項目では、全属性において肯定的な回答が多くなっています。また、「公式以外の、外部のアプリストアやデベロッパーのWebサイトでの課金・決済に、抵抗感はない」の項目でも、属性による顕著な違いは確認できず、そう思わないとする回答が多くなっています。ユーザーの公式ストアに対する信頼の高さはその通りなのだと思いますが、高齢層ほど公式ストア以外に対する抵抗感が多いようです。

公式のアプリストアでの課金・決済は、信頼できる

公式以外の、外部のアプリストアやデベロッパーのWebサイトでの課金・決済に、抵抗感はない

N=			Top2Box	Bottom2Box	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
全体		5119	34.7	13.8	0.22	12.1	41.0	-0.45
性別	男性計	2545	36.1	12.6	0.26	14.0	36.4	-0.35
	女性計	2574	33.4	15.0	0.19	10.2	45.6	-0.54
年代別	10代	343	49.6	9.0	0.53	17.8	37.6	-0.30
	20代	773	38.8	10.9	0.35	22.4	26.4	-0.08
	30代	868	34.7	11.9	0.28	16.4	31.9	-0.26
	40代	1098	35.0	12.2	0.23	11.1	40.0	-0.44
	50代	1089	31.5	16.0	0.12	5.9	49.4	-0.66
	60代	948	29.5	19.0	0.05	6.1	54.1	-0.74
子供有無	未婚者計	2208	38.0	11.2	0.32	14.5	36.1	-0.33
	既婚者・小中高生の 子供なし	2173	31.1	16.1	0.12	8.9	46.3	-0.59
	既婚者・小中高生の 子供あり	738	35.6	14.9	0.22	14.4	40.1	-0.40
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	36.8	12.0	0.28	15.0	36.8	-0.35
	Androidスマホのみ ユーザー	2617	32.3	15.6	0.15	9.1	45.1	-0.54
	iPhone・Android 重複ユーザー	76	57.9	6.6	0.58	23.7	40.8	-0.29
スマホ歴	5年未満	1721	32.6	15.5	0.18	12.1	43.2	-0.48
	5～10年未満	1965	36.6	13.4	0.25	13.0	40.7	-0.43
	10年以上	1433	34.7	12.3	0.23	10.8	38.9	-0.44

Q16. 課金・決済に対する意識 ー 属性別



「自分は、支払やクレジットカード情報の登録・決済の実行などにおけるセキュリティ・安全性上のリスクを自身で判断できる」の項目では、全属性で「そう思わない」の回答が多くなっています。「総じて【B】が現実になった場合に、自分自身はこれまでよりもよい利用体験ができる」の項目においても同様です。年代別で見ると、高齢層ほど新たな課金・決済システムへの不安が大きくなっていることがわかります。新たなシステムが登場すれば、ユーザーはそのシステムの利用方法を覚えなければなりません。既存のシステムへの信頼が高いほど、そのための学習は負担に感じるのかもしれませんが。次項ではそれぞれの回答についての理由をFA(Free Answer)形式でまとめています。

自分は、支払いやクレジットカード情報の登録・決済の実行などにおけるセキュリティ・安全性上のリスクを自身で判断できる

総じて【B】が現実になった場合に、自分自身はこれまでよりもよい利用体験ができる

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
					(%)			(%)
全体		5119	16.7	28.0	-0.19	12.8	29.8	-0.27
性別	男性計	2545	19.2	23.1	-0.09	14.3	26.4	-0.20
	女性計	2574	14.2	32.8	-0.29	11.3	33.1	-0.34
年代別	10代	343	25.7	22.7	0.03	25.4	21.3	0.01
	20代	773	26.5	18.5	0.07	24.5	18.1	0.05
	30代	868	18.9	23.4	-0.09	15.4	25.2	-0.16
	40代	1098	14.6	27.9	-0.22	10.5	27.1	-0.27
	50代	1089	11.2	32.0	-0.32	5.9	36.8	-0.45
	60代	948	12.2	37.2	-0.39	6.8	41.5	-0.53
子供有無	未婚者計	2208	19.4	23.4	-0.08	16.1	25.1	-0.15
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	13.7	31.9	-0.29	8.9	35.2	-0.40
	既婚者・小中高生の子供あり	738	17.5	30.1	-0.21	14.1	27.9	-0.23
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	18.5	25.2	-0.12	15.4	26.4	-0.18
	Androidスマホのみユーザー	2617	14.7	30.5	-0.26	10.2	32.9	-0.36
	iPhone・Android重複ユーザー	76	31.6	26.3	0.01	19.7	27.6	-0.16
スマホ歴	5年未満	1721	16.4	32.0	-0.24	14.1	32.8	-0.30
	5～10年未満	1965	18.0	26.1	-0.15	12.5	29.4	-0.26
	10年以上	1433	15.3	25.8	-0.18	11.5	26.7	-0.24

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「1+2. 非常に＋まあそう思う」の理由

■主な意見

決済方法	・ よりお得な支払い方法が選べるかもしれないので(女性20代/iPhoneユーザー) ・ ・公式アプリストアを通したアプリ内課金は、自分の場合iPhoneの機能制限の6桁パスワードを忘れてしまい、課金が出来なくなってしまっているの、公式アプリストアを通さず決済できる手段があれば利用出来るサービスも増え、かなり助かる。・普段からインターネットショッピングやチケット予約サービスなどでオンライン決済を利用しているので、公式アプリストアを通さない決済には特に抵抗が無いから。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 自分が信頼しているカード会社などから支払えたらそれは便利だと感じるの、(女性50代/Androidユーザー) ・ 決済手段について、消費者の側に選択肢がのかされるのであれば、単純に選択肢が増えていいと思う(男性15-19才/Androidユーザー) ・ 決済先の企業の規模で判断することになる。信用できる企業であれば、安全性もある程度担保出来るが、小さな企業であれば、公式からと使い分ける(男性20代/Androidユーザー) ・ 決済手段が増えればより効率的に決済が出来るようになると思う。(男性20代/Androidユーザー) ・ 公式アプリストアの決済を利用しないことでコストが抑えられ、価格が下がると考えるため(男性30代/iPhoneユーザー)
セキュリティ	・ 決算方法の選択肢が増えることは良いことだから、それによりセキュリティの安全性が確保できるのか不安だから(女性30代/iPhoneユーザー) ・ 手数料の低下が期待できるものの、セキュリティの確認等、注意はより必要となる。(男性60代/Androidユーザー)
その他	・ キャッシュレスが流行しておりいろんな支払い方法がある中で選択できることは自分に合った支払いができて消費者も得した気分になると思うから(女性20代/iPhoneユーザー) ・ アプリの購入やサービス利用料が下がることが期待できるから。(女性60代/Androidユーザー) ・ 新たな仕組みが生まれれば、良い面、悪い面がはっきりと見えるから(男性15-19才/Androidユーザー) ・ もしも何かあった時にどこに問い合わせるかだけ、はっきりしてれば良い(男性30代/iPhoneユーザー) ・ 公式アプリストアの搾取などの問題をたまに見かけるので(男性30代/iPhoneユーザー)

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「4+5. あまり＋まったくそう思わない」の理由①

■主な意見

決済方法	・ 公式のアプリ内課金は信頼出来るが、外部を通すとなると返金や何か問題が起こった時の対応が信用出来ない(女性15-19才/iPhoneユーザー) ・ 小学生とかもスマートフォンを使っている時代だから理解できずにドンドン課金する子供が出てトラブルがやまずみになるだけだと思う(女性15-19才/Androidユーザー) ・ 公式のアプリストアで課金・決済ができるのであれば他の手段がなくとも十分である。(女性20代/iPhoneユーザー) ・ 公式の決済方法でも十分に選択肢があるし、カード情報が盗まれるのだけは避けたいから(女性20代/Androidユーザー) ・ 安全かどうかの見極めは非常に難しいので、多少不便だとしても、これまで通り、公式のアプリストアを使った決済しか使わないと思う(女性40代/iPhoneユーザー) ・ 自己責任で決済の安全性を判断しなければならないのでは購入、消費行為をすること自体がイヤになりそう(女性50代/iPhoneユーザー) ・ 課金や決済のようにお金に関しての管理はどこにでも任されない。信用できるところからしか利用したくない(女性60代/iPhoneユーザー) ・ 決済時のトラブルに対してちゃんと対応してくれるか分からないし、詐欺のようなことも増えると思う。(男性20代/iPhoneユーザー) ・ わざわざ課金方法をこれ以上複雑にする必要は無い。(男性20代/Androidユーザー) ・ ストアが複数個所になるので価格競争になりそうだが、課金後のサポートに不安がありそうだから。(男性40代/Androidユーザー) ・ インターネット上にはありとあらゆる危険が存在しており、クレジットカードの情報流出ともニュースで散見される、そのような状況の中で一定の安全性が担保されるとは限らない サードパーティ製の決済手段はリスクがあると考えられる。従って、第三者機関等安全性を担保する時間があれば外部のシステムを使うことは検討に値するが、そうでなければ使うことはできないから(男性40代/Androidユーザー) ・ 決済のセキュリティを崩そうとする人たちが一定数必ずいると思うので、不安の方がおおい。(男性40代/Androidユーザー) ・ 利用範囲が広い人には便利かつ利用範囲を広げることが理想的でしょうが、アプリを使いこなせない人や、利用範囲の狭い人には混乱を招くだけだと思います。(男性50代/Androidユーザー) ・ 各社競い合うことでより複雑・煩雑な料金体系が設定される可能性がある。そうすると少数の人間だけが得をしその他の多数派はその面倒さゆえに適当に決済手段を選択することとなる。さらにその中から一定数詐欺などの金銭的被害に遭う者も出てくる可能性が否定できないから。(男性50代/Androidユーザー) ・ 決済サービスで不正があった場合の賠償責任の所在が確実に担保できるのか？(男性50代/iPhoneユーザー) ・ 課金決済については、アプリダウンロードよりシビアな事であり、セキュリティなど安全性を自分では担保できない。(男性60代/Androidユーザー)
------	--

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「4+5. あまり＋まったくそう思わない」の理由②

■主な意見

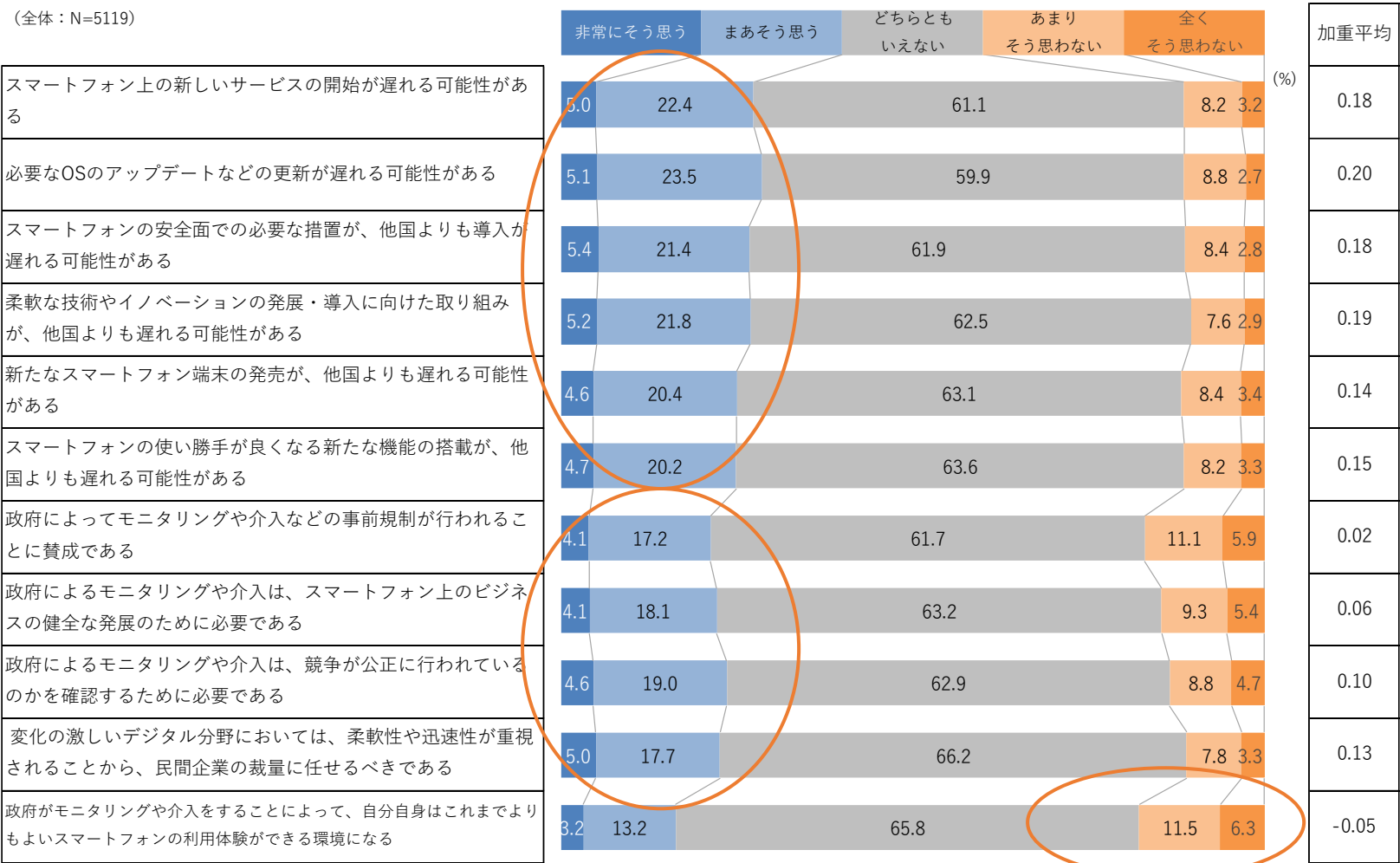
公式 アプリ ストア	- 公式以外の支払い方法を増やすよりは安全性のために公式の支払い方法を増やせばよいと思う。(女性20代/Androidユーザー) - 公式以外のアプリにクレジットカード情報は登録したくないし、詐欺等のリスクも高そう(女性30代/Androidユーザー) - 公式ストアでない場合、自分で危険性を判断するには情報が乏しく、またそれらをチェックできるようなサイトが仮に出来たとしても、そこに掲載された情報自体がフェイクの可能性も大きく、何も信じられるものは無くなると思うので。(女性50代/Androidユーザー) - クレジットカード抜き取り放題の状態になりそうな気がするので公式のアプリストア以外にさせてはいけないと思う。(男性30代/Androidユーザー)
リスク	- 仕組みが複雑になると解りにくくリスクが増すと思うから(女性20代/iPhoneユーザー) - リスクを負って新しいものに取り組んで行く必要性を感じないから(女性30代/iPhoneユーザー) - お金に直結する部分のリスクを自分一人で負わなければならないのが不安だから。(女性40代/iPhoneユーザー) - セキュリティリスクの判断を各自で行って管理コントロール、とあるが実際にそんなことが出来る人はごくわずかだと思うので、それが良いとは到底思えない。(男性40代/Androidユーザー)
その他	- 安全かどうかこちらに任せるのは提供元として無責任だと思ったから。(女性15-19才/iPhoneユーザー) - セキュリティや安全性が気がかりなので気持ちよく利用できないと思うから。(男性20代/iPhoneユーザー) - お金に関しては、よくわからないところに任せる気は一切ない。ウイルスに感染して取り返しのつかないことになる可能性は出来るだけ避けたい。(男性20代/Androidユーザー) - そういうのはパソコンで行えばいい。スマートフォンはもっとシンプルで良いと思う。(男性40代/重複ユーザー) - クレジットカードなどを入力したくないので、利用範囲が狭まれる(男性50代/Androidユーザー) - 専門的な知識が無く、クレジットカード情報の様な個人情報に本当に安全に保持してもらえるのか分からないから。(男性50代/Androidユーザー) - 何を持ってプロバイダの信用度を判断できるので疑問がある。利便性の向上も必要だが信頼性はもっと重要(男性60代/iPhoneユーザー)

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識

ー全体

中間報告の中では、仕様の策定や変更におけるプラットフォーム提供者としてのファーストパーティの優位性が反競争的であるという考えから、政府もしくはそれに準じた第三者による介入やモニタリングの必要性が提起されています。ここでは実際にそのような仕組みが導入された場合に考えられる項目についてユーザーの意識を見ていきます。まず、考えられる懸念事項についての問いでは全て「そう思う」とする回答が多くなっています。また、賛成もしくは必要と思うかという問いでも「そう思う」とする回答が多くなっています。よりよい利用体験ができるかという問いのみ「そう思わない」という回答が僅かながらに多くなりました。次項ではそれぞれの項目を属性別に見ていきます。

【C】
この中では同時に、デジタル市場における競争やイノベーションを促進するために、AppleやGoogleなどプラットフォーム事業者からのスマートフォン上のルールや仕様の設定・変更などに対する情報の開示、手続きの公平性を確保することや、競争が公正に行われているのかを確認するために、政府がモニタリングやレビュー、さらには必要な介入を行うようなことも議論されています。



Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識 ー 属性別

「スマートフォン上の新しいサービスの開始が遅れる可能性がある」の項目では全属性において「そう思う」という回答が多くなりました。また、「必要なOSのアップデートなどの更新が遅れる可能性がある」の項目でも同様です。それまでなかった第三者による監査プロセスが増えるのであれば、アジリティに問題が出るのではないかという懸念が多くのユーザーが感じるようです。

			スマートフォン上の新しいサービスの開始が遅れる可能性がある			必要なOSのアップデートなどの更新が遅れる可能性がある		
N=			Top2Box	Bottom2Box	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
全体		5119	27.4	11.4 (%)	0.18	28.6	11.5 (%)	0.20
性別	男性計	2545	29.9	11.9	0.21	31.2	13.2	0.21
	女性計	2574	25.0	11.0	0.15	26.1	9.8	0.18
年代別	10代	343	35.6	14.3	0.29	39.1	12.0	0.36
	20代	773	35.4	10.7	0.29	36.4	10.2	0.31
	30代	868	30.4	10.9	0.23	30.9	11.1	0.24
	40代	1098	25.9	10.7	0.16	28.1	9.8	0.21
	50代	1089	22.0	10.9	0.11	22.0	12.8	0.09
	60代	948	23.2	12.9	0.10	24.6	13.2	0.11
子供有無	未婚者計	2208	29.5	11.7	0.21	31.1	11.4	0.23
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	24.1	11.0	0.14	25.3	11.6	0.15
	既婚者・小中高生の子供あり	738	30.9	11.8	0.22	30.9	11.7	0.22
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	30.3	10.7	0.23	32.5	10.5	0.26
	Androidスマホのみユーザー	2617	24.8	11.8	0.14	24.8	12.3	0.13
	iPhone・Android重複ユーザー	76	31.6	18.4	0.13	36.8	13.2	0.22
スマホ歴	5年未満	1721	28.0	12.3	0.18	29.6	12.2	0.19
	5～10年未満	1965	28.4	10.8	0.20	28.6	10.6	0.21
	10年以上	1433	25.3	11.2	0.15	27.4	11.8	0.18

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識 ー 属性別

「スマートフォンの安全面での必要な措置が、他国よりも導入が遅れる可能性がある」の項目では全属性においてそう思うという回答が多くなりました。「柔軟な技術やイノベーションの発展・導入に向けた取組が、他国よりも遅れる可能性がある」の項目でも同様です。いずれも、日本の国際競争力という観点からの項目になっていますが、その弊害になるのではという意見が多いようです。また、OSのセキュリティアップデートが配信されても、日本だけ適用できるのが数週間後になるのであれば、攻撃者にとっては格好のターゲットになることも予想できます。

スマートフォンの安全面での必要な措置が、他国よりも導入が遅れる可能性がある

柔軟な技術やイノベーションの発展・導入に向けた取組みが、他国よりも遅れる可能性がある

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
					(%)			(%)
全体		5119	26.8	11.3	0.18	27.0	10.5	0.19
性別	男性計	2545	29.2	12.4	0.20	29.7	11.5	0.21
	女性計	2574	24.4	10.2	0.16	24.3	9.6	0.17
年代別	10代	343	31.2	14.3	0.25	34.4	12.2	0.29
	20代	773	31.6	12.5	0.23	32.1	11.5	0.25
	30代	868	29.1	11.2	0.21	30.1	9.9	0.24
	40代	1098	26.0	9.4	0.19	24.9	9.5	0.17
	50代	1089	21.7	11.8	0.10	21.9	10.6	0.12
	60代	948	25.9	10.8	0.16	25.4	10.9	0.15
子供有無	未婚者計	2208	28.2	11.8	0.20	28.3	11.1	0.20
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	24.9	11.0	0.15	25.2	10.0	0.16
	既婚者・小中高生の子供あり	738	28.5	10.4	0.21	28.2	10.2	0.20
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	28.6	10.8	0.22	29.6	9.5	0.24
	Androidスマホのみユーザー	2617	25.0	11.7	0.14	24.4	11.4	0.14
	iPhone・Android重複ユーザー	76	35.5	13.2	0.22	35.5	11.8	0.26
スマホ歴	5年未満	1721	27.4	12.1	0.17	26.3	11.3	0.16
	5～10年未満	1965	27.0	10.5	0.20	29.0	9.7	0.23
	10年以上	1433	25.8	11.3	0.16	25.0	10.7	0.16

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識 ー 属性別

前項に続き、ここも日本の国際競争力という観点からの項目です。「新たなスマートフォン端末の発売が、他国よりも遅れる可能性がある」そして「スマートフォンの使い勝手が良くなる新たな機能の搭載が、他国よりも遅れる可能性がある」、いずれの項目でも全属性において「そう思う」という回答が多くなりました。それまでなかった監査プロセスが増えることで新機種の手入が遅れるのであれば、ユーザーだけではなく開発者にとっても非常に不利になるかと思えます。

			新たなスマートフォン端末の発売が、他国よりも遅れる可能性がある				スマートフォンの使い勝手が良くなる新たな機能の搭載が、他国よりも遅れる可能性がある			
N=			Top2Box	Bottom2Box	(%)	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	(%)	加重平均
全体		5119	25.0	11.8		0.14	24.9	11.5		0.15
性別	男性計	2545	27.7	13.3		0.16	27.6	12.2		0.17
	女性計	2574	22.4	10.4		0.13	22.3	10.8		0.13
年代別	10代	343	34.4	17.5		0.23	34.1	14.3		0.25
	20代	773	31.2	11.1		0.21	30.8	10.7		0.23
	30代	868	27.2	11.3		0.19	25.8	11.4		0.17
	40代	1098	23.4	10.3		0.14	23.6	11.3		0.13
	50代	1089	19.7	12.6		0.07	19.8	11.2		0.09
	60代	948	22.6	11.8		0.11	23.4	11.6		0.12
子供有無	未婚者計	2208	25.9	12.9		0.15	26.4	11.3		0.17
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	23.4	11.1		0.13	22.9	11.4		0.12
	既婚者・小中高生の子供あり	738	27.1	10.8		0.18	26.7	12.1		0.16
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	27.1	10.5		0.19	27.5	10.7		0.20
	Androidスマホのみユーザー	2617	22.9	12.9		0.10	22.4	12.0		0.10
	iPhone・Android重複ユーザー	76	31.6	15.8		0.17	34.2	14.5		0.16
スマホ歴	5年未満	1721	25.5	13.2		0.13	25.6	12.3		0.14
	5～10年未満	1965	25.2	10.9		0.16	25.8	10.9		0.17
	10年以上	1433	24.2	11.5		0.14	23.0	11.2		0.13

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識 – 属性別

「政府によってモニタリングや介入などの事前規制が行われることに賛成である」の項目では、意外にも全属性においてそう思うの意見が多くなっています。「政府によるモニタリングや介入は、スマートフォン上のビジネスの健全な発展のために必要である」の項目でも同様です。前頁での回答の通り、政府介入による新たな端末や機能の導入の遅れを懸念する声もある一方で、市場やビジネス発展の健全性という点においては、政府が一定の役割を果たすべきと考えているユーザーが多いようです。

政府によってモニタリングや介入などの事前規制が行われることに賛成である

政府によるモニタリングや介入は、スマートフォン上のビジネスの健全な発展のために必要である

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
					(%)			(%)
全体		5119	21.3	17.0	0.02	22.2	14.7	0.06
性別	男性計	2545	20.9	18.5	-0.01	21.7	16.4	0.03
	女性計	2574	21.7	15.6	0.05	22.7	12.9	0.10
年代別	10代	343	27.7	20.4	0.08	26.5	15.7	0.13
	20代	773	26.5	16.3	0.10	27.0	14.1	0.13
	30代	868	21.5	15.1	0.05	23.3	14.3	0.08
	40代	1098	18.5	15.2	0.02	19.5	12.6	0.05
	50代	1089	19.0	17.4	-0.02	19.5	15.3	0.01
	60代	948	20.5	19.8	-0.02	21.8	16.7	0.03
子供有無	未婚者計	2208	21.3	18.0	0.01	22.1	14.9	0.06
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	20.4	17.7	0.00	21.1	15.5	0.03
	既婚者・小中高生の子供あり	738	24.0	12.2	0.13	25.3	11.4	0.14
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	23.9	15.6	0.08	23.5	13.6	0.10
	Androidスマホのみユーザー	2617	18.8	18.2	-0.03	20.8	15.2	0.03
	iPhone・Android重複ユーザー	76	27.6	23.7	-0.03	28.9	25.0	-0.04
スマホ歴	5年未満	1721	22.1	17.2	0.03	22.7	15.2	0.07
	5～10年未満	1965	21.7	16.4	0.04	23.2	14.0	0.08
	10年以上	1433	19.7	17.7	-0.01	20.1	14.9	0.03

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識 – 属性別

「政府によるモニタリングや介入は、競争が公正に行われているのかを確認するために必要である」の項目では、「そう思う」の回答が多くなっています。また、「変化の激しいデジタル分野においては、柔軟性や迅速性が重視されることから、民間企業の裁量に任せるべきである」でも同様です。競争上の観点から一定の規制の支持層もいる中で、民間の裁量に基づきイノベーションの発展・導入に向けた取り組みへも悪影響のないようなスマートな規制が求められているように伺えます。

政府によるモニタリングや介入は、競争が公正に行われているのかを確認するために必要である

変化の激しいデジタル分野においては、柔軟性や迅速性が重視されることから、民間企業の裁量に任せるべきである

N=			Top2Box	Bottom2Box	加重平均
					(%)
全体		5119	23.6	13.5	0.10
性別	男性計	2545	23.7	15.3	0.07
	女性計	2574	23.5	11.7	0.13
年代別	10代	343	29.4	13.7	0.21
	20代	773	29.4	12.9	0.18
	30代	868	22.8	14.5	0.09
	40代	1098	20.0	12.1	0.08
	50代	1089	19.9	14.1	0.04
	60代	948	25.8	13.8	0.11
子供有無	未婚者計	2208	23.9	14.0	0.10
	既婚者・小中高生の子供なし	2173	22.6	13.6	0.08
	既婚者・小中高生の子供あり	738	25.7	11.7	0.16
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	25.0	13.2	0.13
	Androidスマホのみユーザー	2617	22.1	13.5	0.07
	iPhone・Android重複ユーザー	76	31.6	23.7	0.05
スマホ歴	5年未満	1721	24.2	13.5	0.11
	5～10年未満	1965	25.0	13.0	0.12
	10年以上	1433	21.0	14.2	0.06

			Top2Box	Bottom2Box	加重平均
					(%)
全体			22.7	11.1	0.13
性別	男性計		24.6	11.9	0.15
	女性計		20.8	10.4	0.12
年代別	10代		29.7	14.0	0.20
	20代		30.1	9.7	0.25
	30代		27.1	10.0	0.21
	40代		19.2	10.5	0.10
	50代		18.1	11.2	0.07
	60代		19.2	12.9	0.06
子供有無	未婚者計		24.5	10.3	0.17
	既婚者・小中高生の子供なし		20.2	11.6	0.09
	既婚者・小中高生の子供あり		24.7	12.1	0.14
OS別	iPhoneのみユーザー		25.1	10.3	0.18
	Androidスマホのみユーザー		20.2	11.8	0.09
	iPhone・Android重複ユーザー		31.6	13.2	0.25
スマホ歴	5年未満		22.0	12.5	0.11
	5～10年未満		22.7	10.3	0.15
	10年以上		23.4	10.6	0.14

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識 – 属性別

「政府がモニタリングや介入をすることによって、自分自身はこれまでよりもよいスマートフォンの利用体験ができる環境になる」の項目では、年代別で違いが表れています。10代、20代が「そう思う」という意見が多いのに対し、30代からは「そう思わない」という意見が拮抗しながらも僅かながらに多くなっています。ここまで見てきたように、若い世代ほど変化に追従する自信があり、年代が上がるにつれ、そのための追従を負担に感じるのではないか。次項ではそれぞれの回答についての理由をFA(Free Answer)形式でまとめています。

政府がモニタリングや介入をすることによって、自分自身はこれまでよりもよいスマートフォンの利用体験ができる環境になる

		N=	Top2Box	Bottom2Box	加重平均
					(%)
全体		5119	16.4	17.8	-0.05
性別	男性計	2545	16.6	19.6	-0.08
	女性計	2574	16.2	16.0	-0.02
年代別	10代	343	25.4	21.3	0.03
	20代	773	26.0	16.2	0.09
	30代	868	16.8	18.7	-0.04
	40代	1098	13.8	16.3	-0.06
	50代	1089	12.4	17.7	-0.09
	60代	948	12.4	19.0	-0.11
子供有無	未婚者計	2208	18.6	18.6	-0.03
	既婚者・小中高生の 子供なし	2173	13.5	18.0	-0.09
	既婚者・小中高生の 子供あり	738	18.3	14.8	0.02
OS別	iPhoneのみユーザー	2408	19.9	16.4	0.02
	Androidスマホのみ ユーザー	2617	13.0	18.8	-0.10
	iPhone・Android 重複ユーザー	76	22.4	26.3	-0.12
スマホ歴	5年未満	1721	17.5	18.9	-0.04
	5～10年未満	1965	15.9	16.9	-0.04
	10年以上	1433	15.6	17.8	-0.05

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識　　－総合評価の理由



sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「1+2. 非常に＋まあそう思う」の理由

■主な意見

安心・安全	- 政府の目を通るのは、日本のユーザーがより安全に安心して利用できると思ったから。が、どこまで介入してくるのか把握出来るようにしてほしい(女性15-19才/iPhoneユーザー) - 開発や取り組みが遅くなったとしても安全性を優先したい(女性20代/重複ユーザー) - 政府による取り締まりが強化して安全性が上がると思うから(女性20代/Androidユーザー) - 国が認めましたの印が付いていることが見えれば安心(女性50代/Androidユーザー) - 何だか政府が関与することにはあまり賛成できないが、安心できるかも。(女性50代/iPhoneユーザー) - 自分では判断出来ないの、政府がモニタリングや介入をして、安全性を確かめて欲しい(女性50代/Androidユーザー) - 政府公認の安心感とともに、何かしら事件があった際には政府の保障も期待できる。(男性40代/Androidユーザー) - 競争の自由化と、政府による監視強化は相反するものだが、ユーザーの安全な利用を確保するためには、必要最小限に留めながらも監視は必要かと思われる(男性60代/Androidユーザー) - 政府の関与は安全上のチェックのみにとどめるべきだが、それができるなら良いことだと思う(男性60代/Androidユーザー) - スマートフォンは社会インフラとなっている安全確保のため規制は必要。今のプラットフォーム事業者が公益に対するモラルを持っているとは思えない(男性60代/Androidユーザー)
信用・信頼	- 実施してみないとわからない部分が多いが、公的機関であれば信頼性は高まる(男性50代/iPhoneユーザー) - 民間企業は総じて信用できず、政府の適切な監視下に置くのが適当だと考える(男性60代/Androidユーザー)
その他	- 時には、政府がかかわることで運営する会社側も力のいりようが変化すると感じたため(女性20代/Androidユーザー) - これまで国などの公的機関がモニタリングすることがなかったので、推進につながるのであれば良い(女性40代/Androidユーザー) - 民間企業でも良いが、国外に情報が漏洩することがこわい。しっかりした日本企業か外国に乗っ取られてない日本政府が介入すべき(女性40代/Androidユーザー) - 政府が介入してもより良い環境が整備されるかは疑問であるが民間だけでは責任の所在が危い。(女性50代/iPhoneユーザー) - 犯罪行為などが未然に防げたりすることは個人情報を守るより大事な気がする(男性15-19才/iPhoneユーザー) - 予想される不都合に対する解決策が講じられれば、最高級のセキュリティ策となり、いいと思う(男性15-19才/Androidユーザー) - 公平な世の中を目指す取り組みは充実させべきだからです(男性20代/iPhoneユーザー) - 民間に自由にさせても悪い方向にしか行かないのは歴史が証明している(男性30代/Androidユーザー) - 無法地帯にならないためにも介入はやむを得ないと思うが、その度合いが重要。(男性40代/iPhoneユーザー) - 日本がITを使って世界をリードしていると聞いたことが無いので。(男性40代/Androidユーザー) - ネット犯罪や、情報流出などの危険性が減ると思うから。(男性40代/Androidユーザー) - トラッキングに関連する広告にうんざりしているので政府が厳しく介入しても良いと思うから。(男性40代/iPhoneユーザー) - 監視の目は、とても必要だと思います。違反すれば会社名・アプリ名、刑罰・罰金が必要だと思います。(男性40代/iPhoneユーザー) - 政府の介入により、デジタル市場の競争が勢いを増し、値下げ合戦が繰り広げられている。そのことから、利用する範囲を広げることも可能であり、様々な情報を見聞きする機会が増え、利用環境を理想に近い状態に持っていけると考えられます。(男性50代/Androidユーザー) - 大事な事なので、しっかりと見極めてルールを、作ってほしい(男性60代/Androidユーザー) - 行政がスピーディかつ確実に対応できるかが心配(男性60代/Androidユーザー)

Q17. 政府のモニタリング・介入に対する意識

ー総合評価の理由



sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「4+5. あまり+まったくそう思わない」の理由①

■ 主な意見

信用・信頼	・ ビジネス経験の無い官僚や政治家のプランで今までうまくいったと思うものはないので信頼できないから。民間に任せるべき。税金の無駄遣い。(女性40代/iPhoneユーザー) ・ 政府が必ずしも最先端の技術やサービスを熟知しているわけではないので、公平性などは大事だけど、政府を信用できない。(女性50代/Androidユーザー) ・ GAFAなどの世界を支配する企業は、信頼が予め付与されているため、一国の政府が介入するべきでは無い。(男性15-19才/Androidユーザー) ・ 根本的に政府が信用できない。モニタリングした情報が一部の宗教団体に提供される懸念もある。(男性20代/Androidユーザー) ・ 政府自体に信頼感が無いので政府が介入してよくなるようには全く思わないから。新たな天下り先を作るためにやっているようにしか感じない。(男性30代/重複ユーザー) ・ 信用のおける民間企業があるのに政府まで間に入ったら時間がかかってしょうがない(男性30代/Androidユーザー) ・ はっきり言って政府が信用できない。デジタル庁の無能さは言うに及ばず、混乱と無駄な税金の中抜きしか行われなйдらう。(男性40代/重複ユーザー) ・ 総じて政府の仕事は信用ならない。とくにデジタル分野でのお粗末さを考えると(政府のアウトソーシング先である)特定企業への税金の垂れ流しにしかならないことは明白である。(男性50代/iPhoneユーザー) ・ 政府がそうした知見とカスキルを保有しているとは思えない。結局は官僚が考えたスキームにしかならないし、そこには既存企業との利権関係が必ずあるはずで、政治を信頼できない。デジタル敗戦国になってしまった上に政府の介入なんてのは本当に馬鹿がやることだと思う。(男性60代/Androidユーザー)
デジタル	・ 日本はこの分野に関しては他国に比べて著しく遅れていると思うし、デジタル関連で政府が介入して良かった事など今迄あったでしょうか。(女性50代/Androidユーザー) ・ 安全性や公正さの面では重要かもしれないが、現在デジタル市場は日進月歩であるため、こういった介入は技術の発展を妨げる可能性があると考えたから。(男性20代/iPhoneユーザー) ・ モニタリングにコストかけるよりデジタルをリアルに架け橋するインフラにコストをかけて欲しい。(男性30代/Androidユーザー) ・ 政府の介入がデジタル分野の健全な発展に良い影響を与えるとは思えず、政治家との癒着などが起こる恐れが非常に高いと考える(男性50代/Androidユーザー)
民間	・ 多少の安全性が保証される代わりに、発展スピードの遅れや市場が狭まる懸念がある。民間企業より政府の動きが早くなる事はまずないと思う。(女性30代/iPhoneユーザー) ・ 政府がモニタリングや介入しても認可するのに時間がかかるだけで、新しい技術やアプリの導入が遅れるだけだと思うから。それよりは民間にお願いして競争させる方がいろんなアプリやよい機能が世に出るのではないかと思う。(女性30代/iPhoneユーザー) ・ 公的機関が行う事は民間の何倍も遅い。しかもスペシャリストじゃない機関がやってもいいもののが出来る気がしない。(男性30代/Androidユーザー) ・ 政府は公平性の確保や公正な競争と謳っているようだが、民間企業に対する国家による不当介入という側面は拭い去れない。国家が特定の産業や企業に介入することには断固反対である。これでは資本主義ではなく、社会主義と言うことになってしまう。(男性50代/Androidユーザー)

sq1. そう思う理由を、どのようなことでも構いませんので、下の欄にご記入ください。

「4+5. あまり＋まったくそう思わない」の理由②

■主な意見

監視・規制	・ 利用状況を監視されてる感じがして個人の自由が阻害されそうな感じがする(女性20代/Androidユーザー) ・ 政府がモニタリングや介入をすれば、公平性を確保するなどのメリットはあるが、スマートフォンに関する規制などが今までよりも厳しくなってしまう、前よりもおもしろくなる可能性があるから。(男性15-19才/Androidユーザー) ・ 政府による介入は中国共産党の行っている事とほぼ同じでは?いわゆる、監視だと思います。(男性15-19才/Androidユーザー)
その他	・ 政府に任せるのは違うと思った。知識をもった専門機関があれば良いと思った。(女性30代/Androidユーザー) ・ 情報統制につながっていく可能性がないとは言い切れないから(女性30代/iPhoneユーザー) ・ よりよい利用体験を提供してくれるのは果たして政府なのか?という疑問がある。(女性30代/Androidユーザー) ・ 知識がないのでよくわからない。完全に市場原理に任せるのが最良とは思わないが、政府がどこまでうまくかじ取りできるのかもわからない。(女性40代/iPhoneユーザー) ・ 政府がアプリ開発までも介入することになったら言論の自由が侵害される恐れがあるから反対する(男性20代/iPhoneユーザー) ・ モリタリング介入する事によって何を得たいのかわからないのと、どこまでの情報をモリタリングするのがイマイチわからない(男性20代/Androidユーザー) ・ 新たな利権を生むだけで政治不信につながりかねない(男性30代/Androidユーザー) ・ 政府等が介入するようになると一見安全性が担保されるように思えるが、他方恣意的な介入によって健全なアプリの競争が阻害されるおそれがあるから(男性40代/Androidユーザー) ・ 政府が介入してしまうと、デジタル上で監視されてる感じがするので、いい気持ちはしません。(男性50代/Androidユーザー) ・ 法律を勝手に、わけのわからない解釈をしている政府に、その能力があると思えない。悪い方に進む気がする。(男性50代/Androidユーザー) ・ 政府によるモニタリングの内容が不透明のため政府による情報操作の可能性はある(男性60代/Androidユーザー)

以上、スマートフォンのセキュリティに対する意識調査結果を紹介しました。

一般のユーザーに対するここまで詳細なアンケートは初ではないでしょうか？

総じて、セキュリティとプライバシーに対する意識の高さや、現行のシステムに対するユーザーからの信頼度の高さがよく表れた結果かと思います。

今回のアンケートでは中学生を除く10代から60代までのユーザーが対象となっていますが、ここに含まれない年代でも、高齢者が電子マネーで買い物していたり、子供たちがゲームやアニメ鑑賞にスマートフォンを利用している光景はよく見かけます。

このホワイトペーパーを読んでいる方の多くは、利用者側であると同時にサービスを提供する側でもあると思いますが、この調査結果がアプリやサービス品質の向上にお役に立てたら幸いです。

株式会社ラックではスマートフォンに関連した下記のようなサービスを展開しています。

開発時にお困りのことがあればお気軽にお問合せください！

■スマートフォンアプリケーション診断

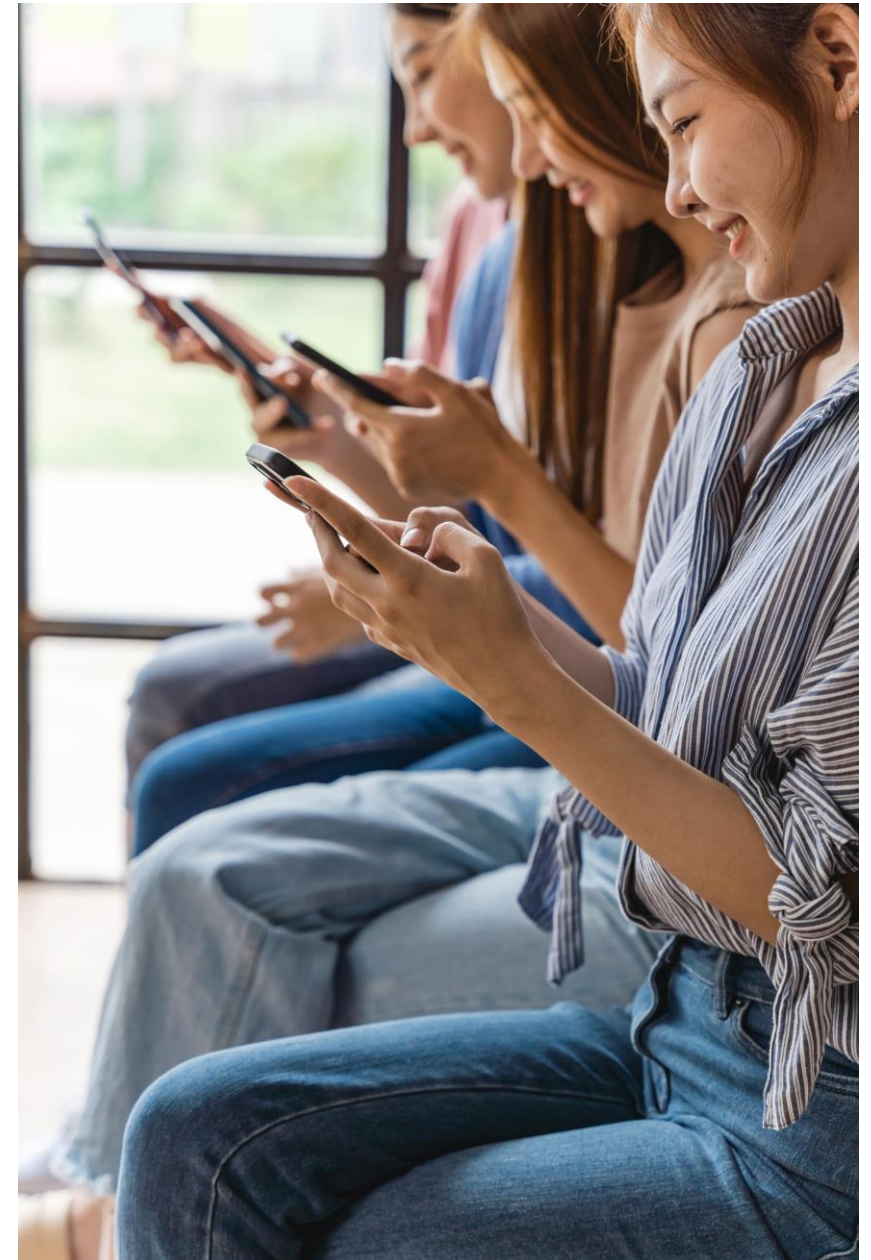
https://www.lac.co.jp/consulting/smart_app.html

■アプリケーションペネトレーションテスト

https://www.lac.co.jp/consulting/online_sec_cheat.html

■ Secure Coding Checker®

<https://www.lac.co.jp/consulting/scc.html>





※本資料は作成時点の情報に基づいており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※本資料に掲載の図は、資料作成用のイメージカットであり、実際とは異なる場合があります。

※本資料は、弊社が提供するサービスや製品などの導入検討のためにご利用いただき、他の目的のためには利用しないようご注意ください。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。